



『モノグラフ・高校生』vol.61

高校生が「学校」で身につけるもの

- 「特色のある学校」と対比させて -

要約

第1章 学校観の変容

調査の意図と方法

① 調査の意図

多様化、個性化という社会変化の中で、高校生の学校観の変化を探る。授業、学習、友だち関係など学校生活の意味変化を明らかにし、高校生に対する学校の規定力や学校の魅力を分析する。

② 調査対象者

調査対象校は、高校間格差を考慮しながら、首都圏の基本的には中ランクの公立普通高校（以下、一般校）とした。その一方で、特色のある学校として首都圏の公立・私立高校（以下、特色校）を選定して、一般校と特色校との比較を行った。

③ 回答者の属性

調査回答者は、高校1年～3年の一般校1,522名、特色校803名、合計2,325名である。男女の内訳は、一般校男子724名、女子790名、不明8名。特色校男子357名、女子440名、不明6名（p.9 表1-1、p.12 表1-6）。調査時期は、2000年6月～7月。

一般校の進路希望は、「難関大学」18.7%、「一般大学」43.3%、「短大」6.8%、「専修・

専門学校」19.3%、「就職・家業手伝い」2.8%、「未定・その他」9.2%である（p.10 表1-2）。通学校への入学希望は、「本意入学」62.2%、「不本意入学」9.5%、「どちらともいえない」28.4%（p.11 表1-4）。

部活動には3分の2が取り組み、「運動部で熱心」は男子47.0%、女子25.4%、「文化部で熱心」は男子7.0%、女子19.0%（p.10 表1-3）。

第2章 学校生活に充実を感じているか

① 学校生活の充実度

一番充実度が高いのは「休日に家でほっとしているとき」、2番目が「昼休みなど、クラスにいるとき」で「授業を受けているとき」の充実度は低い。全体に男子より女子、学年別では1年生が高い（p.14 表2-1）。

② どんな学校か

「全体としてのびのびしている」が男女共に一番高い。「行事が盛ん」が2番目である（p.16 表2-5）。特色校は「行事が盛ん」「受験指導に力を入れている」が一番手に入るなど各校の特色が出ている（p.17 表2-6）。

③ 施設面での満足度

満足度は極めて低く、逆に不満度が高い。最も不満なのは「トイレ」で、女子は6割近い。「グラウンド」や「体育館」は項目の中では不満度が少ない。開設年度が比較的新しい特色校の満足度は高い(p.17 表2 - 7、p.18 表2 - 8)

④ 現在の高校に満足しているか

「全体として」満足しているのは「とても」「かなり」を合わせても46.2%にすぎない。それに対して「友だち関係」は65.2%である。全般に女子および1年生に満足度が高い(p.18 表2 - 9)。進学校以外の特色校では「高校の雰囲気」など満足度が高い(p.20 表2 - 12)

⑤ 行事や活動を学校で行う必要性

「修学旅行(林間学校・スキー教室なども含める)」が一番必要とされ全体で88.3%。2番目は「卒業式」84.7%。仲間同士で参加し楽しめる要素のあるものと定番の儀式的なものが高い必要度となった。記録会的な体育行事や保護者が参加することには否定的である。女子は一般に男子より必要度が高い(p.21 表2 - 13)。特色校では充実度や満足度と関連した各校の特色が出ている(p.22 表2 - 14)

第3章 授業への取り組み方

① 授業中の態度

授業中の態度では、ノートをしっかりとしている生徒が多く(75.2%)、「内職」をしたり(12.6%)、マンガや雑誌を読んでいる(11.9%)生徒は少ない。ただし、3割前後はときどきボーっとしていたり、いねむりもしている。先生に質問する(7.3%)などの自ら積極的に授業に参加していくという態度は、やや稀薄である(p.25 図3 - 1)

成績別では、上位層より下位層が授業への参加意欲が低い(p.27 表3 - 1)また、授業や部活動に充実感を持っていない者の授業への参加意欲も低い(p.28 表3 - 2)。先生の教え方に満足している者の授業への参加意欲は高く、「先生に質問する」割合も最も高い(26.8%)(p.29 表3 - 3)。アルバイト経験による比較では、週日もアルバイトをしている者の授業への参加意欲が低い(p.30 表3 - 4)

② 大事な勉強内容

勉強内容では、「簡単な英字新聞が読める」(59.2%)ことや「高齢者介護のやり方を身につける」(55.9%)ことが大事だと考えている。国際化や高齢化社会への対応を強く生徒は求めているといえよう(p.33 図3 - 4)。性別では、女子は理数系の勉強内容に強い拒否感を示している。成績別では、下位層は国際化や高齢化社会へ対応した勉強内容にも消極的である(p.34 表3 - 5)。授業への充実度で比較すると、ほとんどの項目で正比例していることがわかる(p.35 表3 - 6)

第4章 高校で“学ぶ”ということ

① 学歴主義志向と進路選択

高校生たちの学歴主義志向を測るために、Q19のうち、「1)どの大学を出たかで人生が決まってしまう」と「2)学歴は本人の実力をかなり反映している」の2項目を構成要素とする「学歴主義志向」変数をつくり、学歴主義的な高校生(53.1%)と非学歴主義的な高校生(46.8%)とに便宜的に分類した(p.38 表4 - 1)

学校タイプ別にみた学歴主義志向をまとめたところ、学歴主義的な高校生の多い順に、I校(69.9%)、G校(54.1%)、一般校(52.2%)、H校(40.5%)、F校(35.0%)だった(p.38 表4 - 2)

学歴主義志向別にみた進路選択についてま

とめたところ、学歴主義的な高校生の方がより高い学歴を望む傾向があった（p.39 表4-3）

② 勉強を通して“学ぶ”こと

各学校タイプごとに勉強の仕方の特徴をまとめると次のようになる（p.41 表4-5）

一般校では、習ったことをしっかり覚えるためにくり返して解くことが大事。

単位制のF校では、勉強方法として、「課題をこなすのが勉強」「勉強は要領よく」「解き方より正解が大切」「くり返して解くことが大事」のいずれにも否定的。

コース制のG校では、先生の説明をノートにとり、習ったことを授業以外でも活かせるように身につけ、勉強は要領よく、でもくり返して解くことが大事。

国際理解教育を特色とするH校は、ノートをとることはあまり重要ではなく、習ったことを授業以外でも活かせるように身につけ、勉強法としては、解き方を大切にしている。

私立中高一貫のI校は、ノートは板書も先生の説明もしっかりとり、習ったことをしっかり覚えるために、要領よく課題をこなし、正解することが大切。

③ 高校時代にしておく大切なこと

勉強以外に高校で“学ぶ”大切なことを項目別にまとめると次のようになる（p.44 表4-7）

人間関係を形成したり規範やルールを身につけたりすることが大切だと思っている高校生が目立って多いのはG校。

自ら調べものをするのが大切だと思っている高校生が目立って多いのは、単位制のF校と国際理解教育に特色のあるH校。

体力をつけることが大切だと思っている高校生が比較的多いのは、コース制のG校と私立中高一貫のI校。

特別活動に参加することが大切だと思って

いる高校生が目立って多いのは、コース制のG校で、目立って少ないのはF校であるが、これは学校の伝統や方針によるものである。

第5章 学校へ行く・休むの背景

① 学校へ行くか・休むか

授業がない日でも、多くの生徒が「学校へ行く」と回答する。さまざまな選択肢を用意しても、通学を優先する。「学校へ行く」ことは当たり前のように受け取られている（p.48 図5-1、p.49 表5-1）

② 友だち関係

学校へのかかわりに友だち関係は欠かせない。生徒の多くが学校での良好な友だち関係を送る（p.50 図5-2）

③ 高校生活の満足度

学校へのかかわりを積極的に位置づけるのは、高校生活全般に満足している生徒である。また、高校生活全般の満足度は、友だち関係のあり方と関係が強い（p.53 表5-5、p.54 表5-6）

④ 家の存在

積極的に学校とかかわる生徒は、家に帰るとほっとする。家でほっとできるから、積極的に学校とかかわることができるのかもしれない。学校生活を積極的に送る上で、家の存在は重要である（p.57 表5-9）

第6章 学校のどこに魅力を感じるか

① 通学校の選択動機

高校進学段階における学校選択の重視要因は、①通学の便60.5%、②生徒の雰囲気46.6%、③模試などの結果44.9%、④学校の評判34.7%などである。公立一般校の選択には、学校の立地条件という物理的要因が大き

い。その一方、特色校は学校の持つ特色を十分につかんで、高校生の選択が行われている(p.60 表6 - 1、p.63 表6 - 4)

② 学校の魅力的要素

どのような学校に魅力を感じるかを尋ねると、「校風が自分に合っている」「通学の便がよい」が約7割と多い。次いで「校内に食堂やカフェテリアを持っている」や「校舎や教室の設備がハイテク化されている」が約6割になる。学校の魅力を左右する要素として、学校の持つ雰囲気的要素と共に教育環境面の充実度が大きい。こうした魅力的要素は、性別・成績別によって捉え方の差異がある(p.64 表6 - 5、p.65 表6 - 6)

③ 学校生活と学校の魅力

学校生活のかかわり方は、学校に対する魅力の感じ方を変えている。自己の能力・適性がわかっていたり学校の楽しさを感じている者は、学校の個性的側面を高く評価している。

一方、学歴主義志向の強い者ほど、学校の持つ偏差値的な高さや一流大学への進学実績に魅力を感じている。学校教育へのコミットの差異が学校像を分化させている(p.66 表6 - 7、p.67 表6 - 8、p.68 表6 - 9)

④ 改革的教育の受容評価

自分のペースに合った、ゆとりと自由になる時間を求めている。「授業は午前中で、午後はフリータイム」74.3%、「教科や時間割を自分に合わせて作れる」70.5% (p.70 表6 - 11)

⑤ 多様化で問われる課題

公立一般校では、学校のハード面の特色を求める傾向が強い。その一方、学歴主義志向に支えられた学校像や、学校生活の稀薄な学校像などは、魅力の薄いものになっている。

学校の真の特色づくりが可能になってはじめて、教育の多様化と学校選択が語れるのではないか。

[調査概要]

対象 一般校 = 東京・神奈川・埼玉の首都圏の公立普通高校5校の1～3年生
特色校 = 特色のある首都圏の公立高校3校、私立高校1校の1～3年生
時期 2000年6月～7月
方法 学校通しの質問紙調査
サンプル数 一般校 = 1,522名(男子724名・女子790名・不明8名、1年481名・2年511名・3年530名)
特色校 = 803名(男子357名・女子440名・不明6名、1年274名・2年298名・3年214名・4～6年17名)

注意：各章の図表の数値は、「特色校」と明記していない場合はすべて「一般校」の数値を示している。

[執筆分担]

深谷 昌志 (東京成徳短期大学教授)
はじめに・まとめに代えて
穂坂 明德 (岐阜聖徳学園大学助教授)
第1・6章
木下 勉 (東京都立上野高等学校教諭)
第2章
蒲生眞紗雄 (東京都立国際高等学校教諭)
第3章
西島 央 (東京大学助手)
第4章
浜島 幸司 (上智大学大学院生)
第5章
武内 清 (上智大学教授)
付 章

はじめに

高等学校は何をする場なのか

進学機能の低下

高等学校は何をする機関なのかがわかりにくくなったような気持ちがある。考えてみると、高等学校が設置されて以来、大別すると、高校は大学進学と就職との2つの機能を担っていたように思う。

そうした中でも、大学進学は高校生の正統な進路と考えられてきた。進学にあたって、生徒は文系と理系、そして国立と私立、難関大や普通大のように、層化された中から自分の学力や関心に応じて、自分なりの進路を目指す。つきつめていえば、高校在籍期間を通して、生徒は大学へ進学するための準備を進める。

そして、頂点に近い大学により多くの生徒を進学させた高校が上位校で、進学の比率が下がるにつれて、その高校のランクが下がる。「難関大学の進学率 = 高校のランク」という構図である。

しかし少子化の影響を受けて、大学進学が緩やかになり、少なくとも中位以下の大学へ

の進学はフリーパス状態になりつつある。それに加え、激動する情報化社会の到来を背景として、生涯学習的な感覚が生徒の間に定着して、難関大学に対する信仰も揺らいでいる。難関大への進学が社会的な成功を保証するパスポートの取得を意味すると思う高校生は減少している。

職業教育機能の衰退

中等教育は、高等教育への進学機能と同時に、職業教育機能を担っていた。歴史的にみても、明治以降敗戦まで、商業学校は(旧制)中学と肩を並べる中等学校だった。水戸中と水戸商、静岡中と静岡商のように、それぞれの県には中学と同レベルの商業学校があった。それに加え、工業や農業、水産などの学校があって、それぞれの地域の人材養成を行っていた。

第2次大戦後も、職業学校は普通高校と並んで、中堅技能者の養成コースとしての独自の機能を果たしていた。これまで地方銀行や

地元デパートの中堅は地元の商業高校の卒業生で占められていたし、地域企業の中核を担っていたのは工業高校や農業高校の卒業生だった。

しかし、産業構造が激変して、就労形態がテクノクラートか単純労働かに2極化し、中堅技能者への需要が減少した。特に、ここ数年の不況は職業高校（専門高校と名称が変わっているが）の卒業生の進路を狭めつつある。少なくとも、中堅技能者を目指すには、高校を卒業後、適当な専修学校に進む方が有利になりつつある。こうした形で、職業高校の機能衰退が深刻化している。

高校教育の空洞化

このように高校が担っていた進学と就職という2つの機能が失われ始めた。換言するならば、これまでの生徒たちは、進学にせよ、就職にせよ、卒業というハードルを目指してがんばってきた。しかし、ハードルが低くなると、がんばる必要がなくなる。上位で卒業しても、それほどよいことはなさそうだという

気持ちが出て、ほどほどの高校生活を送ろうとする。いざとなれば、高校を中退しても、大検などの制度もある。

これまでふれたように、高校教育の出口の意味が失われつつある。それに伴い、進学や就職を目的とした学科構成は生徒にとって魅力の乏しいものになる。その結果、学習に打ち込まない生徒が増加する。目標に意味を見いだしていないのであるから、叱咤激励しても生徒のモラルは高まらない。シラケタ高校生が増加である。そして、高校教育の空洞化現象が進む。

仲間と共に、15歳から18歳までの時を過ごす。これからの高校も、そうした共同生活の場としての意味は持とう。しかしそれを超えて、高校教育はどのような意味を持ち得るのか。高校教育の意味を考えてみたいと思ったのが本調査である。

第1章

学校観の変容

調査の意図と方法

1 調査の意図

新制高等学校の発足(1948年)から、半世紀が過ぎた。高等学校の性格は、義務教育の修了者の97%近くが学ぶ国民的な教育機関になっている。

社会学者I・イリイチによれば、学校化された社会(schooled society)では学校教育の占める位置が大きくなり、学校に通う期間が長期化するに伴って学校生活の中で勉強と共に学校文化も身につける。それに伴い、おのずと学校的な教育の様式や価値観が社会的に一般化する、という。

近年、日本の学校文化は、いじめ、不登校現象、そして高校中退者を増大させてきた。生徒にとっての学校は、学校に通う期間が長期化したといえども、決して長く身を置けるような居心地のよい場所ではなくなってきた。これまでの平等主義的な学校観が、多様な生徒を受け入れながら、一面において彼らに対して画一的な教育の様式を押しつけてきた側面は否定できない。

過去この10年間は「教育改革」が叫ばれ、

高校教育についても学校制度や入学者選抜方法のみならず、学習の内容や方法などに至るまで、受験競争の緩和と生徒の個性を伸ばさせる教育観が強く打ち出されてきた。画一よりも多様性、個性的価値を尊重し、選択の自由を重視する社会の変化に対し、若者一般が鋭敏であるように高校生もまた、学校よりも鋭敏に反応する。

学校を取り巻く変化の中で、学校評価の基軸となってきた勉強観の構造が変容してきているのではないか。例えば、情報技術の革新により、もはや授業そのものが固定した教師生徒関係を必然としなくなりつつある。生徒のニーズに応じたパーソナルな教師生徒関係が、有効な場面も出てきた。さらにいうならば、学習スタイルの多様化によって、学習の意味づけそのものが変容を来しているのではないだろうか。

その一方で、高校生はどのような学校生活を求めているのか。授業以外にも、HR活動、部活動、生徒会活動や学校行事など教科外活

動は多種ある。これまで学校では、こうした諸活動の機会を盛りだくさんに計画し、学校生活の多様さこそが高校生活を充実させるものであり、またそれを意味するものであると考えられてきた。しかし現実には、こうした教科外活動が多く为学校では形骸化して、うまく機能しなくなっているのも確かなようである。高校に通学しながら学校行事にはさほど関心も示さず、部活動離れ、ひいては学校離れという、いうならば高校教育の空洞化現象が生じているわけである。

では、そうした状況において、なお学校が学校として教育作用を發揮し、生徒をひきつ

ける要素はどのようなものであるのか、学校が生徒の内側で拘束的に規定する力の働きはどのような側面にかがえるのであろうか。

こうした問題関心から、公立普通高校に通学する高校生の学校観を探った。それと並行して、高校教育改革の中で斬新な試みがなされてきた「新しいタイプの高校」や特色を持たせた私立高校に通う高校生にも、同じアンケートに回答してもらった。これは、公立普通高校の学校像が、特色づけられた学校に通う高校生の学校観と比べたとき、一層明らかになると考えられたからである。

2 調査の方法

1) 調査対象校と回答者の属性

高校生の学校観を探ろうとするとき、調査対象となる学校の偏りが問題となる。今日、高校間格差が指摘される中で、普遍的な学校像を描くことは極めて困難であろう。そこで、基本的には中ランクの位置にある高校を対象

に選択した。中ランクに位置する学校は、多様な個性と能力の生徒を幅広く抱え、目下、最も教育の多様化、個性化が要請されていることによる。調査対象校は首都圏（東京・神奈川・埼玉）の公立普通高校の5校である。サンプル構成を学校別に示すと、表1-1のようである。

表1-1 調査対象校のサンプル構成（一般校）

(人)

	所在地	全 体	性 別			学 年 別		
			男 子	女 子	不 明	1 年	2 年	3 年
A校	東 京	347	155	190	2	122	117	108
B校	東 京	183	90	90	3	17	72	94
C校	神奈川	323	160	162	1	110	112	101
D校	埼 玉	321	143	178	0	114	94	113
E校	埼 玉	348	176	170	2	118	116	114
合 計		1,522	724	790	8	481	511	530

サンプル全体の卒業後の進路希望をみると、4年制大学への進学希望は62.0%、そのうち難関大学を目指す者は18.7%である。「短大・専修・専門学校」26.1%、「就職・家業の手伝い」2.8%、「未定・その他」9.2%である。全体の9割近くは、高卒後直接社会に出ずに上級の教育機関への進学を希望している（表1-2）。

なおA校については、難関大学への進路希望が突出した印象を受ける。しかし、昨年の卒業生319名についてみると、一般大学レベ

ルの国公立大学への進学者が11名となっている。卒業生全体の内訳は、「一般大学」48.3%、「短大」4.7%、「専修・専門学校」15.7%、「就職」1.0%、「未定」30.3%の状況である。

つまり調査対象校は、難関大学を目指す受験エリート校でもなければ、いわゆる教育困難校でもない。以下に、回答者の属性について述べておきたい。

まず、部活動の参加状況は表1-3の通りである。全体の3分の2が部活動に取り組ん

表1-2 卒業後の進路希望

(%)

	難関大学	一般大学	短大	専修・専門学校	就職・ 家業手伝い	未定・その他
全体	18.7	43.3	6.8	19.3	2.8	9.2
A校	30.8	47.4	3.5	11.0	0.3	7.0
B校	7.3	31.3	6.1	32.4	8.9	14.0
C校	9.1	35.1	11.0	25.7	3.8	15.4
D校	18.5	43.1	7.7	19.5	2.6	8.6
E校	21.8	53.2	5.8	14.5	1.2	3.5

表1-3 部活動の状況

(%)

	全体	性別		学年別		
		男子	女子	1年	2年	3年
運動部・熱心	35.7	47.0	25.4	46.5	33.7	27.8
運動部・不熱心	11.9	11.0	12.7	13.9	10.9	11.0
文化部・熱心	13.3	7.0	19.0	13.5	12.9	13.5
文化部・不熱心	6.2	4.6	7.7	5.1	5.8	7.6
入っていない	33.0	30.5	35.3	21.1	36.7	40.1

でいる。そのうち、運動部や文化部で熱心に活動しているのは約半数である。性別で見ると、男子の半数近くは、運動部で熱心に活動している。女子の中で、運動部で熱心なのが25.4%、文化部で熱心なのが19.0%である。また、運動部では学年が進むにつれて部活動から離れる傾向が高くなっている。部活動に入っていない者は全体の3分の1の割合である。

現在通学している高校に入りたかった希望の割合は、表1 - 4にみられる通り、強く希望した者33.2%、どちらかという希望した

者29.0%である。したがって両者を合わせると、一応希望した高校に進んでいる者は、約62%である。一方、不本意ながら高校に進んだ者は約10%である。また、男子より女子の方が、希望通りの高校に進んでいると思っている割合が高い(「ぜひ入りたかった」男子26.4% < 女子39.3%)。

勉強については、クラスの中の成績を表1 - 5に示した。成績的には5段階で「上」が8.6%であり、残りは「中の上」から「下」までほぼ20%台で均分化されている。

表1 - 4 入学希望度

(%)

	全 体	男 子	女 子
ぜひ入りたかった	33.2	26.4	39.3
どちらかという入りたかった	29.0	28.7	29.2
どちらともいえない	28.4	34.5	22.9
あまり入りたくなかった	7.0	7.4	6.8
入りたくなかった	2.5	3.1	1.8

表1 - 5 クラスの中での成績

(%)

上	中の上	中	中の下	下
8.6	22.1	27.0	21.6	20.7

一方、特色ある学校・学科としては、首都圏の公立高校3校、私立高校1校を選び、表1-6、表1-7に学校別のサンプル構成と卒業後の進路希望をまとめた。そこで特色校の学校概要を簡単に述べて、サンプル特性の参考としたい。

F校は、単位制高校として無学年制、前・後期の2期制をとっている。4部制の定時・通信課程を併修でき、生徒が自主的に科目を選択し、自己のペースで学習できるように、教育内容・方法や履修形態に工夫がなされている。また、受け入れている多様な生徒がかかえる学校生活や家庭における問題、心の悩みなどにきめ細かく対応できるように、3人の専任カウンセラーが配置されている。

G校は、大正期に創立の伝統校であるが、平成年度に入り、コース制を導入する。コースは、語学・人文コースと自然科学コースに分かれ、第2学年以降コースの特徴に応じた教育課程が重点化されている。教科外活動も盛んである。

H校は、国際化時代に対応し、国際理解教育のパイロット校として発足。地元中学校出身者、海外帰国生徒、在京外国人生徒が共に学ぶ、国際色豊かな学校である。多彩な専門教科・科目を選択履修できるように、多展開授業を行っている。

I校は、比較的新しい私立中高一貫校である。知育を軸に6年一貫のカリキュラムを生かして、教育効率を高めた高度な水準の学力形成を目指している。自然にも恵まれた学校環境の中で少人数教育が行われ、近年は現役で難関大学を含めて約3分の1が国公立大学に進学している。

2) 調査の時期と方法

調査は2000年6月～7月に、学校通しの質問紙調査を実施した。さらに、特色ある学校の4校については、9月に現地調査を行い、学校関係者とのインタビュー、授業参観などを適宜行わせていただいた。

表1-6 調査対象校のサンプル構成(特色校)

(人)

	全 体	性 別			学 年 別		
		男 子	女 子	不 明	1 年	2 年	3 年
F校	118	48	69	1	29	45	27*17
G校	222	61	160	1	79	73	70
H校	151	20	131	0	64	87	0
I校	312	228	80	4	102	93	117
合 計	803	357	440	6	274	298	214*17

*4～6年生

表1-7 卒業後の進路希望(特色校)

(%)

	難関大学	一般大学	短 大	専修・専門学校	就職・ 家業手伝い	未定・その他
F校	25.0	24.2	5.2	19.8	6.9	19.0
G校	41.5	47.9	0.9	6.5	0.0	3.2
H校	56.2	26.7	1.4	2.7	1.4	11.6
I校	74.3	18.4	0.0	0.3	1.9	5.0

第2章 ||||

学校生活に充実を感じているか

1 学校生活の満足度

高校生にとって学校は何のためにあるのか、生活の中でどのようなものとして位置づけられているのかについて、ここでは日常生活の中での充実感、現在通っている学校の評価、学校の施設面や生活面での満足度、さらには学校行事などの必要度について検討する中で考えてみたい。

1) 高校生活の充実度

まず表2-1は、学校を中心とした「高校生活の充実度」について性別、学年別、成績別にまとめたものである。一番充実度が高いのは男女ともに「休日に家でほっとしているとき」で「とても・かなり」を合わせると、女子では81.6%、男子で75.7%が充実している。次に充実度が高いのは、「昼休みなど、クラスにいるとき」で女子79.6%、男子62.9%。3番目に充実度が高いのは「学校行事に参加しているとき」で女子は男子より15.7ポイントも高い73.2%、男子は57.5%である。「家族と過ごすとき」「部活動をしている

とき」の2項目は共に5割前後で思っていたより高くなかった。「授業を受けているとき」は教員サイドからいえば学校生活の基本で最も重視し、それだけに高い充実度を期待したい項目であるが、女子32.1%、男子28.8%と3割前後の充実度で学校生活に関する項目の中では最低であった。

学年差については多くの項目で1年生の充実度が高く、2年生で低くなり、3年生で横ばいか多少持ち直す値となっている。「学校行事に参加しているとき」と「家族と過ごすとき」は学年差がみられない。「授業を受けているとき」は1年生では36.6%の充実度であるが、2年生で24.5%と急落し、3年生で30.4%とやや持ち直している。勉強ばかりでなく部活動においても同様な傾向があり、「中だるみの2年」といわれる現状が現れている。同じく表2-1で成績別にみると、上位層が最も高い充実度となったものは「塾・予備校の授業を受けているとき」だけであるのに対し、中の上位層は、「休日に家でほっ

としているとき」「昼休みなど、クラスにいるとき」「家族と過ごすとき」「授業を受けているとき」などで最も高くなっている。

表2 - 2は本意入学か否かと充実度をクロスしたものである。「ぜひ入りたかった」層は「アルバイトをしているとき」「塾・予備校の授業を受けているとき」以外のすべての項目で他の層より高い充実度を示す。これに対し「どちらともいえない」以下の本意入学層の充実度は低い。表2 - 3は学校に何でも話せる友だちがいる度合いと充実度をクロスしたものである。「何でも話せる友だちが

いる」に関し、「とてもそう」と答えた層は全項目ともに最も充実度を示し、とりわけ「昼休みなど、クラスにいるとき」「学校行事に参加しているとき」は際立って高い。「休日に家でほっとしているとき」は友だちの有無とは相関していない。表2 - 4は一般校の平均と特色校それぞれの充実度の高い上位4項目を比較したものである。「休日」「昼休み」は共通であるが、G校の「行事」91.9%、逆にF校のように各項目ともに極端に充実度が低いなど、それぞれの学校の生徒集団の特色がうかがえる。

表2 - 1 どのくらい充実しているか × 性・学年・成績

(%)

		全 体	性 別		学 年 別			成 績 別				
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	上	中の上	中	中の下	下
休日に家でほっとしているとき	とても充実	42.6	42.3	42.9	44.3	42.8	40.9	50.8	44.3	39.9	40.9	42.7
	かなり充実	36.1	33.4	38.7	36.7	36.1	35.7	28.1	39.8	37.7	35.7	34.2
	小 計	78.7	75.7	81.6	81.0	78.9	76.6	78.9	84.1	77.6	76.6	76.9
昼休みなど、クラスにいるとき	とても充実	27.7	21.2	33.7	34.2	24.4	25.0	20.9	27.7	30.2	25.9	29.9
	かなり充実	43.9	41.7	45.9	41.0	44.4	46.1	50.4	50.0	44.1	42.0	34.7
	小 計	71.6	62.9	79.6	75.2	68.8	71.1	71.3	77.7	74.3	67.9	64.6
学校行事に参加しているとき	とても充実	28.5	21.0	35.5	29.2	26.7	29.7	25.6	27.9	30.1	27.7	29.4
	かなり充実	37.1	36.5	37.7	36.5	38.3	36.6	39.5	39.4	37.0	38.2	31.9
	小 計	65.6	57.5	73.2	65.7	65.0	66.3	65.1	67.3	67.1	65.9	61.3
家族と過ごすとき	とても充実	12.4	8.7	15.6	15.5	9.6	12.3	12.5	14.2	14.4	11.4	9.6
	かなり充実	39.5	36.5	42.4	38.4	42.4	37.8	38.3	44.9	40.7	40.4	30.5
	小 計	51.9	45.2	58.0	53.9	52.0	50.1	50.8	59.1	55.1	51.8	40.1
部活動をしているとき	とても充実	22.9	27.5	18.6	30.7	17.3	21.3	18.8	23.0	21.0	23.1	26.6
	かなり充実	26.3	26.0	26.7	24.2	28.7	25.9	27.3	27.8	29.9	25.3	21.1
	小 計	49.2	53.5	45.3	54.9	46.0	47.2	46.1	50.8	50.9	48.4	47.7
授業を受けているとき	とても充実	2.7	3.9	1.7	4.2	2.0	2.1	5.5	2.7	2.2	2.2	2.9
	かなり充実	27.7	24.9	30.4	32.4	22.5	28.3	28.1	37.0	32.3	25.2	13.6
	小 計	30.4	28.8	32.1	36.6	24.5	30.4	33.6	39.7	34.5	27.4	16.5
アルバイトをしているとき	とても充実	6.4	4.6	8.1	3.4	8.5	7.2	4.7	4.5	4.9	7.4	10.4
	かなり充実	14.9	11.1	18.3	6.7	18.1	19.1	12.5	14.5	17.8	12.0	16.0
	小 計	21.3	15.7	26.4	10.1	26.6	26.3	17.2	19.0	22.7	19.4	26.4
塾・予備校の授業を受けているとき	とても充実	2.6	2.9	2.4	1.7	1.8	4.4	6.3	3.9	2.5	0.9	2.0
	かなり充実	8.3	9.7	7.0	6.7	5.1	12.7	11.7	8.4	8.9	8.9	5.2
	小 計	10.9	12.6	9.4	8.4	6.9	17.1	18.0	12.3	11.4	9.8	7.2

表2 - 2 どのくらい充実しているか × 入学の本意度

(%)

	全体	ぜひ入りたかった	どちらかという入りたかった	どちらともいえない	あまり入りたくなかった	入りたくなかった
休日に家でほっとしているとき	78.7	78.6	78.1	76.7	75.2	75.8
昼休みなど、クラスにいるとき	71.6	78.9	70.2	61.1	61.4	34.9
学校行事に参加しているとき	65.6	78.4	66.4	54.8	54.9	31.8
家族と過ごすとき	51.9	62.8	54.0	47.8	46.7	33.9
部活動をしているとき	49.2	58.5	51.1	44.9	49.0	43.9
授業を受けているとき	30.4	44.7	36.5	29.3	24.2	16.6
アルバイトをしているとき	21.3	20.4	18.6	17.0	24.1	21.2
塾・予備校の授業を受けているとき	10.9	15.7	10.7	16.2	12.4	22.8

「とても」+「かなり」充実している割合

表2 - 3 どのくらい充実しているか × 学校には何でも話せる友だちがいると思う

(%)

	全体	とてもそう	かなりそう	ややそう	あまりそうでない	まったくそうでない
休日に家でほっとしているとき	78.7	79.3	78.0	77.7	72.7	77.8
昼休みなど、クラスにいるとき	71.6	84.5	77.3	64.5	46.5	29.4
学校行事に参加しているとき	65.6	81.2	69.7	59.6	47.8	38.2
家族と過ごすとき	51.9	60.1	56.9	53.7	44.1	42.4
部活動をしているとき	49.2	56.7	55.2	50.7	42.5	35.5
授業を受けているとき	30.4	43.6	37.2	33.2	24.6	29.9
アルバイトをしているとき	21.3	23.0	19.0	15.6	19.2	16.0
塾・予備校の授業を受けているとき	10.9	15.4	14.5	14.9	11.8	14.6

「とても」+「かなり」充実している割合

表2 - 4 どのくらい充実しているか (一般校・特色校の上位4項目比較)

(%)

	一般校	特色校			
		F校	G校	H校	I校
最多項目	休日 78.7	休日 77.8	行事 91.9	休日 80.6	休日 74.1
2番目	昼休み 71.6	家族 59.8	昼休み 73.8	行事 79.1	昼休み 65.7
3番目	行事 65.6	昼休み 47.4	休日 73.5	家族 68.6	部活動 60.3
4番目	家族 51.9	授業 46.1	部活動 61.7	昼休み 66.9	行事 59.5

「とても」+「かなり」充実している割合

2) あなたの高校はどんな学校か

表2 - 5は「あなたの高校はどんな学校か」について性別、学年別、成績別にまとめたものである。最も評価が高いのは「全体としてのびのびしている」である。「とても・ややその通り」を合わせると女子90.2%、男子84.6%。次に高いものは「文化祭などの行事が盛ん」で男子69.3%、女子68.1%、3番目に「センスのいい生徒が目につく」で女子は

男子より16.2ポイント高い69.1%である。ほとんどの項目で1年が高い評価を示し、2年が一番低い評価である。1年と2年との落差はほとんどの項目で10%以上あるが、とりわけ大きく落ち込んでいるものは「熱心な先生が多い」マイナス25.3%、「部活動が盛ん」がマイナス17.5%である。共に1年生が感じていた期待や新鮮さが2年目には色あせ魅力を失ってしまっていることの反映である。成績別にみると上位層は「受験指導に力を入れて

表2 - 5 あなたの高校はどんな学校か × 性・学年・成績

(%)

		全 体	性 別		学 年 別			成 績 別				
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	上	中の上	中	中の下	下
全体としてのびのびしている	とてもその通り	46.0	38.2	53.2	49.9	42.9	45.4	51.6	47.3	41.4	48.6	45.6
	ややその通り	41.5	46.4	37.0	42.2	39.3	43.0	33.6	41.2	49.8	38.1	37.5
	小 計	87.5	84.6	90.2	92.1	82.2	88.4	85.2	88.5	91.2	86.7	83.1
文化祭などの行事が盛ん	とてもその通り	35.9	35.5	36.3	39.2	33.9	34.9	27.3	35.6	38.4	34.3	38.9
	ややその通り	32.7	33.8	31.8	34.0	31.5	32.6	41.4	31.9	31.3	35.2	28.6
	小 計	68.6	69.3	68.1	73.2	65.4	67.5	68.7	67.5	69.7	69.5	67.5
センスのいい生徒が目につく	とてもその通り	13.5	8.1	18.5	15.4	11.0	14.0	15.6	14.5	12.6	12.4	13.9
	ややその通り	47.7	44.8	50.6	52.4	46.9	44.2	47.7	47.1	48.4	51.1	43.5
	小 計	61.2	52.9	69.1	67.8	57.9	58.2	63.3	61.6	61.0	63.5	57.4
部活動が盛ん	とてもその通り	10.9	13.1	9.0	15.4	8.1	9.5	12.5	11.8	10.6	7.4	13.0
	ややその通り	40.1	40.4	40.3	46.0	35.8	38.9	40.6	41.2	43.1	37.7	38.1
	小 計	51.0	53.5	49.3	61.4	43.9	48.4	53.1	53.0	53.7	45.1	51.1
熱心な先生が多い	とてもその通り	8.0	9.3	7.0	11.6	4.5	8.1	6.3	7.8	7.4	9.5	8.1
	ややその通り	37.9	36.2	39.5	48.9	30.7	34.7	32.8	39.8	40.1	36.0	37.4
	小 計	45.9	45.5	46.5	60.5	35.2	42.8	39.1	47.6	47.5	45.5	45.5
受験指導に力を入れている	とてもその通り	5.4	5.3	5.5	7.5	3.4	5.3	10.2	5.2	3.7	6.5	4.9
	ややその通り	37.4	38.7	36.1	41.5	35.2	35.7	36.7	41.0	41.8	32.0	32.8
	小 計	42.8	44.0	41.6	49.0	38.6	41.0	46.9	46.2	45.5	38.5	37.7
まじめな生徒が多い	とてもその通り	5.9	7.2	4.6	6.9	5.3	5.5	6.3	3.0	3.7	7.4	9.7
	ややその通り	31.5	29.5	33.2	36.8	27.0	31.1	22.7	28.1	36.4	32.5	31.3
	小 計	37.4	36.7	37.8	43.7	32.3	36.6	29.0	31.1	40.1	39.9	41.0
生活指導に力を入れている	とてもその通り	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	7.0	3.6	5.2	3.7	3.6
	ややその通り	25.4	26.9	24.2	29.4	24.3	23.1	26.6	28.7	23.5	24.4	25.3
	小 計	29.7	31.2	28.5	33.6	28.6	27.4	33.6	32.3	28.7	28.1	28.9
決まりなどが厳しい	とてもその通り	2.7	1.9	3.4	1.9	3.7	2.5	3.9	1.8	3.0	1.5	4.2
	ややその通り	8.3	6.9	9.5	7.7	9.3	8.0	10.9	7.3	8.1	6.8	10.6
	小 計	11.0	8.8	12.9	9.6	13.0	10.5	14.8	9.1	11.1	8.3	14.8

いる」「生活指導に力を入れている」と指導に関する項目で相対的に高い評価をするものの「熱心な先生が多い」では最も低い評価となる。中位層は「全体としてのびのびしている」91.2%が際立つ。他の項目でも中間層の評価が一般的に高い。

表2 - 6は数値の高い4項目を一般校の平均と特色校それぞれを比較したものである。特色校ではそれぞれの最多項目は高い数値となっており、それだけに特色が生徒にも評価されているといえる。

3) 施設面での満足度

表2 - 7は学校の施設面の不満度の「かなり・とても不満」を合わせたものである。どの項目も高い不満度である。性差では男子が「体育館」や「グラウンド」「部活動の部室」といったことに不満度が高い。男女共に不満度の一番高いのは「トイレ」である。学年別では1年生の不満度が比較的低い。高校に比べ小規模な施設が多い中学校の施設と比較しているのではないかと推測できる。

表2 - 6 あなたの高校はどんな学校か(一般校・特色校の上位4項目比較)

(%)

	一般校	特 色 校			
		F校	G校	H校	I校
最多項目	のびのび 87.5	のびのび 93.1	行事盛ん 99.5	行事盛ん 100.0	受験指導 93.6
2番目	行事盛ん 68.6	センスいい 80.4	のびのび 82.0	のびのび 89.4	まじめ 75.2
3番目	センスいい 61.2	部活動盛ん 50.0	部活動盛ん 81.1	センスいい 84.6	熱心先生 67.6
4番目	部活動盛ん 51.0	熱心先生 50.0	まじめ 76.6	まじめ 64.6	生活指導 65.1

「とても」+「やや」その通りの割合

表2 - 7 施設の不満度 × 性・学年・成績

(%)

	全 体	性 別		学 年 別			成 績 別				
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	上	中の上	中	中の下	下
トイレ	55.2	52.9	57.5	51.6	57.1	56.8	66.6	51.8	54.1	53.3	58.2
部活動の部室	46.3	53.0	39.4	42.4	51.7	44.6	50.0	42.6	45.6	41.5	53.5
教室	42.6	44.4	41.1	36.7	47.0	43.7	51.2	40.6	38.4	41.7	47.4
校舎	36.1	37.7	34.5	28.4	42.7	36.7	49.6	36.6	30.3	34.5	39.5
グラウンド	25.6	33.8	18.2	23.6	29.0	24.2	35.7	23.9	20.2	23.1	33.0
理科室や音楽室	22.5	28.3	17.1	18.9	25.9	22.4	22.5	19.5	19.6	22.2	30.6
体育館	19.8	22.1	17.4	15.3	24.0	19.8	19.4	16.0	17.2	21.0	26.6

「かなり」+「とても」不満の割合

表2 - 8は施設の満足度を一般校の平均と特色校で比較したものである。G校やH校のように施設面以外では高い充実度や満足度を示しているような学校でも、施設面ではあまり評価されていない。逆に他の項目では低い評価の多いF校では「グラウンド」「部活動の部室」以外は高い評価となっている。唯一の私立校であるI校は全般的に満足度は高い。

豊かな時代となり家には自分専用の部屋に専用の机・いす、さらにはテレビ、エアコンなどを持っている生徒も少なくない。公共の体育館などでは空調や音響設備を完備した豪華なものも日頃経験している。それに対し学校施設は相変わらず狭い教室に固く狭い机・

いすなどが多く、また教室や体育館などにエアコンなどついている学校はまれな状態である。しかし校内にジュース類などの自動販売機を設置したり、廊下の隅に長椅子を設置して談話コーナーなどを設けて少しでも居心地のよい学校施設の工夫をしているところもある。こうした努力に加え、これからはIT関連施設の充実などが学校への求心力の一助となっていこうだろうが、基本的にもっとゆとりのある空間を準備することが必要だといえる。

4) 高校生活の満足度

現在通っている高校に関する満足度をまとめたものが表2 - 9である。全体では「友だ

表2 - 8 施設の満足度（一般校と特色校の比較）

(%)

	一般校	特色校			
		F校	G校	H校	I校
体育館	33.8	60.4	32.1	35.1	46.0
理科室や音楽室	25.7	45.6	24.1	26.8	46.1
グラウンド	20.6	20.4	21.2	22.5	43.5
校舎	14.5	77.8	29.8	26.0	42.9
部活動の部室	13.8	21.8	9.3	16.3	15.7
教室	10.4	64.7	28.5	17.2	40.0
トイレ	7.3	52.2	13.1	15.3	87.0

「とても」+「かなり」満足の割合

表2 - 9 現在の高校に満足しているか × 性・学年・成績

(%)

	全 体	性 別		学 年 別			成 績 別				
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	上	中の上	中	中の下	下
友だち関係	65.2	61.5	68.8	66.6	61.3	67.7	60.5	73.5	66.2	59.5	63.3
高校の雰囲気	49.8	41.9	57.4	57.6	43.4	49.1	49.6	52.4	50.2	47.7	48.7
全体として	46.2	39.7	52.2	50.5	40.2	48.2	46.6	52.4	46.8	42.3	43.1
部活動	41.6	42.3	41.1	47.8	36.3	40.7	35.1	42.8	41.3	44.1	41.6
先生方の教え方	18.6	18.5	19.0	23.7	13.0	19.6	21.0	19.3	19.8	18.5	15.7

「とても」+「かなり」満足の割合

ち関係」の満足度が一番高く65.2%、次いで「高校の雰囲気」が49.8%である。一番低いのが「先生方の教え方」で18.6%しかない。

男女別では女子は「高校の雰囲気」でプラス15.5%、「全体として」プラス12.5%、「友だち関係」でプラス7.3%とそれぞれ男子より満足度が高い。学年別では1年は5項目中4項目で他学年より高く、2年は全項目で一番低い。3年は「友だち関係」でわずかに1年より高い満足度となった。成績別では中の上位層が「友だち関係」「高校の雰囲気」「全体として」の3項目で一番高く、特に「友だち関係」は73.5%と際立って高い満足度である。中の下位層はその3項目が低いものとなり

「部活動」でわずかながら一番高い満足度となった。

表2 - 10は満足度を本意入学の度合いとクロスさせたものである。「ぜひ入りたかった」層が全項目で際立って高い満足度となっている。「どちらかという入りたかった」層の満足度は相対的には2番目に高いが、「友だち関係」以外は「ぜひ入りたかった」層に大きく差をつけられている。表2 - 11は高校の満足度と「学校には何でも話せる友だちがいると思う」の度合いとのクロスをまとめたものである。「とてもそう」層は全項目で高い満足度である。「先生方の教え方」以外は、「何でも話せる友だちがいると思う」

表2 - 10 現在の高校に満足しているか × 入学の本意度

(%)

	全体	ぜひ入りたかった	どちらかという入りたかった	どちらともいえない	あまり入りたくなかった	入りたくなかった
友だち関係	65.2	78.1	63.5	51.4	48.3	40.9
高校の雰囲気	49.8	76.4	49.0	29.5	25.7	10.6
全体として	46.2	68.8	46.9	31.3	25.7	13.7
部活動	41.6	55.2	41.0	33.9	38.4	37.1
先生方の教え方	18.6	30.6	21.7	18.0	13.9	7.5

「とても」+「かなり」満足割合

表2 - 11 現在の高校に満足しているか × 学校には何でも話せる友だちがいると思う

(%)

	全体	とてもそう	かなりそう	ややそう	あまりそうでない	まったくそうでない
友だち関係	65.2	88.2	77.6	51.3	25.6	16.9
高校の雰囲気	49.8	69.6	56.7	40.7	30.6	23.8
全体として	46.2	69.2	56.2	35.1	23.9	18.3
部活動	41.6	57.5	47.0	36.6	30.2	24.5
先生方の教え方	18.6	31.3	22.6	17.6	16.1	20.3

「とても」+「かなり」満足割合

度合いが強いほど段階的に満足度が高くなっている。表2-12は一般校の平均と特色校それぞれの満足度をまとめたものである。「友だち関係」ではG校の74.4%が最高であるが、他の特色校は一般校と同じ満足度かむしろ下回っている。「高校の雰囲気」はF校、

H校で最も高い満足項目となっている。「全体として」は特色校3校が6割前後の満足度であるのに対し、進学校のI校は4割に届かない。また、「高校の雰囲気」では28.8%である。

表2-12 現在の高校に満足しているか（一般校・特色校の上位5項目比較）

(%)

	一般校	特色校			
		F校	G校	H校	I校
最多項目	友だち関係 65.2	高校の雰囲気 63.0	友だち関係 74.4	高校の雰囲気 70.2	友だち関係 56.5
2番目	高校の雰囲気 49.8	全体として 55.2	高校の雰囲気 73.8	友だち関係 66.9	部活動 47.1
3番目	全体として 46.2	友だち関係 44.0	全体として 67.8	全体として 61.6	全体として 36.9
4番目	部活動 41.6	先生方の教え方 35.7	部活動 56.8	部活動 52.8	先生方の教え方 33.7
5番目	先生方の教え方 18.6	部活動 28.6	先生方の教え方 33.6	先生方の教え方 21.8	高校の雰囲気 28.8

「とても」+「かなり」満足の割合

2 学校に必要な行事

1) 学校行事などの必要度

現在、小・中・高校を合わせ、不登校の子どもが全国で13万人に上るといわれ、また高校の中途退学者もかなりの人数となっている。「学校に行くこと」に疑問を持つことができるようになり、学校を多様な学習機会の

1つであるとする捉え方も支持を広げているように思える。

そうした中で、高校生自体が学校でやる必要のあること、学校でやった方がやりやすいことをどのように考えているかについて学校行事を中心にまとめたものが表2 - 13である。全体では「修学旅行（林間学校・スキー

表2 - 13 行事や活動を学校で行う必要があるか × 性・学年・成績

(%)

	全 体	性 別		学 年 別			成 績 別				
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	上	中の上	中	中の下	下
修学旅行（林間学校・スキー教室なども含める）	88.3	85.5	90.8	87.9	88.1	88.8	84.9	89.4	88.6	90.3	86.0
卒業式	84.7	77.5	91.5	85.2	85.3	83.6	79.4	88.8	86.4	84.7	80.2
文化祭	81.7	74.6	88.5	84.1	80.9	80.3	46.1	82.0	81.4	83.8	81.5
入学式	77.4	69.3	84.9	76.7	76.8	78.5	76.2	80.2	78.7	78.1	72.1
遠足	72.0	66.8	76.9	71.3	72.5	72.2	66.6	72.9	71.8	75.7	69.5
運動会（体育祭）	71.2	64.8	77.2	71.5	72.3	70.2	66.7	68.7	71.1	74.4	71.7
球技大会	60.0	63.6	56.8	60.8	58.4	60.8	57.1	57.2	60.9	63.8	58.8
社会見学（工場や資料館など）	52.1	50.0	54.1	56.5	50.3	49.8	46.9	52.6	50.6	54.4	53.3
合唱祭などの生徒による音楽会	41.0	33.8	47.8	48.4	38.9	36.6	38.9	42.4	40.0	44.7	38.4
芸術鑑賞会	40.4	36.7	43.8	38.5	39.4	43.0	36.5	44.5	37.0	43.8	37.4
保護者会（支部別PTA会なども含める）	23.0	25.0	21.4	22.3	19.5	27.0	28.6	24.7	20.3	25.1	19.8
水泳大会	16.8	21.6	12.5	19.9	15.4	15.3	15.9	13.4	13.8	19.7	21.2
マラソン大会	11.9	18.9	5.5	10.0	12.9	12.6	11.9	10.1	10.7	13.5	13.3
授業参観	10.2	12.2	8.5	10.0	8.4	12.1	8.8	9.7	11.0	10.1	10.0
家庭訪問	5.7	8.4	3.4	6.8	5.2	5.4	6.4	6.1	5.2	4.7	6.2

「とても」+「わりと」必要の割合

教室なども含める)」が「とても・わりと必要」を合わせ88.3%と最も高い支持を受けた。次いで、「卒業式」84.7%、「文化祭」81.7%、「入学式」77.4%、「遠足」72.0%、「運動会(体育祭)」71.2%と続くが、それ以外はあまり高い支持を得ていない。低位の項目で目立つのは、「水泳大会」や「マラソン大会」など記録的で個人種目の性格の強いものや、また「保護者会」「授業参観」など保護者参加型のものである。性差をみると、比較的高い支持を得た項目の中では女子が「球技大会」以外の項目で男子を上回る。とりわけ「入学式」プラス15.6%、「卒業式」プラス14.0%、「文化祭」プラス13.9%、「運動会(体育祭)」

プラス12.4%、「遠足」プラス10.1%と大幅に男子の数値を上回っている。すなわち儀式的な行事や友だちと楽しめる行事などへの支持が高い。学年差はあまりみられない。成績別でみると、成績上位層は行事関係にはおおむね否定的である。中の上位層は「卒業式」「入学式」に関し最も高い支持を示している。中の下位層は友だちと楽しめそうな「文化祭」や「運動会(体育祭)」「遠足」などに高い支持を示している。表2-14は一般校の平均と特色校を必要度の高い10項目で比較したものである。F校はどの項目も他校に比べ低い。行事などの盛んなG校、H校はさまざまな行事に肯定的に答えている。

表2-14 行事や活動を学校で行う必要があるか
(一般校・特色校の上位10項目比較)

(%)

	一般校	特色校			
		F校	G校	H校	I校
最多項目	修学旅行 88.3	卒業式 67.5	卒業式 92.7	卒業式 90.7	修学旅行 88.6
2番目	卒業式 84.7	入学式 57.3	文化祭 92.2	修学旅行 88.7	文化祭 82.0
3番目	文化祭 81.7	文化祭 53.0	運動会 91.8	文化祭 87.3	卒業式 72.9
4番目	入学式 77.4	修学旅行 44.5	修学旅行 90.0	運動会 82.0	球技大会 69.3
5番目	遠足 72.0	遠足 32.5	入学式 84.4	入学式 80.0	運動会 61.9
6番目	運動会 71.2	芸術鑑賞会 31.1	遠足 80.7	遠足 80.0	入学式 61.4
7番目	球技大会 60.0	運動会 29.1	球技大会 64.2	社会見学 60.0	遠足 53.0
8番目	社会見学 52.1	合唱祭 24.8	合唱祭 59.9	合唱祭 59.3	社会見学 51.5
9番目	合唱祭 41.0	社会見学 23.0	社会見学 50.2	芸術鑑賞会 54.0	保護者会 36.2
10番目	芸術鑑賞会 40.4	保護者会 21.5	芸術鑑賞会 44.9	球技大会 49.3	芸術鑑賞会 30.5

「とても」+「わりと」必要の割合

2) 現在の学校の位置づけ

以上検討してきた1. 学校生活の満足度、2. 学校に必要な行事をまとめてみると、今の高校生にとって「学校」の持つ意味は以前にもまして「友だち」が重要なキーワードになってきたように思える。その友だちも他者とのふれあいを通しての人間形成といった積極的なものではなく、「昼休みなど、クラスにいますとき」の高い充実感に示されるように仲間内で何となく群れていることに価値を見だしているようである。「学校行事に参加するとき」の高い充実感も生徒一人一人が積極的に学校全体の行事にかかわっていくというのではなく、気の合った仲間と一緒に参加し楽しくおしゃべりしたり、内輪受けする企画のもとでも楽しく時間を過ごすことにウエイトがある。この「気の合う仲間」を持つことこそ生徒の最大の関心事で学校に求めているものでもある。

現在通っている学校に対する評価では「のびのびしている」が一番高いものとなった。「とてもその通り」と答えているだけでも全体で46.0%いる。1992年の『モノグラフ・高校生』vol.36「高校生は変わったのか - 1980

年調査と比較して - 」をみると、1980年調査では「学校全体がのびのびしている」の「とてもそう思う」は24.3%であり、1992年調査では27.8%であった。それが今回の調査では46.0%と急増している。

今回の調査校に限らず昨今の高校生は、とりわけ女子高校生は屈託がなく元気な生徒が多い。しかし、それは「のびのびしている」が、違う見方をすれば「勝手気まま」ともいえる。携帯電話に代表される特定の仲間だけのつきあいが、そのまま授業時間に持ち込まれ、離れた者同士で私語をしたり携帯電話で連絡しあったりする姿や、担任などの指導に対しても一見素直にしたがうふりをして自分流を押し通す生徒などが、多くの学校で目につくようになったと聞く。こうした点を「のびのび」と表するとしたら、一般的な意味合いと違うことになる。より多くの生徒が「学校全体がのびのびしている」といえるようにするためには、現在の仲間同士で楽しくやれば「なんでもあり」的なものではなく、個々の生徒が自立的に学校生活を送れるような環境を支えていくことが必要ではないかと考えている。

第3章 ||||

授業への取り組み方

一日の学校生活の中で一番長い時間を占めているのは、授業である。その授業に対して生徒はどのように対応し、どのような授業内容を求めているのだろうか。新しい学力観にたつ授業が小学校・中学校で積極的に取り入れられ、高等学校でも多くの実践が試みられてきた。それらの成果は授業に反映し、生徒たちにも意識されているのだろうか。

また、昨今、学習指導要領の改訂に伴う授業内容の精選が、生徒の学力低下につながっ

ているのではないかという指摘もある。そして、最近の生徒たちの授業意欲が、昔に比べると低下しているという意見も、古くからいる教師からは異口同音に聞かれることが多い。さらに、かつてのように成績上位者＝まじめな高校生像という見方が変更をせまられている（『モノグラフ・高校生』vol.48「高校生白書」1997年、p58～p61参照）。

これらの指摘や意見などを今回のデータでも考慮しながら、本章の分析を試みたい。

1 授業中の態度

図3-1は、「あなたは授業中、どうしていることが多いですか」と問うた結果である。「ノートをしっかり取る」生徒は多く（75.2%、「いつも」+「わりと」そうしている合計、以下同じ）「先生の話熱心に聞く」（40.6%）姿勢もわりと示している。「『内職』をする」（12.6%）「マンガや雑誌を読む」（11.9%）といった授業に参加しようとしないう生徒は少ないが、「ボーっとしている」（36.2%）「いねむりをする」（29.7%）といった、ときどき

授業への集中が欠ける生徒は3割前後いることがわかる。

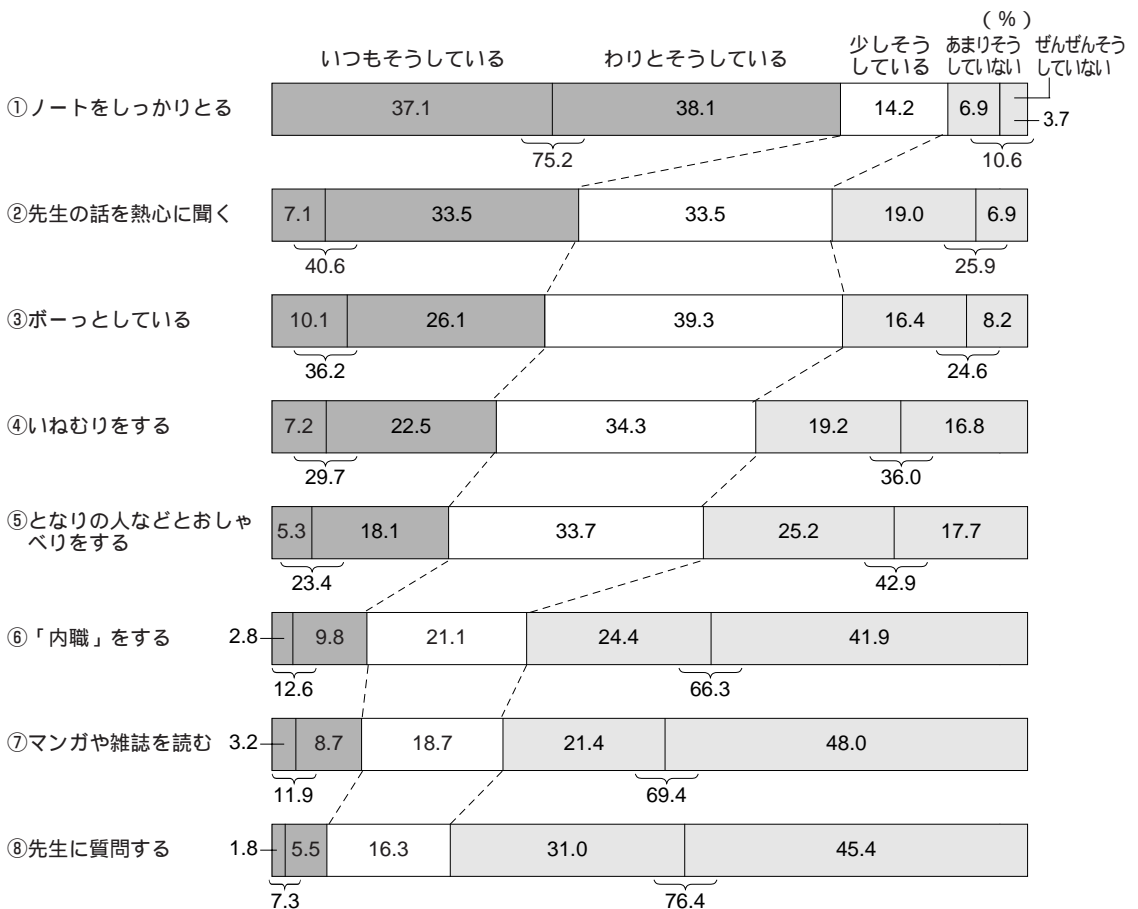
ここからは、多くの生徒はときどき集中度が欠けることもあるが、結構授業に参加しているということが読み取れる。ただし、「先生に質問する」（7.3%）生徒が1割弱ということは、自ら積極的に授業に参加し、作っていくという態度はやや希薄といえよう。新しい学力観に基づいた自ら学ぶ姿勢や発表する力は、まだ十分に育っているとはいえないの

ではないだろうか。もちろん、高校での授業形態の多くがそうした力を引き出すように工夫されているか否かの問題も確かに考慮する必要はある。

ただし、ここで気になるのは、「ノートをしっかり取る」ことをしない生徒（「あまり」+「ぜんぜん」そうしていない合計、10.6%）や『内職』をする（「いつも」+「わりと」そうしている合計、12.6%）生徒や「マンガや雑

誌を読む」（11.9%）生徒の存在である。講義形式のみならず、発表学習や視聴覚機材を使った授業や課題解決学習などの授業形態をとっても、必ず1割前後の生徒は参加していないのが実態である。そのことをこのデータは如実に示しているといえよう。もっとも、多様な希望を持ち、学力レベルもさまざまな生徒たち全員を授業に集中して参加させることなど、土台無理なのかもしれないと考えるの

図3 - 1 授業中の態度



は筆者だけだろうか。

図3 - 2は、性別で比較したものである。「ノートをしっかり取る」のは女子の方である(男子71.9% < 女子78.5%)が、集中度が欠けるときでは、女子は「ボーっとしている」者の割合が高く(男子32.1% < 女子40.0%)男子では「いねむりをする」者の割合が高い(男子35.2% 女子24.5%)

学年別・成績別などでクロスした結果が、表3 - 1である。学年別では、授業への参加意欲が低く、集中度が欠けるときが多いのは2年生に集中している。現場でよく指摘されている“中だるみ現象”は、このデータからも明確に読み取れる。

成績別では、参加意欲も集中度も共に成績順にほぼ正比例していることがわかる。特に下位層の意欲は低く、「ノートをしっかり取る」者も5割(51.1%)にすぎず、上位層(87.5%)、中の上位層(91.6%)と比較すると約4割も少ないことがわかる。また、「先生の話熱心に聞く」者は24.8%で、上位層

と中の上位層の半分にも達していない。逆に、「いねむりをする」者は50.0%に達し、上位層と中の上位層の約3倍も多いのである。下位層にとっての授業時間は、ひたすら授業が終了するのを待つという苦痛なときであることをこのデータは物語っている。

ただし、成績の上の方の生徒でも必ずしも授業に集中しているともいえないことが、ここに示されている。上位層でも34.4%の者は「ボーっとしている」ことがあり、どの属性中でも最も少数であるが、「いねむりをする」者が16.4%はいる。また、『内職』をする」や「マンガや雑誌を読む」といった授業に参加しようとする態度をとる生徒は、上位層よりも中の上位層の者の方が少ないことがわかる(前者16.4% > 10.0%、後者11.7% > 6.3%)。「ノートをしっかり取る」(87.5% < 91.6%)と「先生の話熱心に聞く」(52.3% < 54.2%)の項目なども含めると、旧来のまじめな高校生像は、上位層ではなく、中の上位層に多いといえよう。

図3 - 2 授業中の態度 × 性

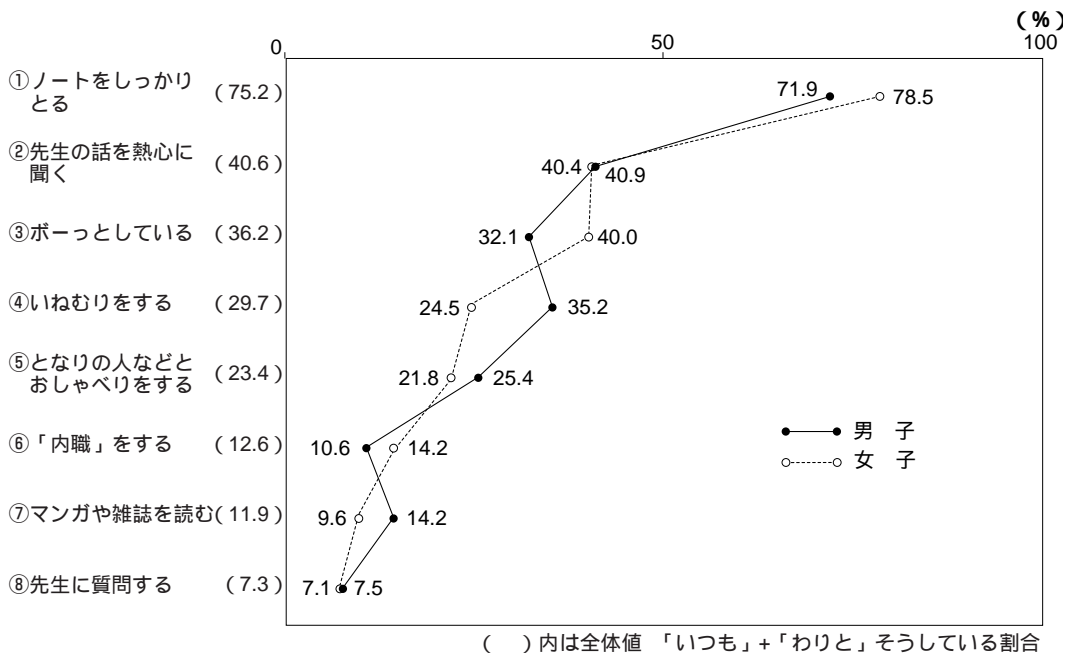


表3-1 授業中の態度 x 属性

(%)

	一般校					特色校									
	学年別		成績別			F校	G校	H校	I校						
	1年	2年	3年	上	中の上					中	中の下	下			
①ノートをしっかりとする	(79.2)	72.8	73.8	87.5	(91.6)	>>	80.1	>	70.8	>>	51.1	65.8	75.1	(75.5)	70.8
②先生の話を熱心に聞く	(45.9)	33.6	42.4	52.3	(54.2)	>>	42.4	>	33.5	>	24.8	47.0	54.1	(54.3)	54.2
③ボーっとしている	34.8	(37.5)	36.1	34.4	30.4	<	32.3	<	36.7	<	(47.6)	(41.0)	28.0	26.5	29.9
④いねむりをする	24.3	(35.9)	28.7	16.4	<	17.8	<	25.6	<	33.8	<	(50.0)	(31.2)	20.0	29.1
⑤となりの人などとおしゃべりをする	23.3	(26.5)	20.6	20.3	15.4	<	21.9	<	28.9	<	(30.3)	9.5	26.3	20.5	(31.4)
⑥「内職」をする	9.4	<	12.8	16.4	10.0	<	10.1	<	11.8	<	(18.8)	14.5	10.4	13.5	(22.8)
⑦マンガや雑誌を読む	10.2	(13.7)	11.8	11.7	6.3	<	10.1	<	13.9	<	(18.7)	(6.0)	4.6	5.2	4.9
⑧先生に質問する	(7.3)	8.1	4.7	(11.0)	9.9	>	7.2	>	5.9	>	4.8	4.3	16.8	(25.1)	21.5

()内は一般校の全体値 「いつも」+「わりと」そうしている割合
 < < 10%以上の差 ○ は各属性中の最大値 □ は各属性中の最小値

ところで、成績以外に授業中の態度を左右する要因があるのだろうか。この点を確認してみたのが、表3 - 2と表3 - 3である。

表3 - 2は、「授業を受けているとき」と「部活動をしているとき」の充実感とのクロス集計である。充実感と授業への参加意欲や集中度がほぼ正比例していることが、ここからも読み取れる。特に「授業を受けていると

き」に充実している層と充実していない層の差は歴然としている。例えば、「先生の話に熱心に聞く」という質問項目では、「とても充実している」者（85.4%）と「ぜんぜん充実していない」者（10.4%）との差は、実に8.2倍に達している。

授業に充実感を持ってない生徒が授業への参加意欲が低く、集中度に欠ける行動をとるの

表3 - 2 授業中の態度 × 充実感 授業や部活動に充実していない者は授業への参加意欲が低い

(%)

		授業を受けているとき				部活動をしているとき				あてはまらない						
		とても充実している	かなり充実している	あまり充実していない	ぜんぜん充実していない	とても充実している	かなり充実している	あまり充実していない	ぜんぜん充実していない							
①ノートをしっかりとする	(75.2)	90.2	< 93.3 >>	74.0	>> 46.9	78.0	(78.9) >	75.9	> 66.2	71.3						
②先生の話に熱心に聞く	(40.6)	(85.4)	>>	70.4	>> 32.3	>> 10.4	(49.6) >	45.7	> 37.4	>> 26.8	33.7					
③ボーっとしている	(36.2)	29.2	>	20.3	<<	37.2	<<	(59.3)	32.1	<	33.9	<	34.9	<	(43.1)	40.4
④いねむりをする	(29.7)	22.0	>	13.8	<<	29.5	<<	(57.3)	31.1	29.4	27.5	(31.4)	29.7			
⑤となりの人などおしゃべりする	(23.4)	26.8	>>	14.1	<	24.0	<<	(37.3)	25.2	16.9	<	19.7	<<	(33.8)	27.4	
⑥「内職」をする	(12.6)	9.8	>	7.7	<	11.7	<<	(23.5)	11.3	8.8	<	12.3	<	(18.6)	15.2	
⑦マンガや雑誌を読む	(11.9)	12.2	>	7.4	<	10.5	<<	(23.8)	11.3	8.0	<	11.4	<	(22.1)	14.2	
⑧先生に質問する	(7.3)	(19.5)	>	12.9	>	5.0	>	3.5	(8.7)	8.5	4.9	8.2	6.2			

()内は全体値 「いつも」+「わりと」そうしている割合 << 10%以上の差 ()は各属性中の最大値 <は各属性中の最小値

は当然といえば当然だが、部活動に「ぜんぜん充実していない」層の授業への参加意欲が低く、集中度に欠ける行動をとる者が多いのも、現場の実感を見事に反映しているといえよう。

表3 - 3は、「先生方の教え方」の満足度と比較をしたものである。教え方の満足度と授業への参加意欲と集中度は、ここでもほぼ

正比例している。特に、「とても満足」層の「先生に質問する」割合(26.8%)は、他のクロスと比較しても最も高い値を示している。また、「先生の話に熱心に聞く」という質問項目では、「とても満足」層(77.3%)と「とても不満」層(20.5%)との差は、3.8倍になっている。

表3 - 3 授業中の態度 × 先生方の教え方への満足度

(%)

		先生方の教え方				
		とても満足	かなり満足	やや満足	かなり不満	とても不満
①ノートをしっかりとる	(75.2)	85.4	> 84.0	> 76.3	> 68.0	>> 53.7
②先生の話に熱心に聞く	(40.6)	77.3	>> 66.2	>> 44.9	>> 30.1	> 20.5
③ボーっとしている	(36.2)	26.0	< 28.0	< 31.9	< 40.6	< 46.7
④いねむりをする	(29.7)	25.8	22.5	25.2	<< 36.5	< 46.3
⑤となりの人などとおしゃべりをする	(23.4)	21.9	22.1	19.9	< 29.2	< 35.4
⑥「内職」をする	(12.6)	13.9	11.8	11.7	< 17.0	< 21.7
⑦マンガや雑誌を読む	(11.9)	7.4	6.4	8.3	< 10.7	< 19.6
⑧先生に質問する	(7.3)	26.8	> 18.0	> 9.3	> 7.9	> 6.3

()内は全体値 「いつも」+「わりと」そうしている割合
 << 10%以上の差 ○ は最大値 □ は最小値

次にアルバイト経験の有無との関係を比較したのが、表3 - 4である。

アルバイト経験の有無を、現在やっている層を「ふだんからいつもやっている」と「土・日や休日だけやっている」と「長期休暇のときだけやっている」の3つに分け、現在やってない層を「今はやっていない」と「今までしたことがない」の2つに分けた。現在アルバイトをやっている層では、「ふだんからいつもやっている」層、つまり週日も放課後などにアルバイトをしている者の授業への参加意欲や集中度が一番低いことが読み取れる。これに比して、アルバイト未経験者の授業への参加意欲や集中度が高いことがわかる。アルバイト経験を一概に否定するつもりはないが、学校生活の中で重要なものの1つである授業を大事にするという視点に立つと、少なくとも経済的事情が許されるならば、週日のアルバイトは避けるべきだと、このデータは示しているのではないだろうか。

以上のデータから授業への参加意欲や集中

度の最も高い層は、成績上位層よりも授業に充実感があり、先生の教え方に満足している層であることがわかった。一方、低い層は、授業にぜんぜん充実感がなく、成績下位層で、先生の教え方にとっても不満で、週日もアルバイトをしている層である。

ところで、『モノグラフ・高校生 91』vol.33「高校生の教科観」では、1991年に山形・東京・神奈川・岡山の10校の普通科高校2年生2,111名を対象に、図3 - 1の8項目を含むアンケート調査を同じ尺度で実施している。調査対象校が、今回調査の一般校5校に比べると、進学校（4年制国立大学進学希望者60.0%と4年制私立大学進学希望者19.1%を合計すると79.1%となる。今回調査の一般校5校の4年制大学希望者は合計で62.0%）である点も考慮しながら約10年の差を比較してみた。図3 - 3の上段は、今回の一般校2年生のデータであるので、図3 - 1の数値とは相違がある。

「ノートをしっかり取る」(今回調査

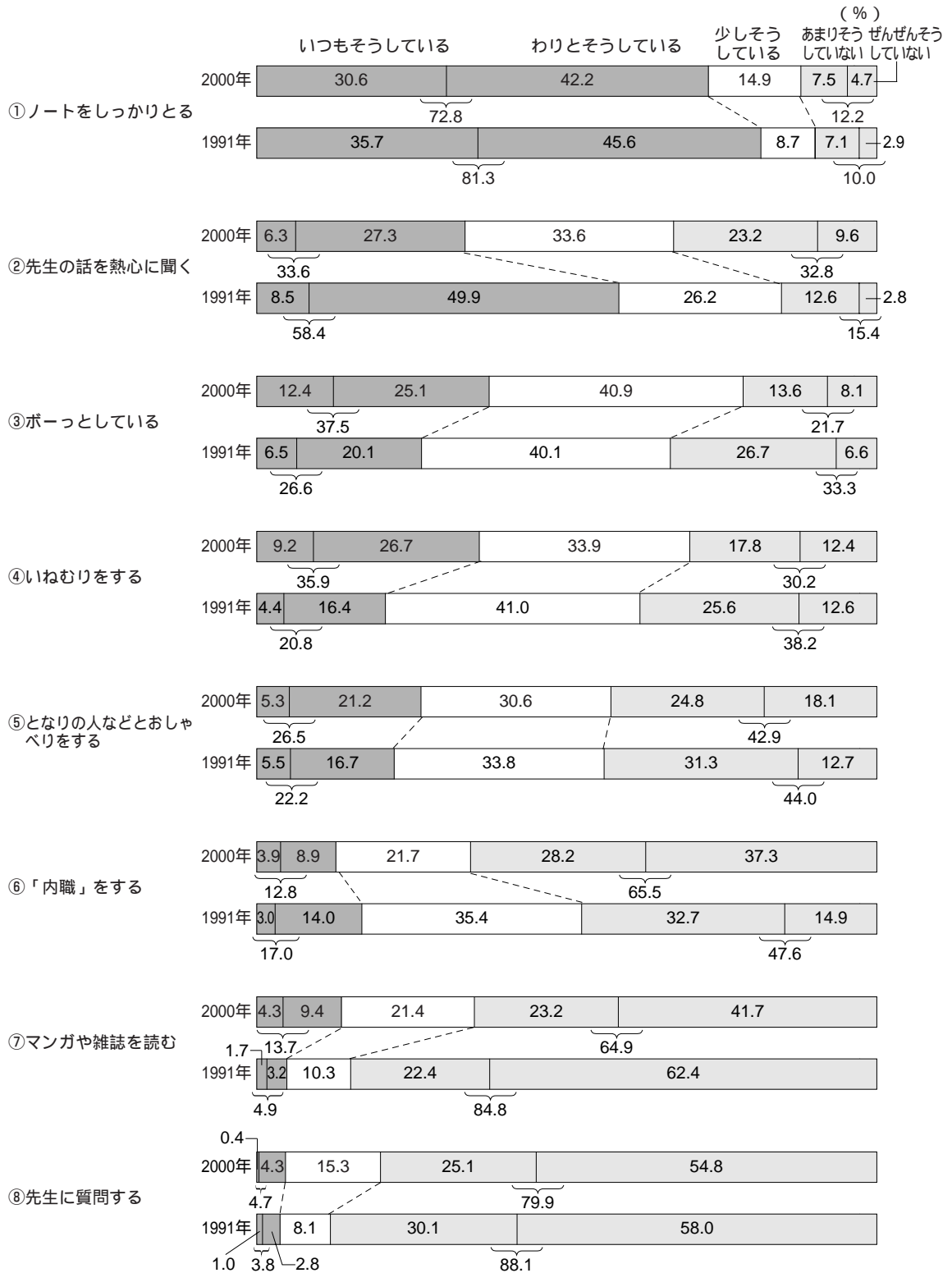
表3 - 4 授業中の態度 × アルバイト経験 週日もアルバイトしている者は授業への参加意欲が低い

(%)

		ア ル バ イ ト 経 験							
		ふだんから いつもやっている	土・日や休日 だけやっている	長期休暇の ときだけ やっている	今は やっていない	今までした ことがない			
①ノートをしっかり取る (75.2)	65.4	<	71.6	<<	(91.5)	70.9	81.4		
②先生の話に熱心に聞く (40.6)	24.6	<<	40.3	<	46.8	40.4	(48.5)		
③ボーっとしている (36.2)	(47.4)	>	43.3	>	36.9	>	35.1	>	30.2
④いねむりをする (29.7)	(43.5)	>	40.3	>>	27.6	29.6	>	21.2	
⑤となりの人などとおしゃべりをする (23.4)	(33.9)	>	31.4	>	23.4	=	23.5	>	17.7
⑥「内職」をする (12.6)	(22.5)	>>	10.5	=	10.6	14.2		7.7	
⑦マンガや雑誌を読む (11.9)	17.1		(19.4)	>	14.9	>	12.4	>	7.8
⑧先生に質問する (7.3)	8.7		(10.5)		4.3		6.9		7.0

() 内は全体値 「いつも」+「わりと」そうしている割合
 << 10%以上の差 ○ は最大値 □ は最小値

図3-3 授業中の態度 1991年との比較(2年生)



72.8% < 1991年調査81.3%。以下同じ)や「先生の話に熱心に聞く」(33.6% 58.4%)といった参加意欲の項目や、「ボーっとしている」(37.5% 26.6%)や「いねむりをする」(35.9% 20.8%)といった集中度を示す項目で、いずれも今回の調査の方が低い評価を示している。特に「先生の話に熱心に聞く」という項目では、24.8%も低い。調査対象校が進学校か中堅校かという違いを差し引いたとしても、最近の生徒たちの授業意欲や集中度が低下しているのではないかという現場の認識は、必ずしも不当とはいえないことをこのデータは示しているのではないだろうか。

ただし、好転した点も指摘しておきたい。それは、「先生に質問する」という項目である。4.7% > 3.8%とほとんど差がないようにもみえるが、「少しそうしている」まで含めると、20.0% > 11.9%の差になる。新しい学力観に基づく学習指導要領のもとで、小学

校・中学校を経験してきた生徒たちは、それ以前の生徒に比べれば、遅々とした歩みであるが、自ら積極的に授業に参加しようとする層が増加していることを示すデータといったら、やや評価しすぎだろうか。

今回の調査では、特色校4校も調査しているので、本節の最後に若干触れておきたい。前出の表3 - 1がそのデータである。4校の中でH校の授業意欲と集中度が高いのが注目できる。海外帰国生徒や在京外国人生徒を多く受け入れているので、H校は英語以外にも多くの科目で習熟度別の授業や多展開の授業が多く、少人数の授業も積極的に取り入れている。こうした多様な授業形態が生徒の意欲を引き上げているといえよう。また、よく「先生に質問する」生徒が25.1%もいるのは、外国での授業を受けてきた生徒たちの影響が多大にあるといえよう。

2 大事な勉強内容とは

公立高校の生徒たちは、現在毎週30時間余の授業を受けている。3年間では85単位前後の授業となる。そうした多くの勉強の中で、生徒たちはどのような内容を身につけることが大事だと思っているのだろうか。12項目について調査した結果が、図3 - 4である。

「簡単な英字新聞が読める」(59.2%「とても」+「かなり」大事の合計、以下同じ)「高齢者介護のやり方を身につける」(55.9%)「日本語の字幕なしで外国映画がわかる」(43.5%)「日本国憲法の基本的人権を理解する」(42.1%)などに強い関心を示している。実用的なもの、社会的なものへの関心度や欲求度が高いともいえる。それは、生徒たちも

現在の日本のおかれている国際化の必要性や高齢化社会への対応を迫られている状況を強く意識しているからでもあろう。

その一方で、多くの生徒は「因数分解を解く」(16.0%)「物理の法則を覚える」(13.2%)「漢文の文法を覚える」(12.2%)「元素記号を覚える」(10.4%)などの項目は、勉強内容として大事でないと思っている。理数離れの実態が如実に示されたデータといえる。また、漢文や古文のような実用的ではないが、日本人の基礎教養としては大切だと教師側が思っている項目にも関心度は低いといえる。

図3-4 勉強内容の大事度 国際化・高齢化社会への対応を強く意識している

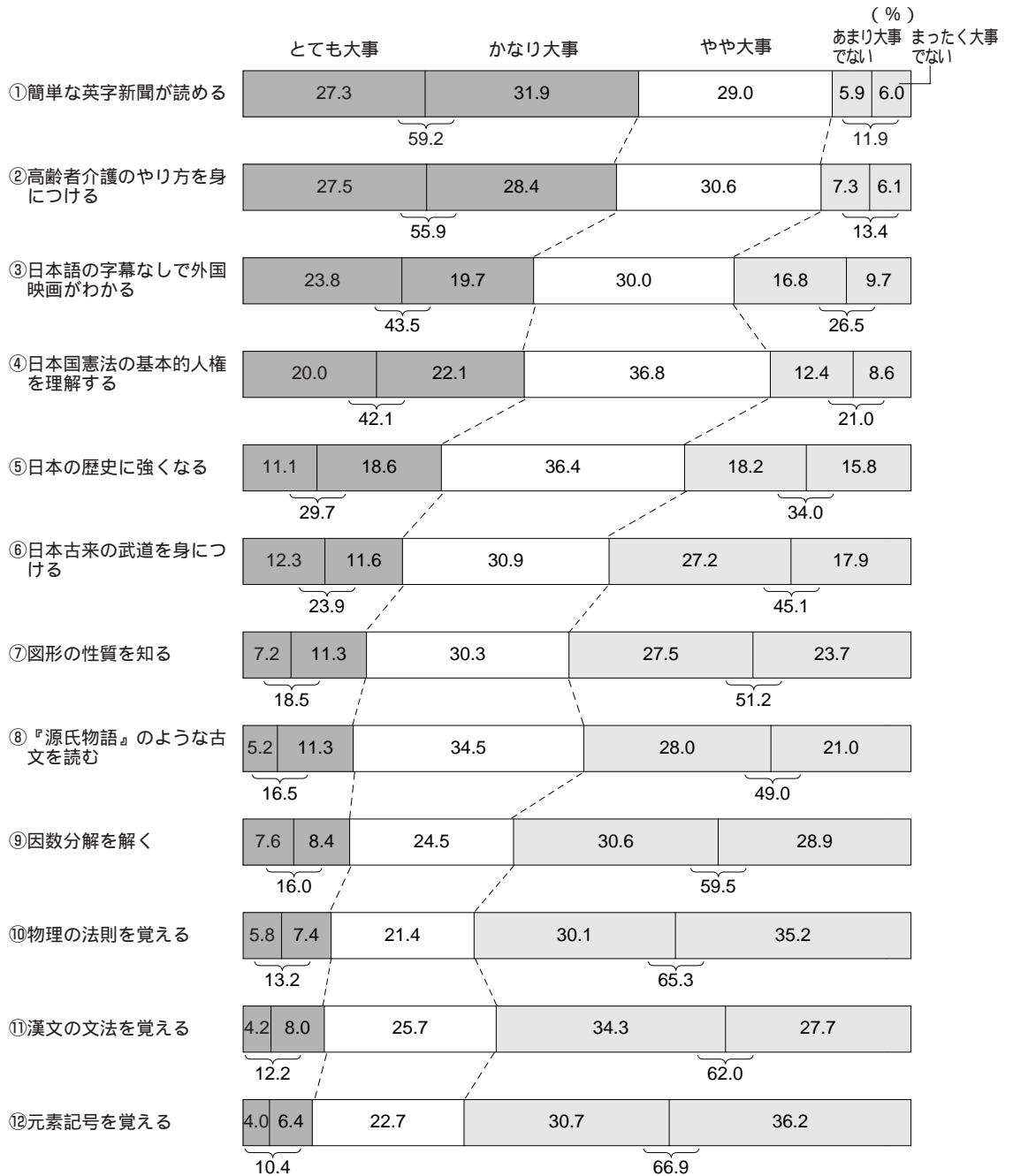


表3 - 5 勉強内容の大事度 × 属性

(%)

	学年別				一般校				特色校				
	成績別				上	中の上	中	中の下	下	F校	G校	H校	I校
	1年	2年	3年	3年									
①簡単な英字新聞が読める (59.2)	61.3	57.7	58.6	65.3	> 64.1	> 58.7	< 61.5	> >	49.0	68.4	66.2	80.8	73.4
②高齢者介護のやり方を身につける (55.9)	59.5	52.3	56.2	63.3	> 58.4	> 54.5	< 59.7	> >	48.3	61.6	62.6	72.2	48.2
③日本語の字幕なしで外国映画がわかる (43.5)	45.1	42.6	42.9	50.1	> 44.0	= 44.1	> 43.7	>	38.4	56.4	56.8	69.5	55.5
④日本国憲法の基本的人権を理解する (42.1)	48.6	37.0	41.1	52.4	> 44.4	> 39.2	< 41.4	>	39.1	59.0	53.0	64.2	52.1
⑤日本の歴史に強くなる (29.7)	34.7	26.3	28.2	32.8	33.1	28.6	29.6	25.3	25.3	47.1	38.4	52.3	39.8
⑥日本古来の武道を身につける (23.9)	26.1	22.6	23.3	25.7	25.0	21.5	25.9	22.5	22.5	22.3	25.8	27.3	32.8
⑦図形の性質を知る (18.5)	17.1	16.3	22.0	17.9	22.9	17.1	18.8	16.1	16.1	13.7	23.6	15.4	46.8
⑧『源氏物語』のような古文を読む (16.5)	20.4	14.3	15.0	23.5	> 19.9	> 14.8	< 15.1	>	14.1	25.9	20.5	31.1	30.8
⑨因数分解を解く (16.0)	15.0	13.3	19.5	13.3	19.8	> 18.0	> 15.4	>	11.5	10.3	23.6	10.0	41.2
⑩物理の法則を覚える (13.2)	13.7	11.6	14.4	9.4	16.2	13.3	11.7	13.2	13.2	12.0	15.1	13.4	32.8
⑪漢文の文法を覚える (12.2)	17.6	11.0	8.5	13.3	14.2	10.9	12.9	10.9	10.9	9.4	13.8	12.0	27.0
⑫元素記号を覚える (10.4)	11.3	10.6	9.4	11.0	10.8	11.1	9.8	9.6	9.6	7.7	19.6	10.6	28.9

()内は一般校の全体値 「>ととも」+「かなり」大事の割合
 << 10%以上の差 ○は各属性中の最大値 □は各属性中の最小値

学年別・成績別のクロス結果が、表3 - 5である。学年別では、2年生がほとんどの項目で大事度が低い。授業への参加意欲の低さが、勉強内容にも関心度や欲求度の低さに影響を与えているのだろうか。

成績別では、国際化や高齢者社会へ対応した勉強内容について、上位層は強い関心を示しているが、下位層は非常に消極的である。「簡単な英字新聞が読める」にも、49.0%の者しか大事だと思わず、平均より1割も低い値なのである。

表3 - 6は、「授業を受けているとき」の充実感とのクロス集計の結果である。「日本の歴史に強くなる」と「日本古来の武道を身につける」と「物理の法則を覚える」の3項

目を除く9項目すべてで、充実感の割合に正比例していることがわかる。左記3項目も「とても+かなり充実している」者と「あまり+ぜんぜん充実していない」者とを比較すると、充実している層の方が高い数値を示している。特に「とても充実している」者と「ぜんぜん充実していない」者との差は歴然である。授業に充実感を持っていない層は、授業内容に対する関心度・欲求度も低いことが、このデータから明確にわかる。

最後に、特色校4校について述べておきたい(表3 - 5)。4校とも国際化や高齢化などに対応した①~⑤の項目には強い関心・欲求を示している。特に、国際学科を持つH校の数値がずば抜けて高い(「簡単な英字新聞

表3 - 6 勉強内容の大事度 × 充実感

(%)

	授業を受けているとき			
	とても充実している	かなり充実している	あまり充実していない	ぜんぜん充実していない
①簡単な英字新聞が読める (59.2)	75.6	> 66.6	> 57.5	> 49.6
②高齢者介護のやり方を身につける (55.9)	63.4	> 62.4	> 55.3	> 46.9
③日本語の字幕なしで外国映画がわかる (43.5)	58.5	>> 47.1	> 41.9	> 40.3
④日本国憲法の基本的人権を理解する (42.1)	56.1	> 50.4	> 40.7	> 31.2
⑤日本の歴史に強くなる (29.7)	36.6	< 40.0	>> 28.2	>> 16.5
⑥日本古来の武道を身につける (23.9)	34.2	> 26.3	> 21.7	< 26.0
⑦図形の性質を知る (18.5)	34.1	> 24.5	> 16.2	> 13.8
⑧『源氏物語』のような古文を読む (16.5)	27.5	> 24.8	>> 14.3	> 8.4
⑨因数分解を解く (16.0)	24.4	> 22.5	> 13.8	> 11.1
⑩物理の法則を覚える (13.2)	29.3	>> 17.9	> 10.5	< 11.6
⑪漢文の文法を覚える (12.2)	31.7	>> 16.8	> 10.8	> 6.9
⑫元素記号を覚える (10.4)	26.9	>> 12.9	> 9.0	> 8.4

()内は全体値 「とても」+「かなり」大事の割合
 << 10%以上の差 ○は最大値 □は最小値

が読める」一般校平均59.2% H校80.8%、以下同じ、「高齢者介護のやり方を身につける」55.9% 72.2%、「日本語の字幕なしで外国映画がわかる」43.5% 69.5%、「日本国憲法の基本的人権を理解する」42.1% 64.2%、「日本の歴史に強くなる」29.7% 52.3%）

一方、私立中高一貫のI校は男子が多いことも反映しているが、理数系の勉強内容に強い関心度・欲求度を示していることがわかる。それぞれの学校の特色が勉強内容の大事度も明確に反映していることが、このデータから理解できる。

3 今後の授業改善へ向けて

今回の調査で最も気になったデータは、授業中の態度で『内職』をする」と「マンガや雑誌を読む」といった授業に参加しない層が、授業を受けているときに「とても充実している」者（前者9.8%、後者12.2%）や先生方の教え方に「とても満足」している者（前者13.9%、後者7.4%）の中にも1割前後いるという事実である。授業に充実している者や教え方に満足している者でも、全ての授業に満足しているとは考えられないし、全ての授業に緊張し続けるなどはスーパーマンでもない限りありえないともいえる。この数値は、生徒の本音を示しているのかもしれない。

しかし、こうした充実層や満足層の中の不満部分を解消することは、結果的に授業に充実していない層や教え方に満足していない層をも授業に意欲的に参加させられる手段となるのではないだろうか。そこで、今回のデータを踏まえて若干の提言をしてみたいと思う。

a . 授業に積極的に参加できる要因の1つは、勉強内容にある。生徒が大事と考えている勉強内容を含んだ科目を多数選択科目として作る。

b . 授業に積極的に参加できる要因の2は、先生にある。教え方に満足している生徒の意欲は高いのであるから、科目によって生徒が自由に先生を選べるような工夫が必要である。

c . H校の授業意欲が高かったことから、習熟度別の授業や少人数の多展開授業を大規模に取り入れることが必要である。そのために教員定数の増員と施設の増設が必要となる。充実した公立高校として活性化させるためには、多くの人材と金を使う必要がある。今こそ、金を惜しむべきではないと思うが如何に。

d . 先生の教授能力を高めること。その最良の道は、教師自らが研鑽を積むことはもちろんだが、生徒が先生を質問責めにするほど下調べをすべきではないだろうか。生徒の質問に窮することは教師の恥辱以外のなにものでもないだろう。「生徒の質問に立ち往生することが最近はなくなった」というのが職員室の会話でよく耳にするようになったのは筆者だけだろうか。生徒たちの奮起に期待し、丁々発止の授業ができればいいなと思っている。

以上の提言が実現する日の近からんことを願っている。

第4章

高校で“学ぶ”ということ

1 はじめに

高校生たちは、高校でいったい何を学んでいるのだろうか。「学校」といえば、「勉強するところ」というのが最も一般的なイメージだろうが、しかし、もし仮に学校が本当に勉強するだけのところだったとしたら、本調査の対象校の一部になっている、さまざまな特色校にみられるような、学校の多様化が推し進められることはないかもしれない。学校の多様化の背後には、高校生にとって、「学校」がただ「勉強するところ」だけではない、何

か別の意味があると考えられる。

そこで、本章では、高校生たちが高校で“学ぶ”ことに焦点をあてて、高校生にとっての学校の意味を考えていくことにしたい。具体的には、勉強の仕方と、勉強以外に高校時代にしておくことに関する高校生の考え方に、学校のタイプごとにどのような違いがあるか、学歴主義的な志向のある生徒とそうでない生徒ではどのような違いがあるのか、ということを検討していく。

2 学歴主義志向と進路選択

高校は、社会的にみたととき、将来の社会生活に向けての進路選択の場として非常に重要な意味を持っているところである。そして、その進路選択にあたって、多くの場合、高校生たちの勉強の成果、つまり成績が重要な決め手の1つになっている。

では、実際に高校生自身は、そのようなあり方をどのように認識しているのだろうか。また、どのように進路選択を考えているのだろうか。

まず高校生たちの学歴主義志向についてみてみることにしよう。

学歴主義志向を測る質問としては、Q19のうち、「1) どの大学を出たかで人生が決まってしまう」と「2) 学歴は本人の実力をかなり反映している」の2項目を用いる。前者は、社会的に学歴が重視されていると認識しているかどうかを問うものである。後者は、高校生自身が学歴を肯定的に評価しているかどうかを問うものである。個々の質問項目への回答の分布については後掲の巻末集計表を参照していただきたいが、いずれの質問にも4割ほどが肯定的な回答をするにとどまっており、高校生の間では、学歴主義的な考え方が広く共有されている状態ではなくなっているといえよう。

この2項目に対する回答の尺度の数字を足し合わせたものを「学歴主義志向」変数とする。その結果をまとめたのが表4-1である。点数が低いほど学歴主義志向が強く、高いほど学歴主義志向が弱いことになる。上述したように、高校生の間では学歴主義的な考え方に肯定的なものが半数以下であるため、若干

ではあるが高い点数に偏っている。分析にあたっては、便宜的に、2点から5点を「学歴主義的」(53.1%)、6点から8点を「非学歴主義的」(46.8%)の2つに分類して用いる。なお、サンプルが一方に偏りすぎないように分けたため、個々の質問項目への回答傾向とは異なり、やや「学歴主義的」の割合の方が多くなってしまっていることに留意していただきたい。

では、学歴主義志向が学校タイプごとにどのように分布しているのかを確認しておこう。

表4-2に、学校タイプ別にみた学歴主義志向をまとめた。学校タイプによってずいぶんとその分布に差があることがわかる。つまり、「学歴主義的」な高校生の多い順に、I校(69.9%)、G校(54.1%)、一般校(52.2%)、H校(40.5%)、F校(35.0%)で、私立中高一貫校のI校とコース制のG校で高くなっており、反対に単位制のF校ではI校のちょうど半分しか「学歴主義的」な生徒は

表4-1 学歴主義志向の粗点分布

(%)						
2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点
5.3	5.3	20.0	22.5	22.6	9.8	14.4

← 学歴主義的
 → 非学歴主義的

注) 2項目の合算点。「とても」を1とするので粗点は2点から8点まで分布する

表4-2 学歴主義志向 × 学校タイプ

		(%)	
		学歴主義的	非学歴主義的
一般校		52.2	47.8
特色校	F校	35.0	65.0
	G校	54.1	45.9
	H校	40.5	59.5
	I校	69.9	30.1
全体		53.1	46.8

いない。

この結果は、勉強をすることでよりよい進路選択をしようと考えている高校生が、私立中高一貫校やコース制の高校を選択し、自分の希望する勉強のスタイルや教育内容を求めている高校生が、単位制や国際理解を特色とする高校を選択していることを如実に反映したものといえよう。

また、一般校の平均値が4校の特色校のちょうど真ん中になったのも興味深い結果である。これは、一般校に通う高校生がちょうど平均的だったのではない。一般校に分類された高校の個別のデータはここでは示さないが、52.2%を中心に10ポイントの幅で散らばっているのであり、学歴主義志向に対して、一般校に通う高校生の間でも、特色校に通う高校生と同様に多様な考え方があることを含意しているといえよう。

次に、高校卒業後の進路希望について、学歴主義志向別にみてみよう。

表4 - 3に、学歴主義志向別にみた進路希望をまとめた。この結果からは、学歴主義的な高校生の方が難関大学を希望する割合が15ポイントほど高い一方、就職などで高校卒業後の進学を考えていなかったり、卒業後の進路そのものをまだ考えていなかったりする割合は非学歴主義的な高校生の方がやや多くなっている。

素直に考えれば、非学歴主義的な高校生よりも学歴主義的な高校生の方が、より高い学歴を得ようとするだろうし、高校卒業後になんらかの進学を考えない割合は少ないだろう。しかし、そのことと、自分自身の進路選択についてしっかり考える必要があると認識していることとは別ではないだろうか。

では、高校生たちは将来に向けて、高校でいったいどのように勉強をし、勉強やそれ以外の側面で何を学んでいるのだろうか。次節以降では、高校生たちが高校で“学ぶ”ことについて検討していくことにしよう。

表4 - 3 学歴主義志向 × 進路志望

		全 体	学歴主義志向	
			学歴主義的	非学歴主義的
進 路	入るのが難しい4年制大学	31.0	38.0	23.1
	ふつう程度の4年制大学	35.3	36.4	34.2
	入るのがやさしい4年制大学	3.1	3.1	3.1
	短大	4.9	4.7	5.2
	専修・専門学校	14.5	10.8	18.7
	就職など	4.0	2.1	6.0
	考えたことがない・その他	7.2	4.9	9.8
合 計		2,275人	1,210人	1,065人

(%)

3 勉強を通して“学ぶ”こと

高校生たちは高校で、外国語、数学、国語、理科、地歴、公民などの教科・科目を学んでいる。それぞれの教科・科目ごとにさまざまな教育内容が用意され、さまざまな知識を勉強していくのだが、勉強するにあたっては、何を学んだかということだけでなく、どう学んだかも非常に重要なのではないだろうか。同じ英語の文法や数学の公式であっても、その勉強の仕方が違えば、“学ぶ”ことは違ってくるのではないだろうか。

そこでこの節では、高校生たちが具体的にどのように勉強をしているのかということについて、①ノートのとり方、②授業で習ったことの身につけ方、③具体的な勉強方法の3点に分けて、表4-4から学歴主義志向別に、

表4-5から学校タイプ別にそれぞれ検討していく。

①ノートのとり方

高校生たちは、授業で教わることをどのように学んでいるのだろうか。まずはノートのとり方に注目してみよう。ノートのとり方については、Q11の中で、「4)先生が板書したことをノートにとる」と「5)先生が口で説明した内容をノートにとる」の2つを尋ねている。

表4-4から、学歴主義志向別にみると、非学歴主義的な高校生より学歴主義的な高校生の方が、どちらのノートのとり方とも大切にしている割合が高い。しかし、学歴主

表4-4 勉強の仕方 × 学歴主義志向

(%)

	学歴主義的		非学歴主義的	
	とても	やや(まあ)	とても	やや(まあ)
1. 先生が板書したことをノートにとる	23.7	46.6	16.4	41.6
2. 先生が口で説明した内容をノートにとる	20.1	49.0	16.6	45.4
3. 授業で習ったことをしっかり覚える	39.6	46.4	28.1	48.6
4. 授業で習ったことを授業以外の場面でも活かせるようにする	40.0	47.1	37.8	45.0
5. 与えられた課題をこなすのが勉強だ	6.3	47.1	4.2	33.4
6. 勉強は要領よくやるものだ	46.6	44.1	41.4	45.7
7. 解き方よりも正解をすることが大切だ	7.9	19.1	6.3	12.9
8. 同じような問題をくり返して解くことが大事だ	37.6	49.1	30.6	50.4
9. 今必要と思えなくても、将来のために勉強しておく必要がある	33.1	46.4	20.5	48.1
10. 自分の進路に関係のない科目は勉強しなくていい	17.2	38.7	15.8	33.1

1～4は「とても大切」「やや大切」、5～10は「とてもそう思う」「まあそう思う」割合

義的な高校生が、「先生の説明をノートにとる」よりも「板書をノートにとる」の方を大切だとする割合が高いのに対して、非学歴主義的な高校生は、「板書をノートにとる」よりも「先生の説明をノートにとる」の方を大切だとする割合が、「とても大切」でも「やや大切」でも高くなっていることは注目できよう。

表4 - 5から、学校タイプ別にみてみよう。「板書をノートにとる」を「とても大切」だとしている割合が高いのは、I校（23.5%）と一般校（21.3%）で、低いのはH校（10.0%）である。一方、「先生の説明をノートにとる」を「とても大切」だとしている割合が高いのは、G校（22.2%）とI校（21.9%）で、低いのはH校（12.1%）とF校（12.8%）である。

また、「とても大切」だとした割合が「先生の説明をノートにとる」よりも「板書をノ

ートにとる」の方が高いのは、一般校（21.3% > 18.3%）、F校（14.5% > 12.8%）、I校（23.5% > 21.9%）である。それに対して「板書をノートにとる」よりも「先生の説明をノートにとる」の方が高いのは、G校（22.2% > 17.7%）、H校（12.1% > 10.0%）である。

H校でノートをとることを大切だとする割合が低いのは、伝統的な教師主導の講義形式の授業よりも教師 - 生徒間のやりとりや生徒の発表を中心とした授業スタイルをとっているからといえよう。

学歴主義的な高校生の多かったG校とI校で、異なる傾向をみせたことも興味深いのが、実際の授業の様子を比較したわけではないので、その理由はこのデータからは残念ながらわからない。その理由がわかると、一般校で「先生の説明をノートにとる」よりも「板書をノートにとる」の方が高い理由も自ずとみ

表4 - 5 勉強の仕方 × 学校タイプ

(%)

	全 体	一般校	特 色 校			
			F校	G校	H校	I校
1. 先生が板書したことをノートにとる	20.2	21.3	14.5	17.7	10.0	23.5
2. 先生が口で説明した内容をノートにとる	18.4	18.3	12.8	22.2	12.1	21.9
3. 授業で習ったことをしっかり覚える	34.3	33.8	22.2	37.1	27.5	42.1
4. 授業で習ったことを授業以外の場でも活かせるようにする	39.1	33.2	39.3	57.8	57.3	45.5
5. 与えられた課題をこなすのが勉強だ	5.3	5.3	0.9	5.0	4.0	7.5
6. 勉強は要領よくやるものだ	44.2	39.9	35.0	56.0	42.3	61.7
7. 解き方よりも正解をすることが大切だ	7.2	7.0	2.6	8.3	3.3	10.7
8. 同じような問題をくり返して解くことが大事だ	34.4	36.4	21.6	35.8	26.7	31.9
9. 今必要と思えなくても、将来のために勉強しておく必要がある	27.2	25.4	23.1	31.3	24.2	36.2
10. 自分の進路に関係のない科目は勉強しなくていい	16.4	16.9	10.3	15.6	7.4	21.5

1～4は「とても大切」、5～10は「とてもそう思う」割合

えてくるだろうし、授業を通して“学ぶ”ことの意味づけ方を考える際のヒントにもなるだろう。

②授業で習ったことの身につけ方

次に、授業で教わることをどのように学ぶのか、その身につけ方についてみてみよう。授業で習ったことの身につけ方については、Q11の中で「6）授業で習ったことをしっかり覚える」と「7）授業で習ったことを授業以外の場面でも活かせるようにする」の2つを尋ねている。

表4-4から、学歴主義志向別にみると、「しっかり覚える」も「授業以外でも活かせるようにする」でも、学歴主義的な高校生の方が大切だとする割合が高い。しかし、「とても大切」と回答した割合で比較してみると、「しっかり覚える」では、両者の差が10ポイント以上あったのに対して、「授業以外でも活かせるようにする」では2ポイントほどにまで差が縮まっている。

表4-5から、学校タイプ別にみてみよう。「しっかり覚える」を「とても大切」だとする割合が高いのは、I校（42.1%）、G校（37.1%）で、低いのはF校（22.2%）である。「授業以外でも活かせるようにする」を「とても大切」だとする割合が高いのは、G校（57.8%）、H校（57.3%）で、低いのは一般校（33.2%）である。

「しっかり覚える」と「授業以外でも活かせるようにする」のいずれで「とても大切」の割合が高いかをみると、最も目につくのが一般校で、「しっかり覚える」の方が若干ながら高くなっている。一方、特色校でもタイプによってまったく異なる傾向を示している。つまり、いずれも「授業以外でも活かせるようにする」の方が高いのであるが、その差がH校では約30ポイント、G校では約20ポイントもあるのに対して、I校ではわずかに3ポイントしかない。

この違いの意味について考えるには、学習指導にあたって学校タイプの違いがどのよう

に活かされているのかを明らかにしなければならないが、いったい何のために授業で“学ぶ”のかという非常に重要な問題について考える契機につながりそうだ。

③具体的な勉強方法

今度は具体的な勉強方法についてみていこう。勉強方法については、Q12の中で、「1）与えられた課題をこなすのが勉強だ」「2）勉強は要領よくやるものだ」「3）解き方よりも正解をすることが大切だ」「4）同じような問題をくり返して解くことが大事だ」の4つを尋ねている。

表4-4から、学歴主義志向別にみると、全般にどの項目でも、学歴主義的な高校生の方が肯定的に考えている割合が高い。4項目の中で目立った差がみられるのは、「課題をこなすのが勉強」と「解き方よりも正解が大切」である。いずれも非学歴主義的な高校生の方が否定的な考え方をしており、「まったくそう思わない」という回答の割合が、「課題をこなすのが勉強」では学歴主義的な高校生の9.5%に対して非学歴主義的な高校生は15.6%、「解き方よりも正解が大切」では19.2%に対して28.0%となっている。

このことから読み取れるのは、学歴主義的な高校生は、勉強すること自体が目的となっているのに対して、非学歴主義的な高校生は、勉強することは何かの手段であると捉えているということではないだろうか。この勉強方法の違いは、当然“学ぶ”ことの違いにもなってくると考えられよう。

表4-5から、学校タイプ別にみてみよう。

「課題をこなすのが勉強」と思っている割合が高いのはI校（7.5%）で、低いのはF校（0.9%）である。F校の結果は、単位制というその特色を反映したものといえよう。

「勉強は要領よく」と思っている割合が高いのはI校（61.7%）とG校（56.0%）で、低いのはF校（35.0%）である。受験に対する意識の高いI校とG校でこのような結果になったのは当然といえよう。

「解き方より正解が大切」と思っている割合が高いのはI校（10.7%）で、低いのはF校（2.6%）とH校（3.3%）である。特にH校では「まったくそう思わない」という回答が35.3%と、全体の23.3%に比べて非常に高くなっている。これは先にも述べたように、H校独特の授業の進め方の影響によるものといえよう。

「くり返して解くことが大事」と思ってい

る割合が高いのは一般校（36.4%）とG校（35.8%）で、低いのはF校（21.6%）である。受験に対する意識の高いI校やG校よりも一般校で高い結果になったのは興味深い。②でみたように、一般校では「しっかり覚える」ことが「授業以外でも活かせるようにすること」より重視されており、勉強方法にもそれが影響したものといえよう。

4 高校時代にしておく大切なこと

高校生が学校にいる間には、さまざまな時間がある。前節でみたような授業の時間もあるが、昼休みや放課後、休み時間といった時間もあり、それらの時間もまた学校教育を構成する要素のいくつかであることに違いない。ということは、高校生たちは勉強以外にもそういう時間に“学ぶ”ことがあるのではないだろうか。そういう時間に“学ぶ”ことの意味づけ方に違いがあったら、それは高校生たちが学校で“学ぶ”ことの違いとみることもできよう。

そこでこの節では、高校生たちが、高校時代に授業以外の場面で、どんなことをしておくことが大切と思っているかについて、①人間関係と規範、②自習の仕方、③体力、④特別活動の4点に分けて、表4 - 6から学歴主義志向別に、表4 - 7から学校タイプ別にそれぞれ検討していく。

①人間関係と規範

学校には、教師や生徒といった異なる立場の人間がいて、同じ生徒の中でも学年が違う

表4 - 6 高校時代にしておく大切なこと × 学歴主義志向

	学歴主義的		非学歴主義的	
	とても大切	やや大切	とても大切	やや大切
遅刻せずに登校する	57.3	31.2	49.3	36.5
先生や先輩に会ったら、あいさつをする	44.1	41.0	43.2	40.7
ずっとつきあえる親友を見つける	75.2	20.2	74.8	19.1
自ら進んで図書館・インターネットで調べものをする	28.6	47.6	28.6	45.2
自分の体力に対する自信を持つ	30.9	46.6	30.5	48.2
学校行事に積極的に参加する	44.2	36.6	48.3	32.5
課外活動で役員になる	13.2	38.4	11.2	32.8

など、さまざまな人間関係がある。そしてそういう人間関係を維持していくためにはいくつかの規範やルールが必要であろう。社会に出れば人間関係はもっと複雑になり、その分規範やルールが重要になってくる。高校までに人間関係をしっかり構築したり、規範やルールを身につけておくことは大切だろう。

そこで、人間関係と規範について、Q11の中で「1) 遅刻せずに登校する」「2) 先生や先輩に会ったら、あいさつをする」「3) ずっとつきあえる親友を見つける」の3つを尋ねた。

表4-6から、学歴主義志向別にみると、「あいさつをする」と「親友を見つける」ではほとんど差がみられないが、「遅刻せずに登校する」では学歴主義的な高校生の方が大切と答える割合がやや高かった。

表4-7から学校タイプ別にみてみよう。

「遅刻せずに登校する」で「とても大切」という回答が高かったのは、一般校(56.2%)とG校(58.2%)で、F校(41.0%)とH校(46.4%)とI校(45.3%)は低かった。「あいさつをする」では、G校のみが60.0%と高く、他はいずれも40%台前半だ

った。「親友を見つける」で高かったのはG校(82.7%)で、低かったのはF校(66.7%)だった。

「遅刻せずに登校する」のような時間を守るというのは、学校をはじめとする近代的な機関に特有のものである。学歴主義的な高校生の方が時間を守れるようにすることが大切だと考えるのは、もっと大きなところで近代的な価値観に対しても肯定的であるからとみることができよう。

学校タイプ別には、単位制のF校で人間関係も規範も他のタイプより肯定する割合が低いのは、高校生たちがこの学校の特徴をよくふまえて選んできたことのあらわれといえそう。G校はコース制とはまた別の部分で人間関係を大切にするような特徴があるのではないだろうか。

②自習の仕方

近年、従来の教師主導の講義形式の授業から調べ学習や生徒同士による発表形式の授業へと移り変わってきているが、それは生徒自身が自分で勉強をできるようにし、それを相手に伝えられるようにするためである。そこ

表4-7 高校時代にしておく大切なこと × 学校タイプ

	全 体	一般校	特 色 校			
			F校	G校	H校	I校
遅刻せずに登校する	53.5	56.2	41.0	58.2	46.4	45.3
先生や先輩に会ったら、あいさつをする	43.7	41.6	41.9	60.0	42.4	43.7
ずっとつきあえる親友を見つける	75.0	74.8	66.7	82.7	74.7	73.3
自ら進んで図書館・インターネットで調べものをする	28.8	24.2	47.9	37.2	42.7	30.8
自分の体力に対する自信を持つ	30.8	28.5	31.6	37.3	30.7	37.5
学校行事に積極的に参加する	46.2	45.4	9.4	71.9	56.7	40.6
課外活動で役員になる	12.2	11.6	3.4	11.0	9.5	20.8

「とても大切」の割合

で、そのような学習の仕方を大切と思っているかどうかについて、Q11の中で「8）自ら進んで図書館・インターネットで調べものをする」と尋ねてみた。

学歴主義志向別にみると、表4-6のように差がみられなかった。調べ学習は、学歴主義とは異なる次元の新しい学習方法だといえよう。

表4-7から学校タイプ別にみてみよう。「自ら進んで調べものをする」ことを「とても大切」とする回答の割合が高かったのはF校(47.9%)とH校(42.7%)で、低かったのは一般校(24.2%)とI校(30.8%)だった。単位制のF校の場合、その特徴を活かすかたちで自分で学びたいことがあって入学してきている生徒が多いこと、国際理解を特色とするH校の場合は、これまでもみてきているように、教師主導の講義形式の授業ではないことなどの影響を受けた結果といえよう。反対に、私立中高一貫のI校の場合は、今の大学受験には直接かわりのない学習方法にはあまり興味をひかないということだろう。

③体力

知育・徳育・体育というように、しっかりした体をつくることは、“学ぶ”ことのうち、重要な一側面である。そこで、体を鍛えるということについて、Q11の中で「9）自分の体力に対する自信を持つ」ことが大切かどうか尋ねた。

表4-6のように、学歴主義志向別にはほとんど差がみられない。学歴主義と体力とは一見すると異なる次元にあると考えられているようである。

一方、表4-7から学校タイプ別にみてみると、「体力に自信を持つ」ことを「とても大切」だとする割合が高かったのはG校(37.3%)とI校(37.5%)で、低かったのは一般校(28.5%)だった。一般に受験を意識

して勉強ばかりしているとひ弱そうなイメージがあるが、G校やI校の生徒たちは勉強ができるだけでなく、しっかりした体づくりも大切だと認識していることは興味深い結果といえよう。

④特別活動

学校の諸活動の中で、一般に授業と並んで多くの時間が費やされているのは、特別活動だろう。入学式に始まり卒業式まで、さまざまな学校行事を行うことで、学校は1つのまとまった集団を維持している。また部活動は平日の放課後だけでなく、休日や長期休暇中にも行われることもあって、部活動に熱心に参加している高校生にとって、それは授業とあわせて学校生活の両輪であろう。そこで、特別活動へのかかわりについて、Q11の中で「10）学校行事に積極的に参加する」と「11）課外活動で役員になる」の2つが大切かどうか尋ねた。

表4-6のように、学歴主義志向別にみると、「学校行事に参加」では差がみられないが、「役員になる」では学歴主義的な高校生の方が大切と思っている割合が高い。

表4-7から学校タイプ別にみてみると、「学校行事に参加」では学校差が非常に大きい。つまり、「とても大切」という回答の割合が最も高かったのはG校で71.9%にも上る一方、I校が40.6%、F校では9.4%にすぎない。これはG校ではさまざまな学校行事を盛んに行うというのが伝統である一方、I校の場合はやや学業面に重きをおいていること、F校の場合は、開校当初から学校行事の類を極力行わずにきていることが影響していると思われる。これは学校の方針の影響という側面もあるが、高校生たちが積極的にそのような特徴のある高校を選んで入学してきたという側面もあるだろう。

5 まとめ

以上、2節にわたって勉強の仕方や勉強以外に高校時代にしておく大切なことについて検討してきた。その結果から、本章のまとめとして次のように考察できるのではないだろうか。

まず勉強することについてだが、学歴主義志向でみれば、学歴主義的な高校生は、勉強すること自体が“学ぶ”目的となっているのに対して、非学歴主義的な高校生は勉強することを通して別の何かを“学ぶ”ようにしているとみることができそうである。学校タイプ別には、くり返さないが、それぞれのタイプの特徴がそのまま反映されたような勉強の仕方をしていることがみてとれた。どの勉強の仕方が最もいいか、ということに正解はないだろうが、しかし、この違いはそれぞれの高校生や高校が個々の“学ぶ”ことの目的に応じた勉強の仕方やさせ方を考えていく際の参考になるのではないだろうか。

また、勉強以外に高校時代にしておく大切なことについては、学歴主義志向別にはこれといって目立った大きな差はみられなかった。とはいえ、「遅刻せずに登校する」や「役員になる」は、進路選択にあたって評価

の対象となるものであり、学歴主義的な高校生の方がこれらを大切だとしているということは、これからの評価のあり方、進路選択のあり方、学校のあり方を考えるうえでその含意するところは少なくない。

高校生にとって高校で“学ぶ”ことは、勉強だけではなく、また一様ではない。高校生たちはそれぞれに異なる“学ぶ”ことがあり、異なる期待を持って高校を選択し、通い、意味づけているのである。

そのように考えたとき、学校教育の改革にあたって、学業達成の面での効率性ばかり追求したり、スリム化と称して教育内容を多少削減してみたり、勉強以外の側面を安易に削減したり、多様化と称して教育課程の制度やシステムを変えたりするだけでは不十分だといえよう。おそらくおとなたちや今の社会のしくみでは想像のつかないような“学ぶ”ことへの期待を高校生たちは抱いている可能性がある。これまでの学校の枠にとらわれることなく、高校生たちが何を“学ぼう”としているのかということに直接耳を傾けてこそ、初めて学校教育の改革が成功するのではないだろうか。

第5章 IIIII

学校へ行く・休むの背景

高校生は学校をどのような場所と位置づけているのか。毎日どういう目的を持って、学校に通っているのだろうか。少なくとも、彼らは勉強や卒業資格だけではなく、他にも目的を持

って学校に通っているはずである。本章では、彼らの学校の価値（かかわり方）の観点から、学校の魅力について考えていきたい。

1 学校へ行く・休むという選択基準

学校へのかかわりを調べるために、「次の場面に出会ったとします」と高校生にいくつかの条件を想像してもらって、そのうえで「あなたなら、学校を休みますか」と質問した。これで、高校生自身が学校に行くことをどのくらい価値のあるものと考えているのかわかる。回答の選択肢は「ぜったい学校へ行く」「どちらかといえば学校へ行く」「どちらかといえば学校を休む」「ぜったい学校を休む」の4つである。「学校へ行く」と回答すればするほど、学校の価値が高いものとみることができるといえる。

図5-1で示したように、一般校5校全体でみた場合、「今日は、昨日ひどく怒られた先生の授業がある」「今日は、授業が一切ない始業式・終業式の日である」「今日は、休

んでも欠席扱いにならない体育祭・文化祭の日である」「今日は、どうしても欲しい商品の発売日である」「今日は、テーマパークでおもしろいイベントがある」などとしても、50%以上が「ぜったい学校に行く」と回答する。これらは「どちらかといえば学校に行く」を合わせると80%以上となり、学校の価値は高い。これらの質問では、「学校へ行く」ことは半ば当たり前のことのように受け取られている。

一方で、「けさ、親友から『学校を休んで一緒にどこか遊びに行こう』と誘われた」「けさ、寝坊をしてしまい、すでに午前11時である」「けさ、起きてから頭が重くて、かったるい気分がする」「けさ、親が病気になり、看病を頼まれた」では「ぜったい学校へ

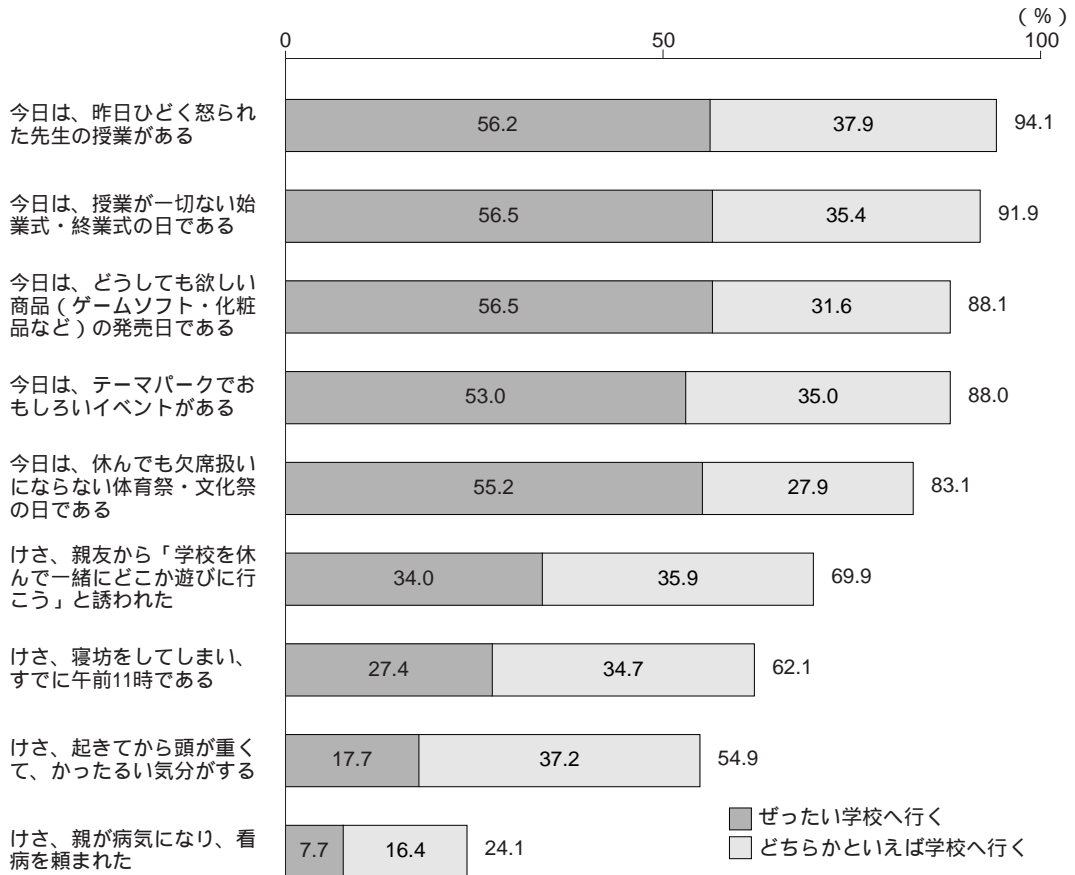
行く」という割合は低下する。「ぜったい学校へ行く」回答が、自分と親密な他者との関係がつけ加わると薄れる。この場合、学校の価値が低くなる。

表5 - 1は、これらの質問に「学校へ行く

(ぜったい+どちらかといえば)」と回答した割合を属性別にみたものである。

性別では、女子は授業以外の行事があっても「学校へ行く」選択をする。男子は「かったるい気分」がしても「学校へ行く」選択を

図5 - 1 学校へ行く割合



する。学年別では、3年生よりも1年生の方が「学校へ行く」割合が高い。また、特色校4校では、実際に学校行事が少ないF校に「学校を休む」が著しい。表は省略したが、部活別では、運動部・文化部ともに熱心な生

徒が「学校へ行く」選択をしている。

このように、通学意欲は属性によって変わっていることがわかる。彼らが学校生活で何を求めているかが重要なのである。

表5 - 1 学校へ行く割合 × 属性

(%)

	一般校						特色校			
	全体	男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校
今日は、昨日ひどく怒られた先生の授業がある	94.1	94.1	94.2	96.7	92.9	92.8	83.6	99.1	94.0	92.2
今日は、授業が一切ない始業式・終業式の日である	91.9	90.2	93.4	95.7	91.7	88.5	39.7	93.6	87.9	89.3
今日は、どうしても欲しい商品(ゲームソフト・化粧品など)の発売日である	88.1	85.6	90.7	92.0	86.8	85.8	79.3	95.5	96.0	89.9
今日は、テーマパークでおもしろいイベントがある	88.0	88.2	87.8	89.8	86.6	87.6	67.2	95.4	92.0	89.6
今日は、休んでも欠席扱いにならない体育祭・文化祭の日である	83.1	78.7	87.2	89.1	81.7	79.2	35.3	96.9	89.2	80.2
けさ、親友から「学校を休んで一緒にどこか遊びに行こう」と誘われた	69.9	68.4	71.6	72.7	69.4	67.7	47.4	81.8	81.9	75.0
けさ、寝坊をしてしまい、すでに午前11時である	62.1	63.4	61.0	63.4	63.5	59.4	55.1	70.0	72.5	54.1
けさ、起きてから頭が重くて、かったるい気分がする	54.9	58.8	51.5	57.1	53.4	54.4	33.6	59.1	52.0	56.0
けさ、親が病気になり、看病を頼まれた	24.1	28.6	20.2	25.8	23.9	22.8	15.7	28.1	17.4	26.8

「ぜったい」+「どちらかといえば」学校へ行く割合

2 友だち

学校での友だち関係は生徒文化を語る上で重要である。彼らが友だちに対してどのような感覚を抱くかによって、学校生活の意味も大きく変わってくる。

まずは、一般校全体の友だちに関する質問結果をみていこう。図5 - 2のように、学校での友だちについては非常に充足感のある結果となった。「そう(とても+かなり+やや)」の回答は、最も少ない「友だちから信頼されている」でも77.7%である。他は全ての質問で8割以上である。「友だちがいるので学校へ行くのが楽しい」が最も多く91.0%である。友だちに会うことが学校へ通う目的の1つとなっていると考えられる。

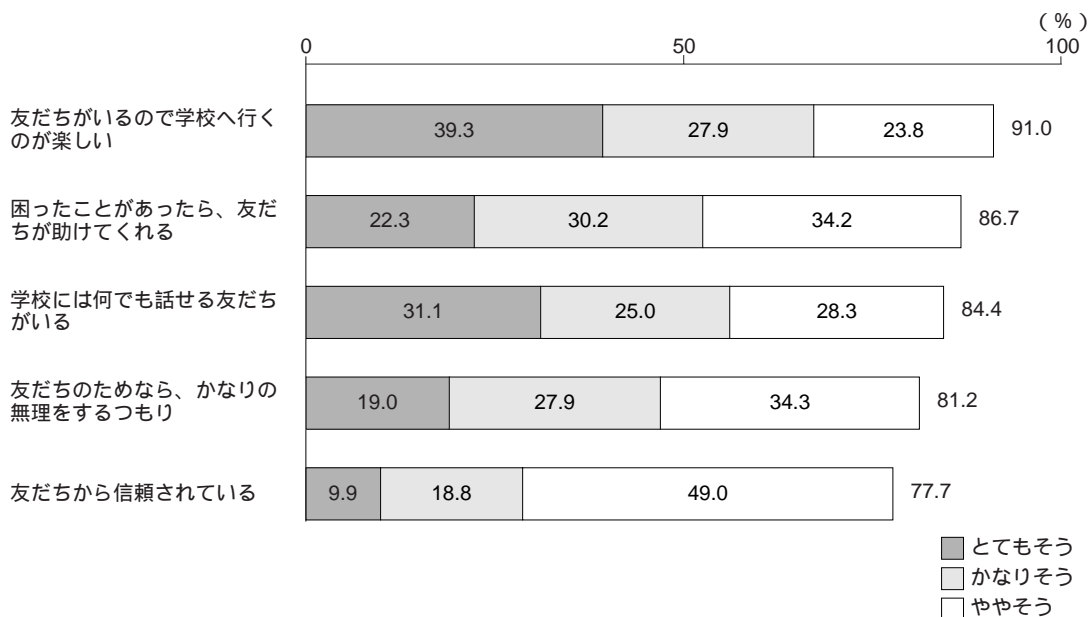
ただし、気になることは、どの項目も「とてもそう」と回答する割合が低いことである。「友だちがいるので学校へ行くのが楽しい」

では39.3%と4割弱であり、「友だちから信頼されている」では9.9%と1割程度の回答である。友だちへの充足感はあるものの、断言を避けるこの傾向は、彼らの意識の中で友だちの存在とは「ゆらぎ」のあるものとも受け取れよう。

この友だち関係の充足感を性別にみていこう(表5 - 2)。「そう」の割合の多さをみる限り、全体的に女子の方が男子よりも充足感が高いといえる。

学校別にみると、特色校4校の友だち意識に著しい差異がみられる。例えば、「友だちがいるので学校に行くのが楽しい」に「そう」というのはコース制のG校で92.2%なのに対し、単位制のF校では68.1%である。また、F校は「学校には何でも話せる友だちがいる」に「そう」が49.2%と最も低い。

図5 - 2 友だち関係



それでは、彼らが充足している友だちの実際の人数は何人いるのであろうか。今回は、実際に何人いるのか、人数を記述してもらった。全体の傾向を図5 - 3に示した。5人から10人までの範囲におよそ5割が集中していることがわかる。「いない」はわずか3.2%である。

関係を良好とする友だちの人数が属性によって異なっているのかどうかを詳細にみていこう(表5 - 3)。学校生活における彼らの

特徴がつかめるかもしれない。

性別で友だちの人数に差異があるかをみると、男子に「いない」「11人以上」が多い。

表は省略したが、部活動加入別では、運動部に「7~50人」が多い。文化部に熱心でない者に「いない」が目立つ。学校別にみると、一般校では同じような友だち構成をとる。特色校ではF校の友だちの少なさ、語学コースが充実しているH校の「5~6人」の多さが特徴的である。

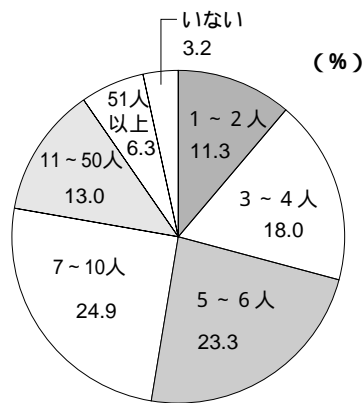
表5 - 2 友だち関係 × 属性

(%)

	一般校						特色校			
	全体	男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校
友だちがいるので学校へ行くのが楽しい	91.0	88.3	93.6	91.5	91.2	90.5	68.1	92.2	89.9	85.3
困ったことがあったら、友だちが助けてくれる	86.7	79.6	93.1	88.4	83.5	88.0	70.4	86.7	89.9	75.2
学校には何でも話せる友だちがいる	84.4	81.0	87.9	83.8	83.0	86.5	49.2	82.6	81.9	78.2
友だちのためなら、かなりの無理をするつもり	81.2	75.7	86.3	81.1	79.9	82.4	72.2	86.2	82.4	73.3
友だちから信頼されている	77.7	71.3	83.9	78.7	75.3	79.2	60.2	74.9	79.9	72.4

「とても」+「かなり」+「やや」その割合

図5 - 3 友だちの人数



友だちの人数が学校へ行く意識と関係があるかをみたものが表5 - 4である。「寝坊をした」「かったるい気分がする」「親の看病を頼まれた」などの項目で、「学校へ行く」とするのは友だちが「いない」という者に多い。逆に、「始業式」「体育祭」「興味あるイベント」の際に「学校へ行く」とするのは友

だちが「5～6人」「7～10人」「11～50人」という者に多い。

関係を良好とする友だちの存在が通学を促すといえる。しかし、個人的な問題となると、友だちが「いない」生徒に比べて、学校を休みたいという気分があらわれてもいる。

表5 - 3 友だちの人数 × 属性

(%)

	一般校			特色校			
	全体	男子	女子	F校	G校	H校	I校
いない	3.2	5.1	1.6	8.9	4.0	2.8	8.6
1～2人	11.3	10.7	11.7	29.7	12.0	11.2	15.3
3～4人	18.0	13.6	22.0	19.8	21.1	16.7	18.6
5～6人	23.3	21.7	24.8	16.9	21.2	27.7	20.5
7～10人	24.9	23.8	26.0	17.9	21.8	25.9	17.9
11～50人	13.0	16.3	9.6	7.0	16.0	13.0	10.8
51人以上	6.3	9.0	4.0	0.0	4.0	2.8	8.2

表5 - 4 学校へ行く割合 × 友だちの人数

(%)

	全体	友だちの人数						
		いない	1～2人	3～4人	5～6人	7～10人	11～50人	51人以上
今日は、昨日ひどく怒られた先生の授業がある	94.1	92.7	92.3	95.6	95.9	96.8	93.1	85.0
今日は、授業が一切ない始業式・終業式の日である	91.9	82.1	91.5	93.8	94.2	93.9	91.2	86.1
今日は、どうしても欲しい商品（ゲームソフト・化粧品など）の発売日である	88.1	78.0	89.4	88.9	90.8	90.4	88.8	73.8
今日は、テーマパークでおもしろいイベントがある	88.0	73.2	85.2	88.5	91.8	91.1	93.8	72.5
今日は、休んでも欠席扱いにならない体育祭・文化祭の日である	83.1	56.1	78.9	88.5	90.5	84.3	83.0	72.5
けさ、親友から「学校を休んで一緒にどこか遊びに行こう」と誘われた	69.9	68.3	69.0	70.8	73.1	73.5	73.8	50.0
けさ、寝坊をしてしまい、すでに午前11時である	62.1	70.7	56.3	60.2	66.1	68.7	63.8	53.8
けさ、起きてから頭が重くて、かったるい気分がする	54.9	61.0	54.9	51.8	56.3	59.1	57.5	53.8
けさ、親が病気になり、看病を頼まれた	24.1	39.0	20.4	22.9	22.5	25.5	25.3	28.8

「ぜったい」+「どちらかといえば」学校へ行く割合

3 高校生活の満足度との関係

学校へのかかわり方が、高校生活の満足・不満と関係があるのかみていこう。ここで、「全体として、現在の高校生活に満足していますか(Q8-5)」という質問を使用した。これまでの高校生活の全般についての評価である。「満足」は「(とても+かなり+やや)満足」の回答とし、「不満」は「(かなり+とても)不満」の回答とリコードしたものをを使用した。

表5-5によれば、高校生活に満足してい

る者ほど、不満な者よりも通学意欲が高い。学校生活に満足を示せば、自身の学校への通学意欲は高まり、学校に対する価値も高まる。このように彼らは学校へ行くことを主体的に選択している。一方、学校生活が不満だと、通学意欲が減少する。学校に対して、価値が低くなり、自分との距離があることを表明する。言い直すと、学校に魅力を感じなくなる。このように学校生活の評価によって、学校に対する価値は大きく変わる。

表5-5 学校へ行く(「ぜったい」+「どちらかといえば」学校へ行く) 割合 × 高校生活への満足・不満

(%)

	満 足	不 満
今日は、昨日ひどく怒られた先生の授業がある	95.4	84.8
今日は、授業が一切ない始業式・終業式の日である	93.7	79.9
今日は、どうしても欲しい商品(ゲームソフト・化粧品など)の発売日である	90.5	72.8
今日は、テーマパークでおもしろいイベントがある	89.9	74.9
今日は、休んでも欠席扱いにならない体育祭・文化祭の日である	86.3	62.3
けさ、親友から「学校を休んで一緒にどこか遊びに行こう」と誘われた	71.8	56.8
けさ、寝坊をしてしまい、すでに午前11時である	63.0	56.6
けさ、起きてから頭が重くて、かつたるい気分がする	56.3	45.0
けさ、親が病気になり、看病を頼まれた	24.3	22.6

満足 = 「とても」+「かなり」+「やや」満足
 不満 = 「かなり」+「とても」不満

表5 - 6 友だち関係（「とても」+「かなり」+「やや」そう）
の割合 × 高校生活への満足・不満

(%)

	満 足	不 満
友だちがいるので学校へ行くのが楽しい	95.1	62.6
困ったことがあったら、友だちが助けてくれる	90.3	61.6
学校には何でも話せる友だちがいる	88.2	59.3
友だちのためなら、かなりの無理をするつもり	84.5	58.2
友だちから信頼されている	82.0	48.1

満足 = 「とても」+「かなり」+「やや」満足
不満 = 「かなり」+「とても」不満

友だち関係と学校生活の評価との関係について補足しておこう。表5 - 6のように、学校生活に満足している者たちに、不満な者よ

りも、友だち関係について「そう」である割合が多い。友だち関係の充実ぶりが、高校生活の評価に大きくかかわっている。

4 学校生活から離れて

学校生活から離れた日頃のことに目を向けてみよう。学校ばかりが生徒の日常ではない。むしろ、学校外の生活に多くの時間を費やしてもいる。それでは、学校で感じる意識と、学校を離れて感じる意識とに、どのような違いがあるのだろうか。

図5 - 4は、日常について感じることを尋ねた結果である。「そう（とても+かなり+やや）」が最も多いのは「家へ帰るとほっとする」（88.2%）である。次いで、「自分の部屋にいたときに幸せ」（84.8%）、「朝起きると疲れている」（78.5%）である。学校生活では、友だち関係で代表される集団の充実を追求する姿と裏腹に、自分の世界を重視している。また、「ややそう」の割合が多いものの、「何となくムカムカする」で56.4%、「何となく食欲がない」で38.5%が「そう」と回答していることも注意すべき数字である。

ここで、ふだん感じていることの関連性についてみていこう。表5 - 7は質問それぞれの相関係数である。質問間に関連性が高いものとしては、「家へ帰るとほっとする」と「自分の部屋にいたときに幸せ」（係数、0.432）、「自分の部屋にいたときに幸せ」と「一人きりでいるのが好き」（同、0.467）、「朝起きると疲れている」と「何となくムカムカする」（同、0.422）、「何となくムカムカする」と「何となく食欲がない」（同、0.316）である。

それでは、家へ帰るとほっとしたり、朝起きると疲れたり、何となくムカムカするのはどのような高校生なのかみていこう。性別・学年別にみたものが表5 - 8である。

性別でみると、男子の方が「一人きりでいるのが好き」が多い。学年別では、「家へ帰るとほっとする」「朝起きると疲れている」が1年生に多く、「自分の部屋にいたときに

図5 - 4 ふだんの気持ち

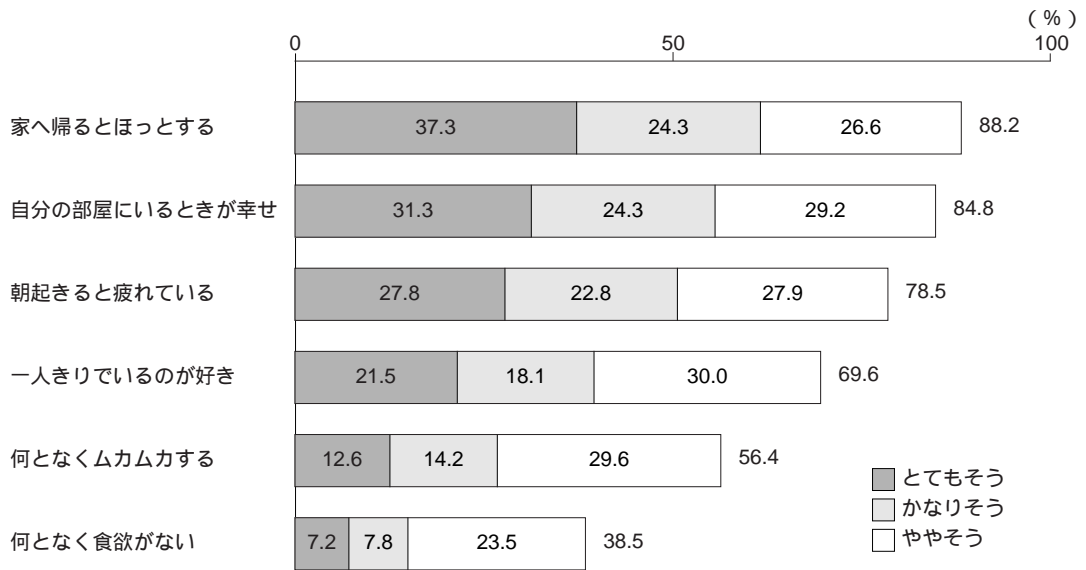


表5 - 7 ふだんの気持ち (相関関係)

	家へ帰るとほっとする				
自分の部屋にいるときが幸せ	(0.432)				自分の部屋にいるときが幸せ
一人きりでいるのが好き	0.192	(0.467)			一人きりでいるのが好き
朝起きると疲れている	0.120	(0.203)	0.155		朝起きると疲れている
何となくムカムカする	0.035	0.176	0.121	(0.422)	何となくムカムカする
何となく食欲がない	-0.026	0.114	0.139	(0.256)	(0.316)

○は0.2以上

表5 - 8 ふだんの気持ち × 属性

	全体	男子	女子	1年	2年	3年
家へ帰るとほっとする	88.2	89.5	86.9	89.1	88.8	86.6
自分の部屋にいるときが幸せ	84.8	85.4	84.6	83.4	87.6	83.6
朝起きると疲れている	78.5	78.6	78.1	81.7	79.7	74.3
一人きりでいるのが好き	69.6	74.3	65.1	66.7	71.6	70.4
何となくムカムカする	56.4	55.4	57.0	56.9	59.5	52.6
何となく食欲がない	38.5	41.2	35.9	39.1	37.0	39.5

「とても」+「かなり」+「やや」そうの割合

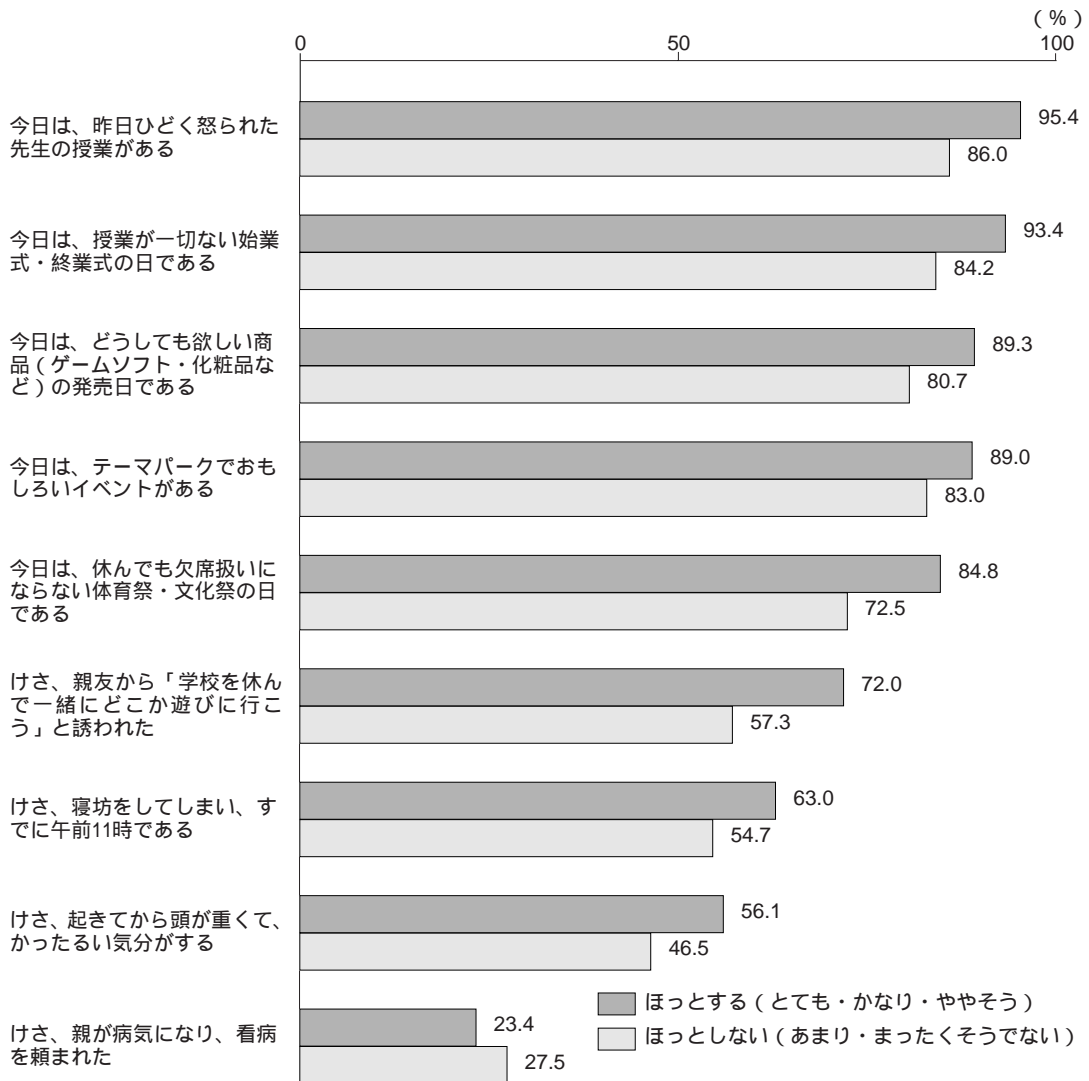
幸せ」「一人きりでいるのが好き」「何となくムカムカする」が2年生に多い。表は省略したが、友だちの人数別では、「一人きりでいるのが好き」「何となく食欲がない」に、「いない」が多い。「家へ帰るとほっとする」で「7~10人」が多い。友だちが「いない」者と比べて、友だちが多いほど「家へ帰るとほっとする」「自分の部屋にいるときが幸せ」でも同様である。友だちが多いと、自分一人の世界を重視する意識があらわれている。

それでは、「家へ帰るとほっとする」と感じる者と、感じない者とは、学校へのかか

わり方がどのように異なるのだろうか。これを図5-5に示した。「親の看病を頼まれた」を除いて、「ほっとする」者に、「ほっとしない」者よりも、学校へ行く（学校への距離が近い）という結果があらわれた。

この結果は意外である。というのも、学校に距離を置く生徒よりも、学校への距離が近い生徒（=友だち関係も良好）ほど、家へ帰るとほっとするのである。一般的に考えるなら、学校が嫌な生徒の方が、家に帰ると、学校生活から開放されて、ほっとするはずである。

図5-5 学校へ行く（「ぜったい」+「どちらかといえば」学校へ行く）割合 × 家へ帰るとほっとする・ほっとしない



5 自分の居場所はどこにあるのか

それでは、学校生活に満足し、かつ家へ帰るとほっとする（＝安らぐ）高校生は全体的にどのくらいの割合を占めるのだろうか。先に使用した「高校全般に満足しているか」という質問と、「家へ帰るとほっとするか」という質問をクロスし、その類型（全体の％）を作成したのが表5 - 9である。

全体の78.0％の者が、学校生活に満足しつつ、家へ帰るとほっとしている。このタイプを学校での満足感と家での安らぎが並存している「居場所並存型」と呼ぼう。次いで、学校に不満を感じ、家へ帰るとほっとする者が10.2％（「家安らぎ型」）学校に満足し、家に帰っても安らぐことを感じない「学校安らぎ型」の者が9.3％いる。そして、学校に不満であり、家でも安らぎを感じない者が2.5％（「居場所なし型」）いる。学校で満足感を得るためには、家でほっとすることが、今では当たり前なことなのかもしれない。

表5 - 10は、学校・家での居場所タイプを各属性でみたものである。性別では、男子に「家安らぎ型」が多い。学年では、1年生に「居場所並存型」が多い。部活動では、「文化部にあまり熱心ではない」に「家安らぎ型」が多く、「未加入・今は加入していない」に「居場所なし型」が多い。志望した高校だったかでは、「入りたかった」に「居場所並存

型」が多く、「入りたくなかった」に「家安らぎ型」「居場所なし型」が多い。学校別では、一般校では、E校に「居場所並存型」が多く、B校に「家安らぎ型」が多い。特色校では、コース制のG校に「学校安らぎ型」が多く、私立中高一貫校のI校に「家安らぎ型」「居場所なし型」が多い。

ここで、なぜ学校へのかかわりが高まることと、家に帰って安らぎを覚えることとが高くなるのか考えてみよう。学校へのかかわりを持つ生徒は、行事であれ、友だち関係であれ、「いま、ここ」での学校生活に一生懸命になっている。学校生活に醒め、「適当にやりすぎす」ことはしない。彼らが高校生活に費やすエネルギーは並大抵ではないはずだ。すると、このエネルギーはどこかで補給されなければならない。それが家という場所である。反対に家が安らげるほどの場所であるから、学校で100％の力を出すことができるという解釈もできる。

要するに、自らが学校へのかかわりを積極的に持つことと、家で安らぐこととは相互に補われているのである。これは、職業生活と家庭生活を分離して生活するおとなの生活パターンに似ている。仕事場から戻って、家でほっと一息ついたときに、今日一日自分がした仕事の充実ぶりに浸ることなど、よくある

表5 - 9 学校・家の居場所類型

(%)

		家へ帰ると	
		ほっとする(とても・かなり・ややそう)	ほっとしない(あまり・まったくそうでない)
高校全般	とても・かなり・やや満足	居場所並存型 (78.0)	学校安らぎ型 (9.3)
	かなり・とても不満	家安らぎ型 (10.2)	居場所なし型 (2.5)

ことではないか。もちろん、家が重要だからこそ仕事を一生懸命している場合が多いが。

高校生に学校を中心としたライフスタイルができあがっているとすれば、家はこのリズムの中で、エネルギー補給の役割が期待される。ただ、このライフスタイルは、必ずしも学校側の強制によるものでもない。むしろ、選択肢の制約はあれど、生徒自身が「主体的に」学校へかかわることで、このライフスタイルが強化されていくのである。

学校に行くことは当たり前のこととして受け取られている。彼らの意識をみる限り、勉強や授業面などの必要性に迫られて、いやいや通学させられているわけではない。今回用意したいくつかの誘惑にもかかわらず、学校へ行くことを選択している（親の看病は別次元のことであるが）、高校へは無目的に通学

しているわけでもなさそうである。

学校に行く・休むという選択は、彼ら自身の感覚に照らし合わせての回答である。通学を学校による強制的なイメージ（学校に行かされる）で語ることは難しい。生徒は、学校を勉強面のほかに、友だちの存在や学校行事など魅力のあるものと捉え、積極的・好意的にかかわりを持つようとしている。

学校に対して高い価値を置き、通うことを自ら選択する生徒たち。しかし、自らの選択は「家へ帰るとほっとする」を同時に引き起こす。たぶん家でほっとできるからこそ、学校で一生懸命になることができるのだろう。このように、家と学校の2つの生活場面について、彼らがどのように対応していくかは非常に重要となっている。

表5 - 10 居場所のタイプ × 属性

(%)

	一 般 校										
	全体	学 校 別					性 別		学 年 別		
		A校	B校	C校	D校	E校	男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
居場所並存型	78.0	77.7	70.4	73.7	79.4	84.5	75.9	79.8	82.3	74.3	77.6
学校安らぎ型	9.3	8.9	11.2	9.4	7.2	10.7	7.8	10.8	9.2	8.9	9.9
家安らぎ型	10.2	10.1	14.8	13.3	11.4	3.9	13.6	7.0	6.8	14.6	8.9
居場所なし型	2.5	3.3	3.6	3.6	2.0	0.9	2.7	2.4	1.7	2.2	3.6

	一 般 校									特 色 校			
	部 活 動					入 学 希 望				学 校 別			
	運動部 熱心	運動部 不熱心	文化部 熱心	文化部 不熱心	未加入	入りた かった	どちらとも いえない	入りたく なかった	F校	G校	H校	I校	
居場所並存型	80.2	78.0	79.3	71.6	76.9	82.5	75.7	54.4	77.6	76.5	78.3	68.9	
学校安らぎ型	9.0	10.4	11.6	4.5	8.3	9.8	8.2	10.3	13.4	15.0	12.6	10.2	
家安らぎ型	9.4	10.4	7.1	20.5	10.4	6.3	12.9	27.2	6.3	6.6	8.4	15.4	
居場所なし型	1.4	1.2	2.0	3.4	4.4	1.4	3.2	8.1	2.7	1.9	0.7	5.5	

第6章 ||||

学校のどこに魅力を感じるか

高等学校教育の改革が急テンポで進んでいる。文部省が策定した「教育改革プログラム」をみると、大きな柱として教育制度の革新と豊かな人間性の育成、社会の要請の変化への機敏な対応などがあげられている。こうしたプログラムを下敷きに、公立の中高一貫教育の制度化や「飛び入学」、総合学科や単位制高校の新設など、高等学校教育の改革は百花繚乱のおもむきさえある。

そこで、本章では、このように多様化した高校生の学校選択で重視されている項目の分析から、学校のどのような要因が選択要因として働いていたのかを明らかにしたい。さらに、高校生が求める学校像を、学校がひきつける魅力要素という視点からみて、生徒属性と共に学校生活とのかかわりによる学校の魅力の差異とその特質を踏まえて、高校教育の多様化の課題について考えたい。

1 通学校の選択動機

高校進学段階で、通学校へ希望して入学した者は、全体では62.2%であった。また、現在の学校生活への満足度は87.4%で、おおむね学校生活の現状を肯定的に受けとめているのがサンプル高校生の姿であった。

しかし、そうした高校生の姿も、もう一步踏み込んでみていくと、「ぜひ入りたかった」と思ったのは33.2%と半減し、また「とても満足」していると感じているのは13.4%にす

ぎない一握りの生徒である。しかも、「かなり満足」している者と合わせてみても、充実した満足感を持って高校生活を送っている者は46.2%であり、半数にも達していないことがわかる（表1 - 4、表2 - 9より）。いったい高校入学時と現実の高校生活で感じるこのギャップは、どこから出てくるのであろうか。

そこでまず、高校進学段階においてどのような気持ちで学校を選択したのか、選択動機について分析してみたい。表6 - 1は、通学校の選択に際してどのくらい重視したかを示している。まず明らかなのは、最も重視したのが自宅から学校までの「通学のしやすさ」という点で、60.5%と他の項目を大きく引き離している。次いで、その学校の「生徒の雰囲気」46.6%、以下「模擬試験などの結果」

「その高校の評判」などがあげられる。つまり公立一般校の選択には、学校の立地条件という物理的要因が教育内容よりも大きく働いていたことがわかる。そうした選択要因を基本に、さらに選択動機の特質を探るために、生徒属性とのクロスを表6 - 2にまとめた。

男子と女子の選択動機の違いをみると、女子は「生徒の雰囲気」(女子56.5% > 男子

表6 - 1 学校選択の重視度

(%)

	とても重視した	かなり重視した	小 計	あまり重視しなかった	ぜんぜん重視しなかった
通学のしやすさ	30.9	29.6	60.5	25.5	14.0
生徒の雰囲気	16.0	30.6	46.6	33.3	20.1
模擬試験などの結果	13.4	31.5	44.9	33.6	21.5
その高校の評判	9.3	25.4	34.7	40.4	24.9
やってみたい部活動がある	10.2	11.6	21.8	34.8	43.4
大学進学率などのデータ	3.4	17.0	20.4	47.5	32.1
中3のときの担任のすすめ	3.8	16.3	20.1	38.7	41.2
親のすすめ	4.5	15.6	20.1	42.9	37.0
制服のかっこよさ	5.4	10.8	16.2	36.3	47.6
アルバイトのしやすさ	3.4	9.5	12.9	33.6	53.5
友だちの行く学校	3.2	8.3	11.5	35.0	53.5

35.8%)「制服のかわよさ」(同26.2% > 5.4%)といったスクールカルチャー的な要因に大きく左右されている。一方男子は、「やってみたい部活動がある」(男子27.2% > 女子16.6%)といった学校活動の実質的な側面を重視しているといえよう。こうした側面は、入学後の部活動の熱心さを示す男子の割合の高さに重なっている。

学年差では、高学年になるほど重視した割

合が低くなる傾向がみられるが、これは高校生活になじみ、入学時の気持ちがうすれてくるためであろうか。それでは1年生に注目すると、「模擬試験などの結果」や「その高校の評判」、また「大学進学率などのデータ」など、進学する学校の指標となるような客観的評価の影響がかなり働いているようである。

表6 - 2 学校選択の重視度 × 性・学年

(%)

	性別		学年別		
	男子	女子	1年	2年	3年
通学のしやすさ	59.6	61.3	60.0	57.3	64.2
生徒の雰囲気	35.8	56.5	53.5	43.6	43.3
模擬試験などの結果	42.9	46.7	50.2	46.5	38.4
その高校の評判	30.0	38.9	39.3	34.0	31.1
やってみたい部活動がある	27.2	16.6	27.9	21.1	16.9
大学進学率などのデータ	21.3	19.8	26.8	19.6	15.5
中3のときの担任のすすめ	19.6	20.7	21.8	20.8	17.9
親のすすめ	16.4	23.5	19.6	18.2	22.3
制服のかわよさ	5.4	26.2	18.1	16.1	14.4
アルバイトのしやすさ	10.5	15.1	14.6	13.9	10.3
友だちの行く学校	12.1	10.8	13.3	10.8	10.5

「とても」+「かなり」重視した割合

では成績についてはどうであろうか。仮に同じ学校を選択するとしても、成績上位の者と下位の者では、その学校を選択する気持ちに違いが出るのは自然であろう。中学3年生の頃の成績との相関を表6-3に示した。これをみると成績上位層ほど「生徒の雰囲気」や「制服のかわよさ」など、先に述べたスクールカルチャーの側面を重視する傾向がみられる。それに対して成績下位層では相対的に重視する割合は低く、成績によって学校選択の幅が狭く制約されがちな様子がうかがえる。

このように学校選択の要因には、性別、成績別に属性的な差異を認めることができよう。しかしそうした要因の差異は、通学の便

利さという物理的な要因の基本を大きくくつがえすほどのものではない。

ところで表6-4は、特色校についての学校選択における重視度を示したものである。これをみると、学校ごとに項目のウエートのかけられ方の違いがはっきりわかる。その特徴は、生徒が何を期待してその学校を選択したのかをおのずと意味している。

F校は、大学進学率や模擬試験の結果およびやりたい部活動などの評価は極めて低い。その一方で、他の学校よりアルバイトのしやすさという点での重視が目立つ。これは単位制高校として、時間的にも規律的にも規制がゆるやかな学校の特徴が反映されたとみられる。

表6-3 学校選択の重視度 × 中学3年生の頃の成績

(%)

	上	中の上	中	中の下	下
通学のしやすさ	62.8	66.9	63.6	58.5	51.3
生徒の雰囲気	50.4	48.8	47.8	45.3	42.2
模擬試験などの結果	41.4	47.9	50.5	45.5	37.7
その高校の評判	38.0	32.8	33.8	39.5	32.0
やってみたい部活動がある	15.5	20.0	24.7	21.1	22.7
大学進学率などのデータ	20.2	22.6	21.6	22.2	14.9
中3のときの担任のすすめ	21.7	19.3	19.8	23.7	16.9
親のすすめ	20.2	20.8	18.8	23.1	19.2
制服のかわよさ	21.1	18.4	15.1	16.0	13.9
アルバイトのしやすさ	11.6	9.9	12.1	14.2	16.6
友だちの行く学校	10.9	9.3	11.4	12.1	14.2

「とても」+「かなり」重視した割合

一方G校は、F校とは対照的に通学の利便さ、模擬試験の結果、部活動、制服の格好など学業面やスクールカルチャーの側面が重視される評価となっている。

H校は、何といても生徒の雰囲気が大いに重視され、学校の評判を重視した割合も相対的に最も高い。国際色の強い学校の教育的特色が、学校選択の重視項目としてこうした項目に対してプライオリティを高めたといえよう。

さらにI校は、調査対象校の中で唯一私立中高一貫校である。その圧倒的多数の生徒が難関大学への進学を目標としていて、いわば受験校に特化した色彩が強い。データからはやりたい部活動とか生徒の雰囲気、制服の格

好などには低い評価しか与えられていない。しかし、何といても親のすすめという強力な動因が働いており、その基底に大学進学率のデータを重視する学校選択意識があるようにみられる。

このように、特色校の選択は高校（中学）進学段階で、生徒はすでにそれぞれの学校が持つ特色を十分に把握しているようであり、また学校の特色もそれなりに発揮されている様子がこうした評価からうかがえる。公立一般校の学校選択要因との違いも、そのあたりにあるようである。

表6 - 4 学校選択の重視度 × 特色校

(%)

	F 校	G 校	H 校	I 校
通学のしやすさ	29.1	54.1	25.5	45.0
生徒の雰囲気	36.7	66.9	90.7	20.5
模擬試験などの結果	12.0	36.9	24.1	29.2
その高校の評判	48.7	52.3	62.0	32.6
やってみたい部活動がある	7.7	31.1	24.7	11.4
大学進学率などのデータ	12.0	52.2	50.0	50.6
中3のときの担任のすすめ	8.7	13.1	14.1	4.5
親のすすめ	25.4	32.0	27.7	52.1
制服のかわよさ	4.9	37.4	26.6	1.9
アルバイトのしやすさ	33.3	5.0	4.7	1.3
友だちの行く学校	6.0	7.7	5.3	8.2

「とても」+「かなり」重視した割合

2 学校の魅力的要素

従来日本の学校の特色といえば、教育の同質性が確保され、教育の平等性が維持されてきたことであろう。公立校ほどそうした共通教育、画一性にこだわって発展してきた学校はない。カリキュラム、教育方法や教育形態、学校活動などどの面をとっても大枠がはめられ、学校や教師に許容される裁量は極めて限定されてきた。しかし、近年にわかに現実味を帯びてきた学校の「特色」は、そうした文脈とは異なる。

生徒の多様化に合わせて学校を個性化する、つまり硬直的とも指摘されてきた学校教育に特色を持たせることが本格的に要請されだし

たのである。そこでまず、高校一般を評価する11項目について、魅力をどの程度感じるかを尋ねた。表6 - 5は、そうした項目に対して「とても魅力」「かなり魅力」を合わせた、魅力を有する割合を表している。

まず回答の多い順序でみると、①「校風が自分に合っている」75.3%、②「通学の便がよい」71.5%、③「校内に食堂やカフェテリアを持っている」65.1%、④「校舎や教室の設備がハイテク化されている」63.2%、⑤「学校や周辺に緑が多い」55.5%、⑥「ユニークで評判の高い先生がいる」50.3%となる。全体の傾向としては、学校独自の雰囲気とか

表6 - 5 学校の魅力 × 性・学年

(%)

	全 体	性 別		学 年 別		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
校風が自分に合っている	75.3	66.4	83.5	75.9	74.9	75.2
通学の便がよい	71.5	68.8	73.8	67.9	70.3	75.9
校内に食堂やカフェテリアを持っている	65.1	58.6	71.1	66.7	64.6	64.2
校舎や教室の設備がハイテク化されている	63.2	60.0	66.1	62.9	63.4	63.1
学校や周辺に緑が多い	55.5	54.9	56.1	55.4	51.1	59.9
ユニークで評判の高い先生がいる	50.3	43.4	56.8	48.1	48.2	54.5
個性的な生徒が多い	46.0	41.1	50.5	47.4	44.0	46.7
高校入試の偏差値が高い	30.3	31.3	29.4	28.2	29.1	33.2
一流大学への進学実績	30.1	35.4	25.3	30.2	28.1	31.9
制服（校服）のない自由な雰囲気	27.4	25.1	29.4	26.5	30.5	25.2
伝統校で有名人も出ている	26.3	26.9	25.6	30.3	23.8	25.1

「とても」+「かなり」魅力の割合

立地条件、および校舎・設備の充実度など教育環境面の良し悪しが、学校の魅力の強さにかかわっている。高校格差の中で学校ランクの評価に直結しそうな偏差値ランクや一流大学への進学実績、卒業生の知名度などは、意外に魅力となっていない。

男子と女子で大きく分かれたのは、校風（男子66.4%＜女子83.5%）、食堂・カフェテリア（同58.6%＜71.1%）、ユニークな先生（同43.4%＜56.8%）、生徒が個性的（同41.1%＜50.5%）などであり、男子より女子の方に魅力度は高いようである。ただ注目されるのは、一流大学への進学実績という点で、男子の方が女子よりかなり高くなっている。

学年差では、特別一貫した傾向の特徴は認められないようである。

どのような学校に魅力を感じるのかという点では、生徒の興味や個性などのメンタルな

要素が影響してくることは予想されることであり、その意味で男子と女子の性差は当然なのかもしれない。しかし、学校の魅力を高める観点で、居心地のよい学校づくりを構想するのであれば、生徒を規定する学業成績にも注目しておきたい。

表6-6は、クラスの中での現在の成績とのクロスの結果である。これをみると、明らかに成績上位層と下位層では学校に対する魅力の捉え方に違いが出ている。成績が中の上、および上位層では、校風、通学の便、進学実績、そして学校の環境整備などは、極めて学校の魅力的な要素になっている。しかし、成績が下位層の者にとっては、そうした側面に極めて低い評価しかなされていない。どうやらまったく異なった魅力の要素の捉え方をしているようである。

表6-6 学校の魅力 × 成績

(%)

	上	中の上	中	中の下	下
校風が自分に合っている	77.8	82.1	75.8	73.7	68.4
通学の便がよい	75.4	79.6	70.7	70.0	64.3
校内に食堂やカフェテリアを持っている	61.9	67.1	66.4	63.6	63.4
校舎や教室の設備がハイテク化されている	66.6	64.1	64.0	63.7	58.7
学校や周辺に緑が多い	60.8	62.0	56.1	53.3	48.7
ユニークで評判の高い先生がいる	53.2	52.1	52.8	48.8	45.2
個性的な生徒が多い	36.8	49.8	43.0	48.1	46.8
高校入試の偏差値が高い	41.2	23.4	29.8	23.1	30.3
一流大学への進学実績	39.7	34.3	33.8	22.2	24.5
制服（校服）のない自由な雰囲気	33.4	28.3	25.1	27.6	27.0
伝統校で有名人も出ている	27.8	24.3	25.6	22.9	31.9

「とても」+「かなり」魅力の割合

3 学校生活と学校の魅力

そこで、生徒自身の学校生活とのかかわり方がこうした魅力の要素にどのように結びついているのかをみてみたい。

表6 - 7は、自己の能力・適性の自己認識と学校の魅力についてみている。自分にどんな能力や適性があるのかをよく知っている者ほど、ユニークな先生、個性的な生徒、そして制服のない自由な雰囲気魅力を魅力として評価

する。学校の個性的な側面に、それだけ惹かれているといえよう。

さらに、学校の魅力の感じ方は、いま学校生活をどのように送っているのか。例えば学校生活に楽しさを見いだせるようなものがあるのかどうかにもかかわってくる。学校生活に何らコミットするところもなく、むなしい思いしか抱けない者にとっては、そもそも魅

表6 - 7 学校の魅力 × 自己の能力・適性認知

(%)

	自分にはどのような能力・適性があるか知っている			
	とてもあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまり+ぜんぜんあてはまらない
校風が自分に合っている	74.5	80.9	74.4	57.1
通学の便がよい	66.3	68.8	67.0	64.5
校内に食堂やカフェテリアを持っている	66.4	69.3	64.5	61.3
校舎や教室の設備がハイテク化されている	75.0	75.7	74.4	66.6
学校や周辺に緑が多い	62.7	60.8	51.4	50.0
ユニークで評判の高い先生がいる	61.9	52.0	47.4	48.1
個性的な生徒が多い	58.5	50.9	42.5	37.6
高校入試の偏差値が高い	34.7	32.2	29.1	27.0
一流大学への進学実績	32.5	32.9	28.1	27.7
制服(校服)のない自由な雰囲気	40.7	28.0	24.3	26.0
伝統校で有名人も出ている	33.1	23.6	29.6	26.3

「とても」+「かなり」魅力の割合

力など感じようもないのは当然なことかもしれない。とりわけ高校生にとって、学校生活における友だち関係の占める割合は大きい。本調査においても、9割が「友だちがいるので学校へ行くのが楽しい」と答えている結果が出ている。表6 - 8は、そうした友だち関係と結びついた学校の楽しさの有無と魅力との関連を調べた。友だちがいるので学校が楽しいと感じている者ほど、学校の環境や校風、また教師や生徒などにみられる個性やユニークさ、いうならばスクールカルチャーを中心とした学校独自の雰囲気にも強く惹かれる傾向がみられる。しいていえば、こうした要素が

学校の居心地のよさを支えているのではないかと思われる。

ところで、学校生活を左右するもう1つの要因として、将来の自分の進む方向や生き方の価値意識との関係がある。学校生活の中から少しでも将来に向けての糧となるものを、勉強や部活動などを通して得たいと励む者がいれば、他方では刹那的な楽しさを学校生活に求める者もいる。このように学校生活の意味づけをめぐるても、魅力の力点は異なる。

表6 - 8 学校の魅力 × 友だちがいるので学校へ行くのが楽しい

(%)

	友だちがいるので学校へ行くのが楽しい			
	とても そう	かなり そう	やや そう	あまり + まったく そうでない
校風が自分に合っている	83.4	78.6	63.5	61.7
通学の便がよい	69.1	72.3	62.5	63.1
校内に食堂やカフェテリアを持っている	67.2	67.7	63.1	51.9
校舎や教室の設備がハイテク化されている	74.1	77.1	73.7	66.7
学校や周辺に緑が多い	60.6	56.5	49.6	45.1
ユニークで評判の高い先生がいる	57.7	50.6	43.0	36.0
個性的な生徒が多い	55.9	45.9	34.8	31.6
高校入試の偏差値が高い	32.3	29.3	30.8	22.5
一流大学への進学実績	29.3	31.7	32.2	33.3
制服(校服)のない自由な雰囲気	29.3	27.4	25.4	23.3
伝統校で有名人も出ている	29.3	20.9	30.0	20.3

「とても」+「かなり」魅力の割合

表6 - 9は、学歴主義への志向意識との関係をみている。学歴主義は、ここでは「学歴は本人の実力をかなり反映している」の回答から、「とてもそう思う」「まあそう思う」を学歴主義志向への強さとみた。結果は、学歴主義志向の強さは、「伝統校で有名人も出ている」「高校入試の偏差値が高い」「一流大学への進学実績」などに大いに魅力を感じてい

る。一方、学歴主義志向のうすさは、「個性的な生徒の多さ」に注目している。つまり、学歴主義志向は学業成績的価値に、非学歴主義志向は個性的価値に魅力的要素を見いだしている。

さらに表6 - 10は、卒業後の進路希望と魅力度の差異を比べてみた。

一般的な傾向をさぐると、4年制大学希望

表6 - 9 学校の魅力 × 学歴主義志向（学歴は本人の実力を反映している）

(%)

	学歴は本人の学力をかなり反映している			
	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
校風が自分に合っている	74.0	75.0	77.7	73.6
通学の便がよい	68.5	73.8	71.0	70.1
校内に食堂やカフェテリアを持っている	66.5	66.4	64.0	63.8
校舎や教室の設備がハイテク化されている	56.2	66.2	64.8	58.6
学校や周辺に緑が多い	54.1	66.2	54.1	57.6
ユニークで評判の高い先生がいる	51.4	48.7	51.5	50.8
個性的な生徒が多い	41.8	43.6	46.5	50.5
高校入試の偏差値が高い	46.6	34.8	28.5	18.8
一流大学への進学実績	52.1	35.2	27.5	17.0
制服（校服）のない自由な雰囲気	26.7	25.6	27.7	29.8
伝統校で有名人も出ている	41.1	26.0	24.7	22.5

「とても」+「かなり」魅力の割合

者、短大・専修専門学校希望者、就職希望者の3類型にカテゴリー化できそうである。大学進学希望は、一流大学の進学実績や偏差値の高さなど教育の達成度に特化し、この傾向は難関大学を目指す者ほど強いようである。一方、短大・専修専門学校タイプは、校内に食堂・カフェテリアとかユニークな先生、個性的な生徒など教育の人的な要素、ソフト面

に置かれている。そして就職希望タイプになると、ほとんどの項目に対する評価の低さがあり、先にみた成績下位層の傾向とほぼ重なっている。つまり、これまでの分析を通してみても、こうした傾向はむしろ学校教育へのコミットの仕方の差異が、学校像を分化させているのではないかと思われる。

表6 - 10 学校の魅力 × 卒業後の進路

(%)

	難関大学	一般大学	短大・専修 専門学校	就職・ 家業の手伝い	未定・ その他
校風が自分に合っている	78.4	77.5	76.6	58.3	64.2
通学の便がよい	70.8	73.5	70.4	66.1	71.2
校内に食堂やカフェテリアを持っている	59.9	65.8	70.9	55.3	61.5
校舎や教室の設備がハイテク化されている	58.8	65.2	64.8	55.3	62.3
学校や周辺に緑が多い	60.4	55.5	55.1	41.8	56.1
ユニークで評判の高い先生がいる	52.7	49.0	54.0	38.8	48.6
個性的な生徒が多い	44.8	46.9	48.7	38.8	37.0
高校入試の偏差値が高い	48.4	32.8	20.8	7.6	16.5
一流大学への進学実績	50.9	34.4	15.8	10.5	16.6
制服(校服)のない自由な雰囲気	28.7	26.0	28.6	26.8	22.0
伝統校で有名人も出ている	24.9	24.2	26.8	44.8	29.3

「とても」+「かなり」魅力の割合

4 改革的教育の受容評価

表6 - 11は、「高校に次のような新しいタイプの学校や学科ができれば、その学校へ行ってみたいと思いますか」と尋ねた結果を示している。9項目の中には、全国的にみれば公立校でもすでに、部分的に試行されている内容もある。しかし、本格実施という点では、そのほとんどはまだ実施に移されていないといえる。その意味で、近い将来における教育の内容的なイメージが探り出せるのではと考えた。

まず、回答結果を強く思う順にあげてみると(「とても+まあ」そう思う割合)

①授業は午前中で、午後はフリータイム
74.3%

②教科や時間割を自分に合わせて作れる
70.5%

③体験学習や職場体験が授業科目にある
68.5%

などが、7割前後の高率で期待の高さを示している。高校生にとっては、おそらく今までになく斬新な教育の形であり、そういうことが可能になるのであればぜひ行ってみたいという気持ちが強く現れているのであろう。

次いで、

④外国語の授業は、自分で言語を選択できる
60.6%

⑤パソコンを全員に持たせ、在宅の授業
56.3%

表6 - 11 行きたくなる学校

(%)

	とても そう思う	まあ そう思う	小 計	どちらとも いえない	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
学校の授業は午前中で終わり、午後はフリータイムとなる	46.2	28.1	74.3	16.4	6.0	3.2
自分の進路に合った教科や時間割を自主的に作れる	34.5	36.0	70.5	20.8	5.2	3.4
体験学習や職場体験が授業科目にある	35.8	32.7	68.5	22.5	4.7	4.3
外国語の授業は、英語に限らず自分で選択した言語を学習できる	27.5	33.1	60.6	26.6	6.9	5.9
パソコンが各自に貸与され、メディア活用による在宅の授業がある	30.7	25.6	56.3	26.7	10.0	6.9
興味があれば、学区内の他校の授業も選択して受けられる	23.7	25.1	48.8	34.5	9.9	6.8
インターネットで外国の高校の授業を受けられる	23.9	24.6	48.5	31.2	11.1	9.1
作家、マンガ家や演劇、音楽などのプロを育てる特色がはっきりしている	23.6	24.6	48.2	34.4	9.9	7.5
ボランティア活動への参加が単位に認められている	14.6	26.6	41.2	36.4	11.4	11.1

までが、半数以上の割合で期待する結果である。項目中最も低かったのが、「ボランティア活動を単位とする」41.2%で、高校生から見ると全体としてはまだそれほど強く関心があるとはいえないようである。

次にこの結果を性別・学年別でみたのが表6-12である。比較的大きく性差が開いたのは、午後のフリータイム、体験学習、インターネット、ボランティア活動などの項目で、いずれも男子より女子の方に期待の強さが現れていて、進取的といえようか。一方、男子の関心はパソコンの在宅授業にあるようだ。

学年進行で相反的な傾向がみられたのが、「自分の進路に合った教科や時間割を自主的に作れる」(1年67.0% < 2年70.8% < 3年

73.5%)と「学校の授業は午前中で終わり、午後はフリータイムとなる」(1年77.5% > 2年73.5% > 3年72.2%)の両者である。こうした傾向は、多分に現行のカリキュラム編成を下敷きにした、生徒意識の反映ではないかと思われる。つまり、一般に1年生段階では固定した必修科目の多さが当然視されており、3年生になるにしたがって(自由)選択科目が主体になり、弾力的なカリキュラムに移行する。したがって、3年生になるほどある程度のフリータイムを獲得できることになる。そう考えると、この結果は1年次からもっと自分に合わせた学校生活ができるように、学年差を超えてゆとりと自由になる時間を求めている現れと読むこともできる。

表6-12 行きたくなる学校 × 性・学年

(%)

	性 別		学 年 別		
	男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
学校の授業は午前中で終わり、午後はフリータイムとなる	70.8	77.3	77.5 >	73.5 >	72.2
自分の進路に合った教科や時間割を自主的に作れる	72.5	68.9	67.0 <	70.8 <	73.5
体験学習や職場体験が授業科目にある	60.8	75.5	67.9	68.0	69.4
外国語の授業は、英語に限らず自分で選択した言語を学習できる	58.3	62.6	61.7	59.4	60.6
パソコンが各自に貸与され、メディア活用による在宅の授業がある	61.1	51.9	57.0	54.3	57.7
興味があれば、学区内の他校の授業も選択して受けられる	46.0	51.3	48.2	51.2	46.9
インターネットで外国の高校の授業を受けられる	43.2	53.2	48.0	47.2	50.2
作家、マンガ家や演劇、音楽などのプロを育てる特色がはっきりしている	48.0	48.4	48.3	48.6	47.6
ボランティア活動への参加が単位に認められている	37.4	45.0	37.2	39.8	46.1

「とても」+「まあ」そう思う割合

5 多様化で問われる課題

さて、これまでみてきた学校像を構成する要素は、大別すれば社会的、物理的・環境的な側面（＝ハード面）と、教育の内容や方法、形式などの実体的な側面（＝ソフト面）に關してであり、生徒特性によるその差異の分析を中心にすすめてきたわけである。中ランクの公立一般校生徒というサンプル特性を踏まえたとき、求められた学校像はどちらかといえば受験に彩られる要素よりも、比較的のびやかな学校環境と教育の特色ではなかっただ

ろうか。性差や成績差、また学校生活へのコミットの仕方による学校像の違いがみられたが、総体的には教育のソフト面よりはハード面に向けられた関心の深さや評価が、それを特徴づけているようだ。学校施設への不満感が極めて強かった結果もうなずけよう。

確かに私立校や特色校に比べると、公立一般校はその独自性を出しにくい制度面の制約がある。そうした条件抜きで教師の実践的な創意工夫や教育の特色化を求めても、限界はみえてくる。調査結果は、新しい学校像をむ

表6 - 13 学校の魅力 × 特色校

(%)

	F 校	G 校	H 校	I 校
校風が自分に合っている	85.5	86.6	93.3	70.1
通学の便がよい	65.8	75.7	55.4	67.6
校内に食堂やカフェテリアを持っている	69.2	64.1	64.0	69.4
校舎や教室の設備がハイテク化されている	76.9	69.7	68.0	77.3
学校や周辺に緑が多い	61.5	65.9	67.3	66.4
ユニークで評判の高い先生がいる	58.1	56.5	65.3	58.4
個性的な生徒が多い	56.4	57.4	72.7	39.1
高校入試の偏差値が高い	13.8	56.4	44.7	54.4
一流大学への進学実績	18.0	54.6	41.6	70.7
制服（校服）のない自由な雰囲気	65.0	15.8	23.5	35.4
伝統校で有名人も出ている	12.8	24.7	16.7	20.3

「とても」+「かなり」魅力の割合

しる教育のハード面の特色に求める傾向を示した。既存の公立一般校がどの学校をみても、あまりに典型的、平均的であることによるのかもしれない。その一方で、学歴主義志向に支えられた旧来の学校像や、ソフト面における学校生活や友人関係などの内実が伴わない学校像ほど、多様化した一般校では魅力の薄いものであったことも確かである。

公立校でも「特色づくり」に一歩先行した学校をみると、公立一般校の生徒意識とは明らかに一線を画する学校像の特色ある差異化がみてとれる。表6 - 13、表6 - 14は、そうした特色校における教育のイメージの差異を示している。

表にみられる通り、F校生は、制服のない自由さと、教科・時間割の自由、午後のフリ

ータイム、パソコンの在宅授業、そしてプロ育成を目指す教育などに強い関心を示す。自分の自由になる時間を大事にしたい、そのためには学校的なかかわりは必要最少限にしておきたい。しかし、教育の質はプロ的なレベルを求めたいという、従来の学校像にない学校イメージを求めているようである。

一方、H校生は、個性的な生徒が多い校風に魅力を感じ、国際感覚にあふれた多様な教育体験と外国語への興味・関心が生かせるような学校像を描く。

このような特色校と共に、一般校においても、興味・関心を限りなく生かせる学校の特色づくりが可能になってはじめて、教育の多様化と学校選択が語れるのではないだろうか。

表6 - 14 行きたくなる学校 × 特色校

(%)

	F校	G校	H校	I校
学校の授業は午前中で終わり、午後はフリータイムとなる	72.4	62.0	64.0	61.7
自分の進路に合った教科や時間割を自主的に作れる	91.9	64.7	80.0	75.4
体験学習や職場体験が授業科目にある	64.6	70.2	75.8	72.4
外国語の授業は、英語に限らず自分で選択した言語を学習できる	75.0	72.0	88.7	54.7
パソコンが各自に貸与され、メディア活用による在宅の授業がある	68.9	59.2	54.7	62.4
興味があれば、学区内の他校の授業も選択して受けられる	59.5	49.3	69.1	55.0
インターネットで外国の高校の授業を受けられる	59.5	56.5	84.0	53.5
作家、マンガ家や演劇、音楽などのプロを育てる特色がはっきりしている	53.5	43.0	46.0	44.6
ボランティア活動への参加が単位に認められている	44.9	32.6	54.7	43.0

「とても」+「まあ」そう思う割合

付 章 IIIII

「特色のある高校」の 生徒たち

第1章でもふれたように、文部省の教育改革の中にあって各都道府県では、高校教育改革が進んでいる。その内容は、単位制高校、総合学科、中高一貫教育などの、新しいタイプの高校、特色のある高校の創設である。そこに流れるコンセプトは多様化と個性化である。現在、高校教育改革は、机上の計画の段階を終え、実践に移行し、その評価が問われる段階になっている。これらの新しいタイプの高校、特色のある高校は、当初に意図したような成果をあげているのであろうか。

今回の『モノグラフ・高校生』調査は、伝統的な一般校とこれら新しいタイプの高校と

の比較を行った。比較したのは、生徒の学校生活や意識のレベルの違いである。ただし、伝統的な一般校といっても入学偏差値や進学実績で図られた高校のレベルはさまざまなので、中間レベルの学校を対象に選び、同じレベルの特色のある高校を調査対象に選んだ。

今回調査対象にした一般校5校は4年制大学進学希望率が4割から8割（平均6割）の日本の平均的な高校である。特色のある高校は、単位制の定時制高校のF校、コース制のG校、国際性を特色とするH校、中高一貫私立進学校のI校である（第1章学校のプロフィール参照）

1 特色校の印象

最初に、特色校4校（いずれも首都圏、公立3校、私立1校）を、訪問した印象から記しておきたい。

① F校（単位制・定時制）

F校は、交通の便利な近代的建物の中にあつた。F校は単位制高校で4部の定時制から

なる（他に通信課程、生涯学習講座もあり、そこから10単位が受講可能）。1部は8時45分から、2部は10時45分から、3部は1時15分から、4部は5時25分から始まる。

定時制高校のイメージはかなり変わった。平成11年度の入学倍率は3.4倍（普通科、1学年相当）と難しく、卒業生の進路先は、4年

制大学54名、短大7名、専門学校45名、就職10名、進学準備168名と、かなりの進学校である（進学先大学名には、京大、東京外語大、早大、上智大などが並んでいる）。実際の入学者は、中学校まで不登校だった生徒や高校中退者がかなりいるということであるが、そのような生徒が通いやすいような工夫が凝らされている。それは端的に授業（単位習得）が中心で、ホームルームの時間はなく（出席はタイムカード方式）掃除もなく、学校行事も少ない（あっても出席が強制されない）。クラブの参加者は少ないものの、参加者は熱心に活動し、実績を上げている。担任は単位の修得を指導するだけで、生徒と距離を取り、担任との折り合いが悪くて学校を休むというようなことのないように配慮している。その代わりにどの教師も相談にのり、その情報は交換する。この単位制の高校のように、授業以外のものをバツサリと切ってしまう学校もありえるし、そのような学校の方が居心地のいい生徒もいることを知った。卒業率は65%程度ということであった。

② G校（コース制）

G校は、交通の要のような便利な場所にあった。この高校は平成4年度から、語学・人文コースと、自然科学コースの2コース制を敷き、生徒を集めている。コース制導入以前は学区内の中学生の減少もあり、徐々に応募者数が減り、その危機感から教員が奮起して、大変な努力でコース制に移行した。制服も制定、学習合宿も実施して、生徒の学力の向上を目指した。その甲斐があって、今では高倍率を維持し、進路実績も向上している。創立

は大正期の伝統校であり、伝統的行事（文化祭、体育祭、夏の臨海学校等）や自由、のびのびした校風は保持されている。新しいカリキュラムと伝統校のよさがマッチし、成功した例であろう。生徒たちの服装や態度にさわやかさが感じられた。

③ H校（国際学科）

H校は、私鉄沿線の駅から徒歩5分の緑の多い公園に隣接した好立地にあった。外国からの帰国生や在京外国人生徒が多く、アメリカ的な自由な雰囲気を感じられた。外国人教師も多い。少人数の授業が多く、先生とも友だちのように話し、学校生活が楽しそうであった。訪問したときが文化祭前ということもあり、学校中がハイな明るさに充ちていた。進学実績もいい。一般の高校に比べ専任教師、非常勤教師（さまざまな言語の語学教師）の数が多く、恵まれた環境にある。廊下で英語の会話もときどき聞かれた。さらに英語で全部授業が行われたらもっと国際色豊かな学校になると感じた。

④ I校（私立中高一貫校）

都心にある私立高校の兄弟校として、1980年代中頃に開校、2年後に中学校も開設し、中高一貫教育となる。男女共学。郊外の駅からバスで10分ほどの山間を切り開いて学校を新しく建設。設備のよい校舎のほか、室内温水プール、照明塔付きの広い野球場を備えている。茶髪や派手な感じの生徒は皆無で、まじめな生徒が多いという印象を受けた。平成11年度の進学実績では、難関大学合格も多く、進学名門校に仲間入りしている。

2 一般校と特色校の違い

各章で、一般校の生徒と特色校の生徒の意識の違いをデータに基づき考察している。その主な点を抜き出せば次の通りである。

① 学校生活（第2章）

学校行事への充実度（「とても・かなり」充実）は、特色校はさまざまで、一般校（65.6%）が中間に位置する。伝統校でもあり学校行事が盛んなG校（コース制）と国際性豊かで明るいH校（国際学科）が高く（それぞれ91.9%、79.1%）、学校行事の少ないF校（単位制・定時制）と学校行事より受験を重視しているI校（私立中高一貫校）の充実度の割合が低い（それぞれ23.7%、59.5%）。

学校の特徴では、「のびのび」という評価が、一般校（87.5%）でも特色校でも、私立中高一貫のI校（48.5%）を除き一番高い。今高校はどこも学校生活は楽しいのびのびとした雰囲気になっている。それに対して、進学実績の向上を目指す新興の私立校にとっては楽しさより受験指導（93.6%）が優先になっている。

学校の施設への満足度は、一般校は全てにわたって低く（校舎14.5%、教室10.4%、体育館33.8%、トイレ7.3%、グラウンド20.6%）それに対して新しい特色校の学校の施設への満足度は高い。とりわけ近代的な建物のF校（単位制・定時制）の生徒の施設への満足度は極めて高い（校舎77.8%、教室64.7%、体育館60.4%、トイレ52.2%）私立中高一貫校（I校）も新しい施設設備が充実していて満足度が高い（トイレ87.0%、校舎42.9%、グラウンド43.5%）。

「次のような行事や活動を学校でやる必要があると思いますか」という質問に対して、さまざまな学校行事が必要という回答が全般に多いが、単位制・定時制のF校では行事の

必要度を感じる生徒は少ない（例えば「修学旅行が必要」F校44.5%＜一般校88.3%）。

一般には学校という場には授業だけでなく、さまざまな行事や活動が設定されている。生徒たちはそこでの友だちとの出会いや協同作業を通して、学校生活をのびのびと楽しんでいる。しかし、人との交わりの苦手な子にはF校（単位制・定時制）のように行事を極力少なくした学校の方が行きやすい。

② 授業への取り組み（第3章）

一般校で生徒の授業中の態度が以前と比べ悪化していることがデータによって確かめられている。そのような中で、外国からの帰国生が多く、習熟度別の少人数教育がなされているH校（国際学科）の生徒の授業態度は積極的である。「先生に質問する」（一般校7.3%＜H校25.1%）、「先生の話を中心に聞く」（一般校40.6%＜H校54.3%）など差がある。

私立中高一貫校（I校）では、「ノートをしっかり取る」（70.8%）、「先生の話を中心に聞く」（54.2%）、「先生に質問する」（21.5%）という熱心さと同時に、「となりの人などおしゃべりをする」（一般校23.4%＜I校31.4%）、「『内職』をする」（一般校12.6%＜I校22.8%）という授業からの離脱もかなりみられる。

コース制のG校は、H校とI校の中間の授業態度をとっている。単位制・定時制のF校は、「ボーっとしている」が多く（一般校36.2%＜F校41.0%）、「先生に質問する」（4.3%）や「となりの人などおしゃべりをする」（9.5%）は少ない。

「どのような学習内容が大事か」という質問に対して、国際性や社会性を重視した内容を大事という答えが、私立中高一貫のI校を

除いた特色校3校に多い(「簡単な英字新聞が読める」一般校59.2% < H校80.8%、F校68.4%、G校66.2%)「高齢者介護のやり方を身につける」(一般校55.9% < H校72.2%、F校61.6%、G校62.6%) 私立中高一貫のI校は、基礎学力や受験知識を重視している(「漢文の文法を覚える」一般校12.2% < I校27.0%、「因数分解を解く」一般校16.0% < I校41.2%)

特色校は、専攻に応じたカリキュラム、少人数教育、習熟度クラス、外国人教師の導入などさまざま工夫がみられ、生徒のやる気を引き出している。一般校が見習うべき点多々ある。しかし、それらは、財政的支援があつての施策であることにも注意したい。

③ 高校で学ぶこと(第4章)

一般校の生徒の「学歴主義的」志向度は中間である(52.2%)。「学歴主義的」志向は、私立中高一貫のI校(69.9%)と、コース制のG校(54.1%)で高く、国際のH校(40.5%)と単位制・定時制のF校(35.0%)とで低い。

授業で習ったことの身につけ方では、私立中高一貫のI校と、コース制のG校が、「しっかり覚える」(I校42.1%、G校37.1% > 一般校33.8%)や「将来のために勉強しておく必要」(I校36.2%、G校31.3% > 一般校25.4%)や「勉強は要領よく」(I校61.7%、G校56.0% > 一般校39.9%)など、手段的・功利的な勉強観が強い。逆に単位制・定時制のF校の生徒にそのような考えは少ない(それぞれ22.2%、23.1%、35.0%)。一方、「授業以外でも活かせるようにする」は、国際のH校(57.3%)とコース制のG校(57.8%)に多く、一般校(33.2%)で少ない。

具体的な勉強方法では、「課題をこなすのが勉強」と思っている(とてもそう思う)のは私立中高一貫のI校(7.5%)で、そのように考えないのが単位制・定時制のF校(0.9%)である。「解き方より正解が大切」と思っているのは、私立中高一貫のI校(10.7%)で、

低いのは単位制のF校(2.6%)と国際のH校(3.3%)である。「遅刻せずに登校する」は、一般校(56.2%)とコース制のG校(58.2%)で高く、単位制・定時制のF校(41.0%)、国際のH校(46.4%)、私立中高一貫のI校(45.3%)で低い。「自ら進んで調べものをする」は単位制・定時制のF校(47.9%)と国際のH校(42.7%)で高く、一般校(24.2%)と私立中高一貫のI校(30.8%)で低い。

このように、高校生の学びへの期待や姿勢は、学校ごとにさまざまであり、学校の特色を出して、入学してくる高校生の期待に応えていくことが必要であろう。

④ 学校へのかかわり方(第5章)

登校への阻害要因が何かあるとき、それでも「学校へ行くか」を聞いた質問に、「行く」という回答がどの学校でも多かった。唯一、単位制・定時制のF校の生徒は、「行く」回答が少なかった(「授業のない始業式、終業式に行く」一般校91.9% > F校39.7%、「朝起きて頭が重くかつたるくても行く」一般校54.9% > F校33.6%)

「友だちがいるので学校へ行くのが楽しい」と、一般の生徒は思っている(一般校91.0%)。そのような意識が低いのは、単位制・定時制のF校(68.1%)と、私立中高一貫のI校(85.3%)の生徒である。

安らぎの場を聞くと、一般に学校と家庭のどちらにも安らぎを覚える「居場所並存型」が多いが(一般校78.0%)、私立中高一貫のI校では、「居場所並存型」が若干少なく(68.9%)、「家安らぎ型」(I校15.4% > 一般校10.2%)と、「居場所なし型」(I校5.5% > 一般校2.5%)が相対的に多くなっている。

⑤ 学校選択と高校像(第6章)

生徒は進学する高校を選択するとき、学校のカラールや雰囲気 considerando している。とりわけ、特色校にいる生徒は、それに敏感である。国際のH校の生徒は、「生徒の雰囲気」(H校

90.7%、一般校46.6%)や「その高校の評判」(H校62.0%、一般校34.7%)にひかれて入ってきている。コース制のG校の生徒は、「生徒の雰囲気」(G校66.9%>一般校46.6%)、「大学進学率などのデータ」(G校52.2%>一般校20.4%)、「制服のかわよさ」(G校37.4%>一般校16.2%)、「やってみたい部活動がある」(G校31.1%>一般校21.8%)を考慮している。単位制・定時制のF校の生徒は、「アルバイトのしやすさ」(F校33.3%>一般校12.9%)、「その高校の評判」(F校48.7%>一般校34.7%)を大きな要因としてあげている。私立中高一貫のI校の生徒は、「親のすすめ」(I校52.1%>一般校20.1%)と「大学進学率などのデータ」(I校50.6%>一般校20.4%)が選択の決め手だとしている。

生徒たちが学校の魅力をどこに感じているかをみると、各学校の個性が映し出されてい

る。とりわけ特色校が、学校の個性で生徒を魅了している様子がデータからうかがわれる。国際のH校の生徒は、「個性的な生徒が多い」(H校72.7%>一般校46.0%)、「校風が自分に合っている」(H校93.3%>一般校75.3%)を重視している。コース制のG校の生徒は、「高校入試の偏差値が高い」(G校56.4%>一般校30.3%)、「通学の便がよい」(G校75.7%>一般校71.5%)を魅力にあげている。単位制・定時制のF校の生徒は、「校舎や教室の設備がハイテク化している」(F校76.9%>一般校63.2%)、「制服のない自由な雰囲気」(F校65.0%>一般校27.4%)を大きな要因としてあげている。私立中高一貫のI校の生徒は、「一流大学への進学実績」(I校70.7%>一般校30.1%)と「校舎や教室の設備がハイテク化している」(I校77.3%>一般校63.2%)を重視するといっている。

3 特色のある高校の意義

国立教育研究所の菊地栄治は、「縮小期の高校教育」(『高校教育年鑑1999-2000』学事出版1999年)の論文の中で、最近の文部省の教育改革のあらましを次のようにまとめている。的確な要約なので引用したい。

<その中心的な考えは、「知識を一方向的に教え込むことになりがちであった教育から、自ら学び考える教育へと転換を図り、教育内容を厳選するとともに、各学校からゆとりある教育活動を展開し、一人一人の子どもたちに『生きる力』を育成する」ことにある。…「ゆとり」の中で「特色のある教育」を展開し「生きる力」を育むことが今回の学習指導要領改訂の基本的なねらいである。受験競争の中で過剰なストレスを抱え、子どもたちは自ら学び自ら考える力を失っているという現状認識がある。とくに、自らの意見や考えをもち、論理的に表現したり討論したりする論理的思考力、判断力、コミュニケーション能力などを培うことを期待されている。>そして、<これらの改革プランが各都道府県や各学校レベルでどのような結果をもたらすのか。政策の意図と帰結は、しばしば相反するものとなる。…そのネガティブな可能性を想定しながら、ひとつひとつの実践を点検することの方がはるかに重要である>と、述べている。

菊地の言うように、文部省の提唱する「ゆとり」「生きる力」「特色のある教育」といった政策意図はいいとして、それが具体的にどのような実践を生み、どのような帰結を生んでいるかの検証が大事である。

今回の我々の、伝統的な教育を継続している一般校と特色のある教育を展開している学校の生徒の学校観(勉学態度、進路意識を含む)の比較は、まさにこの文部省の政策意図が、現場でどのような帰結をもたらしている

かの検証である。

とかく教育の世界では、1つの方法がよいとされると、全部それに方向転換し、その結果をみて論議することが多い。それでは、科学的に政策(方法)の良し悪しは判定できない。比較しうる実践(方法)が存在してこそ、客観的な判定が可能となる。その意味では、本報告は、一般校と特色校という比較のデータに基づき、新しい教育がどのような帰結をもたらしつつあるのかを検証したものである。

ここで提示した結果をどのように読むかは、いろいろな見方がある。今回の執筆者の中でも微妙に見方は分かれている。いくつか、データを読むときの注意点を、最後に述べておきたい。

1. 今回特色のある4校以外を、一般校として一括して扱ったが、一般校もそれぞれの伝統、教育の特色があり、各学校で生徒の意識も多様である。したがって個々の学校ごとにデータをみていくことも大切である。また、同じ学校内でも、性・成績・進路などにより、生徒が違った考えを持っている。

2. しかし、全体では、特色校の生徒が一般校の生徒以上に、それぞれの学校の特色を反映した意識を持っていた。学校の特色が、そのような特色にひかれる生徒をひきつけ、その特徴を強化しているのである。

3. 国際性を特色とし、選抜やカリキュラムやスタッフの特質で国際性のある教育を実践しているH校の生徒は、国際性や社会性の意識が高く、生徒の授業態度も積極的で、学校満足度も高い。コース制をとって、特色のある教育を行い生徒を集めているG校も、学力面のみならず学校行事、部活動の面でも活

発で、生徒の学校生活に対する満足度が高い。しかしこの結果から、一般の高校が国際性を特色にしたり、コース制をとればよいということにはならない。H校もG校も特別な学校として、教員の増員が過分に認められている。その分少人数クラスで、手厚い指導ができる体制になっている。教員の増員なしに、国際性重視やコース制をとったとき、どのような帰結を生むのかは、今回のデータは、明らかにしていない。

4. 単位制・定時制のF校は、HRや学校行事もなく、生徒たちの学校への帰属意識は薄いものの、群れることが苦手な子どもたちにとって、居心地のよい学校である。このような学校だからこそ、通うことができる。このような学校があってもよいし、一定程度必要である。

5. 高い学歴が今の社会で有利に働く以上、

受験に特化した学校が存在することは否定できない。ましてや、その学校が入学する生徒を特定の社会階層に偏らせることなく、高い学力の生徒を排出しているのであれば、社会的にも意味がある。今回対象にした私立中高一貫校（I校）の生徒は、日本の青少年の勉強離れや学力低下が言われている中で、まさに勉強中心の学校生活を送り、将来を見据えようとしている。多様な価値観が求められる社会の中で、この学校の生徒が将来どのような生活を送るのが多少気になるところでもある。

6. 今回のデータは、調査校が全部で9校（一般校5校、特色校4校）と、あくまでも限られたサンプルである。今後、さまざまな高校の実践、生徒の意識を検証し、高校改革の行方を見据えたい。

まとめに代えて

高校生をいかに動機づけるかが重要

自然体の高校生

高校というと、大学受験を目指した学習を連想する。そして学習から逸脱すると、進学しない高校生として正統な道から離脱した感じになる。

今回の調査では、高校生がどういう気持ちで学校生活を送っているのかを尋ねたいと思った。調査結果は本文にふれた通りだが、一口でいうと、「普段着の気楽さ」というか、自然体の高校生だった。

あらためて、結果を概観してみよう。「学歴は本人の実力をかなり反映している」と感じている者は43.5%であった。学歴を半ば信じ、半ば否定する態度である。

それだけに将来の進路として、一流大学進学は「無理だろう」が63.4%に達する。そして、「ふつうの4年制大学進学」が43.3%とほぼ4割を占める。その後の進路についても、「大企業への就職」が「とても」+「かなり」無理59.1%、「やや無理」を含めると89.6%である。職種別にみても、断念率（「とても」+「かなり」無理の割合）は大学教授83.7%、医師81.7%、弁護士80.3%、コンピュータ技師61.7%である。そして、「幸せな家庭を作れそう」が72.2%を占める。将来に大きな夢を抱くのでなく、かといって卑屈になるのでなく、肩を怒らせずに、マイペースの生き方をしようという高校生である。

そうした高校生の将来の見方は、高校生活

の過ごし方にも現れてくる。

現在の高校進学にあたって、まず「通学のしやすさ」(60.5%)を考え、次いで「生徒の雰囲気」がよくて(46.6%)、さらに「模擬試験などの結果」をふまえて(44.9%、「とても」+「かなり」重視した割合、表6-1)学校選択を行ったという。そして、「ぜひ」の33.2%を含めて、62.2%は入学したい高校(表1-4)だったという。

そして、現在の高校に「全体として満足している」が46.2%（「とても」+「かなり」満足の割合、表2-9）を占める。そうした数値を裏づけるように、「昨日ひどく怒られた先生の授業」でも「ぜったい学校へ行く」が56.2%、「欲しいゲームソフトなどの発売日」も56.5%が「ぜったい学校へ行く」と答えている(図5-1)。「遅刻せずに登校すること」が大切と思っている生徒は90.1%（「とても」56.2%）で、休まずに学校へ行っている生徒が多い印象を受ける。

授業中の態度も、「ノートをしっかりとる」が75.2%（「いつも」+「わりと」そうしている割合）で、「マンガや雑誌を読む」が11.9%、「『内職』をする」は12.6%（図3-1）に限られている。授業の荒れなどが浮かんでこないまじめな雰囲気が伝わってくる。

なお、自分の高校を「文化祭などの行事が盛ん」(68.6%)で、「センスのいい生徒が多い」(61.2%)「全体としてのびのびしている」と感じている(87.5%「とても」+「やや」

その通りの割合、表2 - 5)、高校に愛着を持っている生徒が多いのも目についた。

そうした中で、友だちが大事なようで、「友だちがいるので学校へ行くのが楽しい」が91.0% (「とても」+「かなり」+「やや」) 割合、図5 - 2) に達する。

そして、高校に対する希望として、「午後はフリー」(74.3%)、「教科選択・時間割自由」(70.5%)、「体験学習・職場体験」(68.5%)「とても」+「まあ」そう思う割合、表6 - 11) のように、選択の自由を求めている。

生き方の指導が大事になる

こうしたデータを読んでいると、高校生が変わってきたのを感じる。もちろん、今回の調査が首都圏の中堅クラスの高校を対象としたので、素直で堅実な高校生像が浮かんできたのかもしれない。しかし、そうした背景を超えて、高望みしない自然体の高校生が増えてきたのは確かのように思われる。

これまで、高校生の進路は進学か就職かに分かれ、いずれの道にせよ、意欲的に進路に対処する態度が求められた。しかし現在では、真摯な態度は不必要になりつつある。

進学は、大学進学率が5割に達したのに加え、少子化に伴う大学入試の緩和、生涯学習社会の到来による学士号の地盤低下などもあって、かつてのような臍を決しての進学でなくなりつつある。特定の難関大学にこだわら

なければ、どこかの大学に必ず入学できる状態を迎えている。進学が自然体になるのも当然であろう。

そうした一方、就職についても、OA化の進展により、事務職的な仕事が減り、高校卒に適した職種が減少している。ファミリーレストランのウェ이터やスーパーのレジのような職種の求人は多いが、それはパート的なものだし、パソコンを使って在庫品の管理や顧客のリスト作成は、それほど難しい仕事ではないが、高校卒業後、専修学校で2年くらい情報処理を習得してからの仕事であろう。そうした意味では、高校卒業者が適当な就職を見いだすのは困難になりつつある。勤めてもたいした仕事はない。それなら、適当にしようという気持ちになる。

こうみえてくると、卒業後の生き方についてのハードルが低くなり、高校時代に無理をしないで過ごすスタイルが定着しているのを感じる。進学や就職の緊張から切り離されたとき、学校として生徒にどう対応したらよいか。高校を卒業したら、いずれ自分の道を歩くようになる。それだけに、高校時代にしっかりと自分の生き方を確かめることは必要であろう。自分の生き方に応じて、学習の内容を変えるのも1つの方策であろう。これまでの高校の使命が終焉を迎えただけに、新しい視点で高校教育の機能を見いだすことが大事だと思った。

アンケートのお願い

このアンケートは、高校生の皆さんが「高校生活」についてどのように考えているかをお聞きするために作成したものです。

あなたの大切な時間をいただいて申しわけありませんが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

(お名前はいりませんので、ありのままをお答えください)

高校教育研究会

東京成徳短期大学教授 深谷昌志

上智大学教授 武内清

明治学院大学教授 望月重信

((回答のしかた)) 特にことわりのない場合は、あてはまる数字に1つだけをつけてください。

資料1 調査票見本

① まず、あなたの学校、学年、性別についてお聞きします。

1) 学校名 () 高等学校

2) 学 年 () 年生

3) 性 別 (1 . 男子 2 . 女子) をつけてください

② あなたは、部活動(課外クラブ)に入っていますか。

1. 入ったことがない、または今は入っていない
2. 運動部に入り、積極的に活動している
3. 運動部に入っているが、どちらかといえばサボりぎみ
4. 文化部に入り、積極的に活動している
5. 文化部に入っているが、どちらかといえばサボりぎみ

I . 現在の高校についてお聞きします。

③ 現在通学している高校は、あなたが初めから入りたかった学校ですか。

ぜひ どちらかという どちらとも あまり
 入りたかった 入りたかった いえない 入りたくなかった 入りたくなかった

1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

④ 現在通学している高校をどのような点から選びましたか。入学時の気持ちに近い番号に をつけてください。

	とても 重視した	かなり 重視した	あまり 重視しなかった	ぜんぜん 重視しなかった
1) 制服のかわよさ	1	2	3	4
2) 生徒の雰囲気	1	2	3	4
3) 大学進学率などのデータ	1	2	3	4
4) やってみたい部活動がある	1	2	3	4
5) 通学のしやすさ	1	2	3	4
6) 模擬試験などの結果	1	2	3	4
7) 中3のときの担任のすすめ	1	2	3	4
8) 親のすすめ	1	2	3	4

資料1 調査票見本

- | | とても重視した | かなり重視した | あまり重視しなかった | ぜんぜん重視しなかった |
|----------------------|---------|---------|------------|-------------|
| 9) 友だちの行く学校 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10) アルバイトのしやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 11) その高校の評判 | 1 | 2 | 3 | 4 |

5) あなたは次のようなときに、どのくらいの充実感がありますか。

- | | とても充実している | かなり充実している | あまり充実していない | ぜんぜん充実していない |
|---------------------------|-----------|-----------|------------|-------------|
| 1) 授業を受けているとき | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2) 部活動をしているとき | 1 | 2 | 3 | 4.....(5) |
| 3) 学校行事に参加しているとき | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4) 昼休みなど、クラスにいるとき..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5) 家族と過ごすとき | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6) 塾・予備校の授業を受けているとき | 1 | 2 | 3 | 4.....(5) |
| 7) 休日に家でほっとしているとき | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8) アルバイトをしているとき | 1 | 2 | 3 | 4.....(5) |

6) あなたの高校は、どんな学校ですか。

- | | とてもその通り | ややその通り | あまりそうではない | まったくそうではない |
|------------------------|---------|--------|-----------|------------|
| 1) まじめな生徒が多い | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2) センスのいい生徒が目につく | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3) 熱心な先生が多い | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4) 部活動が盛ん..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5) 文化祭などの行事が盛ん | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6) 全体としてのびのびしている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7) 決まりなどがきびしい..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8) 生活指導に力を入れている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9) 受験指導に力を入れている | 1 | 2 | 3 | 4 |

資料1 調査票見本

⑦ あなたは、現在の高校の施設に満足していますか。

	とても満足	かなり満足	やや満足	かなり不満	とても不満
1) 校舎	1	2	3	4	5
2) グラウンド	1	2	3	4	5
3) 教室	1	2	3	4	5
4) トイレ	1	2	3	4	5
5) 部活動の部室	1	2	3	4	5
6) 理科室や音楽室	1	2	3	4	5
7) 体育館	1	2	3	4	5

⑧ あなたは、現在の高校に満足していますか。

	とても満足	かなり満足	やや満足	かなり不満	とても不満
1) 高校の雰囲気	1	2	3	4	5
2) 先生方の教え方	1	2	3	4	5
3) 友だち関係	1	2	3	4	5
4) 部活動	1	2	3	4	5
5) 全体として	1	2	3	4	5

Ⅱ. それでは、学校の授業についてお聞きします。

⑨ あなたは授業中、どうしていることが多いですか。

	いつもそうしている	わりとそうしている	少しそうしている	あまりそうしていない	ぜんぜんそうしていない
1) とんりの人などおしゃべりする	1	2	3	4	5
2) ノートをしっかりとる	1	2	3	4	5
3) 先生の話に熱心に聞く	1	2	3	4	5
4) 先生に質問する	1	2	3	4	5
5) いねむりをする	1	2	3	4	5
6) 「内職」をする	1	2	3	4	5

資料1 調査票見本

- | | いつもそう
している | わりとそう
している | 少しそう
している | あまりそう
していない | ぜんぜんそう
していない |
|--------------------|---------------|---------------|--------------|----------------|-----------------|
| 7) ポーっとしている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8) マンガや雑誌を読む | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

10) あなたにとって、次のような勉強内容を身につけることは大事だと思いますか。

- | | とても
大事 | かなり
大事 | やや
大事 | あまり
大事でない | まったく
大事でない |
|----------------------------|-----------|-----------|----------|--------------|---------------|
| 1) 因数分解を解く | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2) 図形の性質を知る | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3) 『源氏物語』のような古文を読む | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4) 漢文の文法を覚える | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5) 簡単な英字新聞が読める | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6) 日本語の字幕なしで外国映画がわかる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7) 元素記号を覚える | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8) 物理の法則を覚える | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9) 日本の歴史に強くなる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10) 日本国憲法の基本的人権を理解する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11) 日本古来の武道を身につける | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 12) 高齢者介護のやり方を身につける | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

11) 将来のあなたにとって、高校時代に次のようなことをしておくことはどれくらい大切だと思いますか。

- | | とても
大切 | やや
大切 | あまり
大切でない | まったく
大切でない |
|-----------------------------|-----------|----------|--------------|---------------|
| 1) 遅刻せずに登校する | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2) 先生や先輩に会ったら、あいさつをする | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3) ずっとつきあえる親友を見つける | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4) 先生が板書したことをノートにとる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5) 先生が口で説明した内容をノートにとる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6) 授業で習ったことをしっかり覚える | 1 | 2 | 3 | 4 |

資料1 調査票見本

- | | とても
大切 | やや
大切 | あまり
大切でない | まったく
大切でない |
|--------------------------------------|-----------|----------|--------------|---------------|
| 7) 授業で習ったことを授業以外の場面でも活かせるようにする | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8) 自ら進んで図書館・インターネットで調べものをする | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9) 自分の体力に対する自信を持つ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10) 学校行事に積極的に参加する | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 11) 課外活動で役員になる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12) 自分の進路を自分で決定する | 1 | 2 | 3 | 4 |

Ⅲ. では、高校生活や勉強についてお聞きします。

12) 勉強について、次のように思うことがありますか。

- | | とても
そう思う | まあ
そう思う | あまり
そう思わない | まったく
そう思わない |
|---------------------------------------|-------------|------------|---------------|----------------|
| 1) 与えられた課題をこなすのが勉強だ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2) 勉強は要領よくやるものだ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3) 解き方よりも正解をすることが大切だ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4) 同じような問題をくり返して解くことが大事だ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5) 今必要と思えなくても、将来のために勉強しておく必要がある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6) 自分の進路に関係のない科目は勉強しなくていい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7) 英検や漢検(漢字検定)は将来役に立つ | 1 | 2 | 3 | 4 |

13) あなたは次のような行事や活動について、学校で行う必要があると思いますか。

- | | とても
必要 | わりと
必要 | 少し
必要 | あまり
必要がない | ぜんぜん
必要がない |
|---------------------------------|-----------|-----------|----------|--------------|---------------|
| 1) 遠足 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2) 修学旅行(林間学校・スキー教室なども含める) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3) 社会見学(工場や資料館など) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4) 運動会(体育祭) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

資料1 調査票見本

	とても必要	わりと必要	少し必要	あまり必要がない	ぜんぜん必要がない
5) 水泳大会	1	2	3	4	5
6) マラソン大会	1	2	3	4	5
7) 球技大会	1	2	3	4	5
8) 文化祭	1	2	3	4	5
9) 合唱祭などの生徒による音楽会	1	2	3	4	5
10) 芸術鑑賞会	1	2	3	4	5
11) 入学式	1	2	3	4	5
12) 卒業式	1	2	3	4	5
13) 授業参観	1	2	3	4	5
14) 家庭訪問	1	2	3	4	5
15) 保護者会(支部別PTA会なども含める).....	1	2	3	4	5

14) あなたは高校を評価するとき、次のことにどのくらい魅力を感じますか。

	とても魅力	かなり魅力	どちらでもよい	あまり魅力がない	ぜんぜん魅力がない
1) 通学の便がよい	1	2	3	4	5
2) 校舎や教室の設備がハイテク化されている	1	2	3	4	5
3) 学校や周辺に緑が多い	1	2	3	4	5
4) 校内に食堂やカフェテリアを持っている	1	2	3	4	5
5) 伝統校で有名人も出ている	1	2	3	4	5
6) 高校入試の偏差値が高い	1	2	3	4	5
7) 校風が自分に合っている	1	2	3	4	5
8) ユニークで評判の高い先生がいる	1	2	3	4	5
9) 個性的な生徒が多い	1	2	3	4	5
10) 制服(校服)のない自由な雰囲気	1	2	3	4	5
11) 一流大学への進学実績	1	2	3	4	5

資料1 調査票見本

15 次の場面に出会ったとします。あなたなら、学校を休みますか。

- | | ぜったい
学校へ行く | どちらかといえば
学校へ行く | どちらかといえば
学校を休む | ぜったい
学校を休む |
|---|---------------|-------------------|-------------------|---------------|
| 1) 今日、どうしても欲しい商品(ゲームソフト・化粧品など)の発売日である …………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2) 今日、昨日ひどく怒られた先生の授業がある …………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3) 今日、休んでも欠席扱いにならない体育祭・文化祭の日である …………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4) 今日、授業が一切ない始業式・終業式の日である …………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5) 今日、テーマパークでおもしろいイベントがある …………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6) けさ、寝坊をしてしまい、すでに午前11時である …………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7) けさ、起きてから頭が重くて、かつたるい気分がする …………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8) けさ、親が病気になり、看病を頼まれた …………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9) けさ、親友から「学校を休んで一緒にどこか遊びに行こう」と誘われた …………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

16 高校に次のような新しいタイプの学校や学科ができれば、その学校へ行ってみたいと思いますか。

- | | とても
そう思う | まあ
そう思う | どちらとも
いえない | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない |
|---|-------------|------------|---------------|---------------|----------------|
| 1) 自分の進路に合った教科や時間割を自主的に作れる …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2) 学校の授業は午前中で終わり、午後はフリータイムとなる …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3) 体験学習や職場体験が授業科目にある …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4) 興味があれば、学区内の他校の授業も選択して受けられる …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5) インターネットで外国の高校の授業を受けられる …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6) パソコンが各自に貸与され、メディア活用による在宅の授業がある …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7) ボランティア活動への参加が単位に認められている …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

- | | とても
そう思う | まあ
そう思う | どちらとも
いえない | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない |
|--|-------------|------------|---------------|---------------|----------------|
| 8) 外国語の授業は、英語に限らず自分で
選択した言語を学習できる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9) 作家、マンガ家や演劇、音楽などのブ
ロを育てる特色がはっきりしている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

IV. もう少し、これからのことなどをお聞きます。

17) あなたはこれから先、どんな人生を送れそうですか。

- | | とても
無理だろう | かなり
無理だろう | やや
無理だろう | たぶん
可能だろう | きっと
可能だろう |
|------------------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|
| 1) いわゆる一流大学へ入学する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2) 大企業に就職する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3) よい相手と結婚する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4) 仕事の面で成功する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5) 幸せな家庭を作る | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6) よい親になる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7) 経済的にとても豊かになる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8) 社会的に認められる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

18) 次のような仕事につこうとがんばったら、なれると思いますか。

- | | とても
無理 | かなり
無理 | もしかしたら
なれる | たぶん
なれる | きっと
なれる |
|-------------------|-----------|-----------|---------------|------------|------------|
| 1) 新聞記者 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2) 大学教授 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3) 国会議員 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4) 大会社の社長 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5) 医師 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6) コンピュータ技師 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7) 弁護士 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8) 役所の部長 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

資料1 調査票見本

⑱ あなたは、次のように思うことがありますか。

- | | とても
そう思う | まあ
そう思う | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない |
|---|-------------|------------|---------------|----------------|
| 1) どの大学を出たかで人生が決まってしまう | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2) 学歴は本人の実力をかなり反映している | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3) 有名大学に行けば、高い収入を得ることができる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4) 有名大学に行けば、自分の希望する職業につける
可能性が高くなる | 1 | 2 | 3 | 4 |

⑳ あなたは、次のことについて、自分にどの程度あてはまると思えますか。

- | | とても
あてはまる | やや
あてはまる | どちらとも
いえない | あまり
あてはまらない | ぜんぜん
あてはまらない |
|---|--------------|-------------|---------------|----------------|-----------------|
| 1) 自分にはどのような能力・適性がある
か知っている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2) 自分にはつきたい職業がある | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3) 自分の将来について、はっきりした目
標を持っている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4) 進路を選ぶ上で、重視すること(自分
の能力・適性を生かせることなど)が
はっきりしている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5) 自分の希望する職業について十分知識
を持っている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6) 最近の産業・職業について知識を持っ
ている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7) 進路選択に関する情報の調べ方がよく
わかっている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

㉑ 今のところ、あなたは高校卒業後の進路をどう考えていますか。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 入るのが難しい4年制大学 | 6. 就職 |
| 2. ふつう程度の4年制大学 | 7. 家業の手伝いなど |
| 3. 入るのがやさしい4年制大学 | 8. フリーター |
| 4. 短大 | 9. きちんと考えたことがない |
| 5. 専修学校・専門学校 | 10. その他 |

㉒ あなたは平日、家でどのくらい勉強していますか。

ほとんど しない	30分 くらい	1時間 くらい	1時間半 くらい	2時間 くらい	2時間半 くらい	3時間 以上
1	2	3	4	5	6	7

㉓ 1) 中学3年生の頃、あなたの成績はクラスでどのくらいでしたか。

上	中の上	中	中の下	下
1	2	3	4	5

2) 現在、あなたの成績はクラスでどのくらいですか。

上	中の上	中	中の下	下
1	2	3	4	5

㉔ 高校の勉強はどのくらいわかっていますか。

	全部 わかる	7割くらい わかる	半分くらい わかる	3割くらい わかる	まったく わからない	その教科は 習っていない
1) 英語	1	2	3	4	5	(6)
2) 数学	1	2	3	4	5	(6)
3) 国語	1	2	3	4	5	(6)

㉕ あなたの友だちについて、次のように思うことがありますか。

	とても そう	かなり そう	やや そう	あまり そうでない	まったく そうでない
1) 友だちがいるので学校へ行くのが 楽しい	1	2	3	4	5
2) 学校には何でも話せる友だちがいる	1	2	3	4	5
3) 友だちから信頼されている	1	2	3	4	5
4) 困ったことがあったら、友だちが助 けてくれる	1	2	3	4	5
5) 友だちのためなら、かなりの無理を するつもり	1	2	3	4	5

㉖ ㉕のような友だちが、あなたには何人いますか。

() 人

資料1 調査票見本

㉓ あなたは現在、塾や予備校に通っていますか。

1. 週に3日以上通っている
2. 週に2日通っている
3. 週に1日通っている
4. 長期休暇のときだけ講習などに通っている
5. 模擬試験などだけ受けている
6. 今は行っていない

㉔ あなたは現在、アルバイトをしていますか。

1. ふだんからいつもやっている
2. 土・日や休日だけやっている
3. 長期休暇のときだけやっている
4. 今はやっていない
5. 今までしたことがない

㉕ あなたは、次のように感じるがありますか。

- | | とても
そう | かなり
そう | やや
そう | あまり
そうでない | まったく
そうでない |
|------------------------|-----------|-----------|----------|--------------|---------------|
| 1) 家へ帰るとほっとする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2) 自分の部屋にいるときが幸せ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3) 一人きりでいるのが好き | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4) 朝起きると疲れている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5) 何となくムカムカする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6) 何となく食欲がない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

～以上で終わりです。長い間ありがとうございました。～

資料2 基礎集計表

*数字は無回答を除いた%

質問項目		一般校						特色校					
		全体	性別		学年別			学校					
			男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校		
サンプル数		1,522	724	790	481	511	530	118	222	151	312		
②	て部 い活 る動 か入 っ	1. 入ったことがない	33.0	30.5	35.3	21.1	36.7	40.1	52.6	26.3	11.3	30.7	
		2. 運動部に入り積極的に活動	35.7	47.0	25.4	46.5	33.7	27.8	14.7	48.4	46.7	40.8	
		3. 運動部に入っているがサボりぎみ	11.9	11.0	12.7	13.9	10.9	11.0	11.2	4.6	16.7	14.1	
		4. 文化部に入り積極的に活動	13.3	7.0	19.0	13.5	12.9	13.5	8.6	16.1	16.7	8.5	
		5. 文化部に入っているがサボりぎみ	6.2	4.6	7.7	5.1	5.8	7.6	12.9	4.6	8.7	5.9	
③	かめい現 つかる在 たら高通 か入校学 りはした た初て	1. ぜひ入りたかった	33.2	26.4	39.3	36.3	30.8	32.7	53.0	56.6	80.1	15.6	
		2. どちらかという入りたかった	29.0	28.7	29.2	27.5	31.6	27.8	22.2	24.4	11.3	24.7	
		3. どちらともいえない	28.4	34.5	22.9	28.6	26.0	30.4	20.5	14.9	7.3	40.3	
		4. あまり入りたくなかった	7.0	7.4	6.8	5.7	8.9	6.5	1.7	2.3	1.3	12.3	
		5. 入りたくなかった	2.5	3.1	1.8	1.9	2.8	2.7	2.6	1.8	0.0	7.1	
④	学校をどのよ うな点から選 んだか	こ制 よ服 さの かっ	1. とても重視した	5.4	1.0	9.4	6.0	4.9	5.1	4.9	10.4	3.3	1.6
			2. かなり重視した	10.8	4.4	16.8	12.1	11.2	9.3	0.0	27.0	23.3	0.3
			3. あまり重視しなかった	36.3	34.2	38.1	37.9	35.0	35.9	7.8	39.6	50.7	16.2
			4. ぜんぜん重視しなかった	47.6	60.4	35.7	44.0	48.8	49.6	87.4	23.0	22.7	81.9
		生徒の 雰囲気	1. とても重視した	16.0	10.4	21.3	20.4	16.2	12.0	12.8	33.0	57.6	3.6
			2. かなり重視した	30.6	25.4	35.2	33.1	27.4	31.3	23.9	33.9	33.1	16.9
			3. あまり重視しなかった	33.3	33.9	32.7	32.2	33.3	34.2	35.0	22.6	5.3	33.1
			4. ぜんぜん重視しなかった	20.1	30.3	10.8	14.3	23.1	22.6	28.2	10.4	4.0	46.4
		どの大 学進 学率 な	1. とても重視した	3.4	3.5	3.4	5.0	2.6	2.8	2.6	17.1	10.7	13.3
			2. かなり重視した	17.0	17.8	16.4	21.8	17.0	12.7	9.4	35.1	39.3	37.3
			3. あまり重視しなかった	47.5	41.8	52.5	48.6	45.0	48.8	31.6	36.5	38.7	24.0
			4. ぜんぜん重視しなかった	32.1	36.9	27.7	24.5	35.5	35.7	56.4	11.3	11.3	25.3
		あいや る部 活 動 が た	1. とても重視した	10.2	12.9	7.6	15.0	8.7	7.4	3.4	14.4	8.0	6.5
			2. かなり重視した	11.6	14.3	9.0	12.9	12.4	9.5	4.3	16.7	16.7	4.9
			3. あまり重視しなかった	34.8	32.5	36.8	36.3	32.1	35.9	22.2	33.8	37.3	28.2
			4. ぜんぜん重視しなかった	43.4	40.2	46.5	35.7	46.9	47.1	70.1	35.1	38.0	60.5
		す通 学 の し や	1. とても重視した	30.9	32.5	29.2	27.8	28.0	36.6	9.4	23.0	10.7	16.5
			2. かなり重視した	29.6	27.1	32.1	32.2	29.3	27.6	19.7	31.1	14.8	28.5
			3. あまり重視しなかった	25.5	23.7	27.3	27.8	27.6	21.5	39.3	31.5	43.6	24.3
			4. ぜんぜん重視しなかった	14.0	16.7	11.4	12.3	15.2	14.3	31.6	14.4	30.9	30.7

質問項目		一 般 校						特 色 校					
		全 体	性 別		学 年 別			学 校					
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	F 校	G 校	H 校	I 校		
4	学校をどのような点から選んだか	模擬試験の結果	1. とても重視した	13.4	12.5	14.3	16.0	13.0	11.2	4.3	11.7	6.0	9.1
			2. かなり重視した	31.5	30.4	32.4	34.2	33.5	27.2	7.7	25.2	18.1	20.1
			3. あまり重視しなかった	33.6	31.8	35.3	32.1	32.1	36.3	20.5	33.8	39.6	30.4
			4. ぜんぜん重視しなかった	21.5	25.4	18.1	17.7	21.3	25.3	67.5	29.3	36.2	40.5
		担任のときの	1. とても重視した	3.8	4.3	3.4	2.9	4.3	4.2	3.5	5.0	4.0	2.1
			2. かなり重視した	16.3	15.3	17.3	18.9	16.5	13.7	5.2	8.1	10.1	2.4
			3. あまり重視しなかった	38.7	36.5	40.7	35.3	39.6	41.0	15.7	36.9	26.2	15.0
			4. ぜんぜん重視しなかった	41.2	44.0	38.6	42.8	39.6	41.2	75.7	50.0	59.7	80.5
		親のすすめ	1. とても重視した	4.5	3.9	5.1	4.6	3.9	4.9	7.6	8.6	7.4	15.3
			2. かなり重視した	15.6	12.5	18.4	15.0	14.3	17.4	17.8	23.4	20.3	36.8
			3. あまり重視しなかった	42.9	42.0	43.8	42.9	44.8	41.1	35.6	32.0	37.8	24.1
			4. ぜんぜん重視しなかった	37.0	41.7	32.7	37.5	36.9	36.6	39.0	36.0	34.5	23.8
	く友だちの学校の行	1. とても重視した	3.2	3.7	2.7	3.1	3.7	2.7	2.6	3.2	1.3	2.6	
		2. かなり重視した	8.3	8.4	8.1	10.2	7.1	7.8	3.4	4.5	4.0	5.6	
		3. あまり重視しなかった	35.0	35.2	34.8	33.1	35.8	36.1	13.7	20.3	19.5	20.9	
		4. ぜんぜん重視しなかった	53.5	52.6	54.4	53.6	53.4	53.5	80.3	72.1	75.2	70.9	
のアルやサイ	1. とても重視した	3.4	3.0	3.7	2.9	4.5	2.7	9.4	0.5	0.7	1.0		
	2. かなり重視した	9.5	7.5	11.4	11.7	9.4	7.6	23.9	4.5	4.0	0.3		
	3. あまり重視しなかった	33.6	28.8	38.2	32.5	35.0	33.4	23.9	24.3	22.0	6.2		
	4. ぜんぜん重視しなかった	53.5	60.7	46.6	52.9	51.1	56.4	42.7	70.7	73.3	92.5		
の評判の高校の	1. とても重視した	9.3	8.7	9.8	10.4	9.6	8.0	14.5	13.1	28.0	6.1		
	2. かなり重視した	25.4	21.3	29.1	28.9	24.4	23.1	34.2	39.2	34.0	26.5		
	3. あまり重視しなかった	40.4	38.2	42.7	40.3	38.8	42.1	30.8	28.8	28.0	26.9		
	4. ぜんぜん重視しなかった	24.9	31.7	18.4	20.4	27.2	26.8	20.5	18.9	10.0	40.5		
5	どのくらい充実しているか	授業を受けるとき	1. とても充実している	2.7	3.9	1.7	4.2	2.0	2.1	3.4	5.9	4.7	7.7
			2. かなり充実している	27.7	24.9	30.4	32.4	22.5	28.3	42.7	35.0	46.0	42.9
			3. あまり充実していない	52.3	51.7	52.9	48.5	55.7	52.6	42.7	45.5	39.3	35.2
			4. ぜんぜん充実していない	17.3	19.6	15.1	14.9	19.8	17.1	11.1	13.6	10.0	14.2
	いるとき	部活動をして	1. とても充実している	22.9	27.5	18.6	30.7	17.3	21.3	9.3	35.1	33.3	31.1
			2. かなり充実している	26.3	26.0	26.7	24.2	28.7	25.9	20.3	26.6	28.7	29.2
			3. あまり充実していない	13.4	12.2	14.5	16.1	11.8	12.5	15.3	12.2	16.0	12.8
			4. ぜんぜん充実していない	5.7	6.4	5.0	5.4	6.1	5.5	4.2	4.1	6.0	3.8
			5. あてはまらない	31.7	27.9	35.3	23.6	36.1	34.8	50.8	22.1	16.0	23.1

質問項目			一般校						特色校				
			全体	性別		学年別			学校				
				男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校	
5	どのくらい充実しているか	学校行事に参加するとき	1. とても充実している	28.5	21.0	35.5	29.2	26.7	29.7	2.5	72.9	52.3	23.2
			2. かなり充実している	37.1	36.5	37.7	36.5	38.3	36.6	21.2	19.0	26.8	36.3
			3. あまり充実していない	24.9	30.0	20.2	26.5	24.2	24.2	44.1	5.9	14.1	27.0
			4. ぜんぜん充実していない	9.4	12.4	6.6	7.9	10.8	9.5	32.2	2.3	6.7	13.5
		昼休みなどにクラスルームなど	1. とても充実している	27.7	21.2	33.7	34.2	24.4	25.0	13.8	28.1	23.2	20.8
			2. かなり充実している	43.9	41.7	45.9	41.0	44.4	46.1	33.6	45.7	43.7	44.9
			3. あまり充実していない	22.3	29.5	15.8	19.4	24.8	22.7	34.5	20.8	26.5	26.0
			4. ぜんぜん充実していない	6.1	7.6	4.6	5.4	6.5	6.2	18.1	5.4	6.6	8.3
		家族と過ごすとき	1. とても充実している	12.4	8.7	15.6	15.5	9.6	12.3	17.1	22.3	25.3	17.2
			2. かなり充実している	39.5	36.5	42.4	38.4	42.4	37.8	42.7	37.3	43.3	38.3
			3. あまり充実していない	38.0	43.6	33.0	36.7	37.3	39.9	26.5	33.2	24.7	29.5
			4. ぜんぜん充実していない	10.1	11.2	9.0	9.4	10.8	10.0	13.7	7.3	6.7	14.9
	授業・予備校の授業を受けるとき	1. とても充実している	2.6	2.9	2.4	1.7	1.8	4.4	1.7	7.7	2.7	12.5	
		2. かなり充実している	8.3	9.7	7.0	6.7	5.1	12.7	11.0	10.9	8.7	19.6	
		3. あまり充実していない	10.6	12.2	9.3	7.5	8.1	15.9	7.6	9.5	16.0	10.9	
4. ぜんぜん充実していない		6.5	7.2	5.8	5.6	7.3	6.6	6.8	4.5	2.0	2.9		
5. あてはまらない		71.9	67.9	75.5	78.5	77.7	60.3	72.9	67.4	70.7	54.2		
休日と家で過ごすとき	1. とても充実している	42.6	42.3	42.9	44.3	42.8	40.9	41.0	44.7	45.3	44.6		
	2. かなり充実している	36.1	33.4	38.7	36.7	36.1	35.7	36.8	28.8	35.3	29.5		
	3. あまり充実していない	17.0	18.6	15.4	15.4	16.0	19.2	17.9	20.5	14.0	19.9		
	4. ぜんぜん充実していない	4.3	5.7	2.9	3.5	5.1	4.2	4.3	5.9	5.3	6.1		
アルバイトをしているとき	1. とても充実している	6.4	4.6	8.1	3.4	8.5	7.2	13.6	5.0	7.9	4.5		
	2. かなり充実している	14.9	11.1	18.3	6.7	18.1	19.1	24.6	9.0	9.9	2.6		
	3. あまり充実していない	12.7	12.4	13.2	4.6	14.2	18.7	11.0	5.4	7.3	1.6		
	4. ぜんぜん充実していない	4.9	5.1	4.4	3.6	6.1	4.9	0.8	2.7	1.3	1.9		
	5. あてはまらない	61.1	66.8	55.9	81.8	53.1	50.1	50.0	77.9	73.5	89.4		
6	どんな学校か	徒まがめいな生徒が多い	1. とてもその通り	5.9	7.2	4.6	6.9	5.3	5.5	2.6	22.5	13.3	24.1
			2. ややその通り	31.5	29.5	33.2	36.8	27.0	31.1	32.8	54.1	51.3	51.1
			3. あまりそうではない	51.3	50.2	52.5	45.8	55.7	52.1	56.9	21.2	30.7	19.3
			4. まったくそうではない	11.3	13.1	9.6	10.5	12.0	11.4	7.8	2.3	4.7	5.5
	にいつ生徒の目	セブツ徒の目	1. とてもその通り	13.5	8.1	18.5	15.4	11.0	14.0	24.8	22.7	45.3	4.9
			2. ややその通り	47.7	44.8	50.6	52.4	46.9	44.2	55.6	52.7	39.3	17.8
			3. あまりそうではない	31.7	37.8	25.9	26.5	32.9	35.2	16.2	19.5	13.3	45.3
			4. まったくそうではない	7.1	9.3	5.1	5.6	9.1	6.6	3.4	5.0	2.0	32.0

質問項目		一般校						特色校					
		全体	性別		学年別			学校					
			男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校		
6	ど んな 学 校 か	が熱心な先生	1. とてもその通り	8.0	9.3	7.0	11.6	4.5	8.1	5.9	22.6	7.4	20.3
			2. ややその通り	37.9	36.2	39.5	48.9	30.7	34.7	44.1	43.0	48.3	47.3
			3. あまりそうではない	41.4	40.1	42.5	30.8	49.2	43.6	43.2	27.6	34.9	20.6
			4. まったくそうではない	12.7	14.4	11.0	8.7	15.6	13.6	6.8	6.8	9.4	11.9
		部活動が盛ん	1. とてもその通り	10.9	13.1	9.0	15.4	8.1	9.5	7.8	39.2	22.5	3.5
			2. ややその通り	40.1	40.4	40.3	46.0	35.8	38.9	42.2	41.9	41.7	28.4
			3. あまりそうではない	39.0	36.6	40.9	31.0	45.0	40.4	40.5	15.8	31.1	49.7
			4. まったくそうではない	10.0	9.9	9.8	7.5	11.1	11.2	9.5	3.2	4.6	18.4
		行事化祭などの	1. とてもその通り	35.9	35.5	36.3	39.2	33.9	34.9	3.4	97.7	90.7	6.4
			2. ややその通り	32.7	33.8	31.8	34.0	31.5	32.6	20.5	1.8	9.3	33.4
			3. あまりそうではない	25.0	24.2	25.6	21.9	27.6	25.2	56.4	0.5	0.0	43.7
			4. まったくそうではない	6.5	6.5	6.4	5.0	7.1	7.2	19.7	0.0	0.0	16.4
	ての全 いび体 るのと びして	1. とてもその通り	46.0	38.2	53.2	49.9	42.9	45.4	67.5	47.3	60.3	13.5	
		2. ややその通り	41.5	46.4	37.0	42.2	39.3	43.0	25.6	34.7	29.1	35.0	
		3. あまりそうではない	10.0	12.9	7.5	6.2	14.6	9.1	6.0	15.8	9.3	30.5	
		4. まったくそうではない	2.4	2.5	2.3	1.7	3.2	2.5	0.9	2.3	1.3	20.9	
	が決 きま りし ない ど	1. とてもその通り	2.7	1.9	3.4	1.9	3.7	2.5	0.0	17.1	0.0	25.0	
		2. ややその通り	8.3	6.9	9.5	7.7	9.3	8.0	1.7	35.1	2.0	32.4	
		3. あまりそうではない	43.3	47.6	39.3	43.9	42.2	43.8	17.9	39.2	12.6	31.4	
		4. まったくそうではない	45.7	43.5	47.8	46.6	44.8	45.8	80.3	8.6	85.4	11.2	
	い力生 るを 活指 入導 てに	1. とてもその通り	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	2.6	21.7	0.7	21.5	
		2. ややその通り	25.4	26.9	24.2	29.4	24.3	23.1	12.0	36.2	12.8	43.6	
		3. あまりそうではない	51.9	52.1	51.7	48.4	54.0	52.9	49.6	38.9	51.4	26.6	
		4. まったくそうではない	18.4	16.7	19.8	18.0	17.4	19.7	35.9	3.2	35.1	8.3	
い力受 るを 活指 入導 てに	1. とてもその通り	5.4	5.3	5.5	7.5	3.4	5.3	0.0	16.0	5.5	70.5		
	2. ややその通り	37.4	38.7	36.1	41.5	35.2	35.7	13.8	56.6	43.8	23.1		
	3. あまりそうではない	45.8	42.8	48.8	41.7	48.7	46.8	56.9	24.7	41.8	3.5		
	4. まったくそうではない	11.4	13.2	9.6	9.2	12.7	12.2	29.3	2.7	8.9	2.9		
7	施設に満足しているか	校舎	1. とても満足	4.4	4.2	4.6	4.6	2.9	5.7	43.6	12.2	5.3	16.1
			2. かなり満足	10.1	10.9	9.5	14.2	7.8	8.7	34.2	17.6	20.7	26.8
			3. やや満足	49.4	47.2	51.5	52.9	46.5	49.0	20.5	57.9	54.7	43.9
			4. かなり不満	21.6	20.1	22.8	16.9	23.7	23.8	0.9	8.6	18.0	5.8
			5. とても不満	14.5	17.6	11.7	11.5	19.0	12.9	0.9	3.6	1.3	7.4

質問項目		一 般 校						特 色 校					
		全 体	性 別		学 年 別			学 校					
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	F 校	G 校	H 校	I 校		
7	施設に満足しているか	グラウンド	1. とても満足	5.3	5.1	5.4	5.4	3.5	6.8	13.9	8.1	4.0	20.3
			2. かなり満足	15.3	13.1	17.5	15.8	14.9	15.3	6.5	13.1	18.5	23.2
			3. やや満足	53.8	48.0	58.8	55.2	52.5	53.8	38.9	53.4	58.9	31.9
			4. かなり不満	15.0	18.0	12.4	13.8	15.9	15.3	10.2	17.2	13.9	10.0
			5. とても不満	10.6	15.8	5.8	9.8	13.1	8.9	30.6	8.1	4.6	14.5
		教室	1. とても満足	2.2	2.2	2.3	2.1	1.8	2.9	32.8	8.6	4.0	12.9
			2. かなり満足	8.2	7.4	9.0	9.6	7.3	7.8	31.9	19.9	13.2	27.1
			3. やや満足	46.9	46.0	47.6	51.6	43.9	45.6	32.8	51.6	53.6	44.8
			4. かなり不満	28.5	27.8	29.1	24.2	30.5	30.4	2.6	15.4	22.5	8.1
			5. とても不満	14.1	16.6	12.0	12.5	16.5	13.3	0.0	4.5	6.6	7.1
		トイレ	1. とても満足	1.8	2.6	1.0	2.1	1.2	2.1	24.8	3.6	2.0	56.8
			2. かなり満足	5.5	5.8	5.3	7.3	5.3	4.2	27.4	9.5	13.3	30.2
			3. やや満足	37.4	38.7	36.1	39.0	36.5	36.9	41.0	56.1	56.0	8.8
			4. かなり不満	34.3	32.9	35.9	30.6	35.9	36.2	5.1	25.3	19.3	2.3
			5. とても不満	20.9	20.0	21.6	21.0	21.2	20.6	1.7	5.4	9.3	1.9
		部活動の部室	1. とても満足	4.8	4.9	4.8	4.9	3.0	6.4	8.9	5.6	7.1	9.0
			2. かなり満足	9.0	8.1	10.0	10.1	8.2	8.9	12.9	3.7	9.2	6.7
			3. やや満足	39.9	34.0	45.9	42.6	37.1	40.2	46.5	33.8	51.8	25.1
			4. かなり不満	25.9	25.9	25.7	24.7	28.3	24.7	20.8	30.6	18.4	32.8
			5. とても不満	20.4	27.1	13.7	17.7	23.4	19.9	10.9	26.4	13.5	26.4
		理科室や音楽室	1. とても満足	6.9	6.1	7.7	7.2	7.5	6.1	15.2	5.9	6.0	20.9
			2. かなり満足	18.8	16.3	21.0	20.0	19.6	16.9	30.4	18.2	20.8	25.2
			3. やや満足	51.8	49.2	54.2	53.8	47.0	54.6	46.4	60.5	59.1	36.3
			4. かなり不満	14.9	17.4	12.5	13.4	16.5	14.6	6.3	11.8	11.4	11.8
			5. とても不満	7.6	10.9	4.6	5.5	9.4	7.8	1.8	3.6	2.7	5.9
体育館	1. とても満足	12.5	14.1	11.0	15.4	9.6	12.6	27.6	13.1	7.9	18.8		
	2. かなり満足	21.3	20.1	22.7	22.5	18.5	23.0	32.8	19.0	27.2	27.2		
	3. やや満足	46.4	43.6	48.9	46.8	47.9	44.5	33.6	59.3	49.7	35.3		
	4. かなり不満	11.0	11.9	10.2	9.0	12.6	11.3	5.2	5.9	11.9	11.3		
	5. とても不満	8.8	10.2	7.2	6.3	11.4	8.5	0.9	2.7	3.3	7.4		
8	高校に満足しているか	高校の雰囲気	1. とても満足	21.6	16.3	26.5	25.4	16.1	23.6	32.8	46.2	38.4	8.7
			2. かなり満足	28.2	25.6	30.9	32.2	27.3	25.5	30.2	27.6	31.8	20.1
			3. やや満足	38.3	43.3	33.7	34.9	41.2	38.7	30.2	17.6	21.9	39.5
			4. かなり不満	7.6	9.1	6.3	5.0	9.8	7.9	6.0	4.1	4.6	18.1
			5. とても不満	4.2	5.7	2.7	2.5	5.7	4.3	0.9	4.5	3.3	13.6

質問項目		一般校						特色校					
		全体	性別		学年別			学校					
			男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校		
8	高校に満足しているか	先生方の教え方	1. とても満足	3.4	3.1	3.8	3.8	2.0	4.5	12.2	8.6	4.6	10.4
			2. かなり満足	15.2	15.4	15.2	19.9	11.0	15.1	23.5	25.0	17.2	23.3
			3. やや満足	47.8	46.7	48.8	49.8	46.2	47.6	50.4	42.7	49.0	40.5
			4. かなり不満	22.4	21.5	23.1	19.5	26.3	21.4	9.6	16.4	22.5	12.6
			5. とても不満	11.1	13.3	9.0	7.1	14.5	11.3	4.3	7.3	6.6	13.3
		友だち関係	1. とても満足	30.9	25.2	36.2	32.2	26.1	34.2	21.6	40.2	28.5	29.2
			2. かなり満足	34.3	36.3	32.6	34.4	35.2	33.5	22.4	34.2	38.4	27.3
			3. やや満足	29.3	32.5	26.3	26.9	33.8	27.2	43.1	19.6	27.2	32.5
			4. かなり不満	3.4	3.2	3.6	3.1	3.3	3.6	10.3	5.5	5.3	7.8
			5. とても不満	2.1	2.8	1.4	3.3	1.6	1.5	2.6	0.5	0.7	3.2
		部活動	1. とても満足	19.6	19.0	20.4	25.8	13.4	19.6	14.3	33.5	24.6	24.9
			2. かなり満足	22.0	23.3	20.7	22.0	22.9	21.1	14.3	23.3	28.2	22.2
			3. やや満足	35.5	34.0	36.5	30.7	38.9	36.7	48.0	29.6	31.7	31.6
			4. かなり不満	12.7	11.8	13.8	11.1	13.4	13.6	18.4	5.8	9.9	9.8
			5. とても不満	10.3	12.0	8.6	10.4	11.4	9.0	5.1	7.8	5.6	11.4
	全体として	1. とても満足	13.4	10.1	16.6	16.5	9.4	14.6	19.0	30.5	22.5	9.1	
		2. かなり満足	32.8	29.6	35.6	34.0	30.8	33.6	36.2	37.3	39.1	27.8	
		3. やや満足	41.2	44.5	38.3	41.3	43.1	39.3	36.2	23.6	29.8	40.8	
		4. かなり不満	8.4	10.2	6.6	6.0	10.6	8.3	5.2	6.4	5.3	13.6	
		5. とても不満	4.2	5.5	2.9	2.3	6.1	4.2	3.4	2.3	3.3	8.7	
9	授業中、どのようにしているか	りどとなりのや人をべな	1. いつもそうしている	5.3	6.1	4.7	5.2	5.3	5.5	2.6	6.8	5.3	8.0
			2. わりとそうしている	18.1	19.3	17.1	18.1	21.2	15.1	6.9	19.5	15.2	23.4
			3. 少しそうしている	33.7	31.3	35.4	34.2	30.6	36.1	22.4	27.1	35.1	34.9
			4. あまりそうしていない	25.2	23.3	27.2	21.5	24.8	29.1	32.8	30.8	34.4	23.4
			5. ぜんぜんそうしていない	17.7	20.0	15.6	21.0	18.1	14.2	35.3	15.8	9.9	10.3
	かりとるをしつ	1. いつもそうしている	37.1	33.8	40.4	42.2	30.6	38.6	30.8	38.0	31.8	36.5	
		2. わりとそうしている	38.1	38.1	38.1	37.0	42.2	35.2	35.0	37.1	43.7	34.3	
		3. 少しそうしている	14.2	15.7	12.7	12.7	14.9	14.9	17.9	14.9	14.6	14.7	
		4. あまりそうしていない	6.9	7.1	6.7	5.2	7.5	7.9	12.0	8.1	7.3	7.7	
		5. ぜんぜんそうしていない	3.7	5.4	2.0	2.9	4.7	3.4	4.3	1.8	2.6	6.7	
	先生の話に熱	1. いつもそうしている	7.1	8.6	5.8	8.5	6.3	6.6	7.7	12.7	9.3	12.5	
		2. わりとそうしている	33.5	32.3	34.6	37.4	27.3	35.8	39.3	41.4	45.0	41.7	
		3. 少しそうしている	33.5	33.1	33.9	32.0	33.6	34.8	27.4	28.2	29.8	25.3	
		4. あまりそうしていない	19.0	18.7	19.3	17.9	23.2	15.9	19.7	14.5	10.6	14.4	
		5. ぜんぜんそうしていない	6.9	7.3	6.3	4.2	9.6	6.8	6.0	3.2	5.3	6.1	

質問項目		一般校						特色校					
		全体	性別		学年別			学校					
			男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校		
9	授業中、どうしているか	先生に質問する	1. いつもそうしている	1.8	2.4	1.4	2.3	0.4	2.8	1.7	4.1	4.6	7.1
			2. わりとそうしている	5.5	5.1	5.7	5.8	4.3	6.3	2.6	12.7	20.5	14.4
			3. 少しそうしている	16.3	18.0	14.3	13.9	15.3	19.3	22.2	21.7	27.2	23.4
			4. あまりそうしていない	31.0	28.8	33.1	34.1	25.1	33.9	32.5	31.2	27.2	28.8
			5. ぜんぜんそうしていない	45.4	45.7	45.4	43.9	54.8	37.7	41.0	30.3	20.5	26.3
		いぬむりを する	1. いつもそうしている	7.2	10.4	4.3	6.2	9.2	6.2	6.8	6.3	6.0	11.2
			2. わりとそうしている	22.5	24.8	20.2	18.1	26.7	22.5	23.1	24.9	14.0	17.9
			3. 少しそうしている	34.3	29.2	39.2	29.9	33.9	38.6	35.0	31.7	36.7	36.2
			4. あまりそうしていない	19.2	16.5	21.8	21.6	17.8	18.3	20.5	19.5	26.0	20.5
			5. ぜんぜんそうしていない	16.8	19.2	14.6	24.1	12.4	14.4	14.5	17.6	17.3	14.1
		「内職」 をする	1. いつもそうしている	2.8	2.8	2.8	1.9	3.9	2.5	3.4	0.9	3.4	6.4
			2. わりとそうしている	9.8	7.8	11.4	7.5	8.9	12.9	11.1	9.5	10.1	16.4
			3. 少しそうしている	21.1	17.7	24.4	14.0	21.7	26.9	28.2	27.6	30.9	26.0
			4. あまりそうしていない	24.4	19.1	29.1	17.5	28.2	26.9	11.1	32.1	32.2	26.7
			5. ぜんぜんそうしていない	41.9	52.7	32.3	59.1	37.3	30.9	46.2	29.9	23.5	24.4
		ポット している	1. いつもそうしている	10.1	10.0	10.3	9.6	12.4	8.3	11.1	2.7	6.0	8.7
			2. わりとそうしている	26.1	22.1	29.7	25.2	25.1	27.8	29.9	25.3	20.5	21.2
			3. 少しそうしている	39.3	37.6	40.8	38.8	40.9	38.2	35.0	39.4	35.1	33.1
			4. あまりそうしていない	16.4	18.0	15.0	17.5	13.6	18.1	17.9	24.0	31.1	24.1
			5. ぜんぜんそうしていない	8.2	12.3	4.3	9.0	8.1	7.6	6.0	8.6	7.3	12.9
をマンガ や雑誌 読む	1. いつもそうしている	3.2	3.7	2.8	3.1	4.3	2.3	0.9	0.5	2.6	2.6		
	2. わりとそうしている	8.7	10.5	6.8	7.1	9.4	9.5	5.1	4.1	2.6	2.3		
	3. 少しそうしている	18.7	19.3	18.1	9.4	21.4	24.6	19.7	8.6	13.2	8.4		
	4. あまりそうしていない	21.4	21.9	21.0	15.4	23.2	25.1	15.4	17.2	17.2	11.9		
	5. ぜんぜんそうしていない	48.0	44.6	51.2	65.1	41.7	38.6	59.0	69.7	64.2	74.9		
10	勉強内容を身につけることは大事か	因数分解を 解く	1. とても大事	7.6	12.2	3.4	6.7	5.7	10.2	6.0	14.1	4.0	26.7
			2. かなり大事	8.4	11.8	5.5	8.3	7.6	9.3	4.3	9.5	6.0	14.5
			3. やや大事	24.5	23.9	25.1	25.2	26.9	21.6	27.4	19.1	21.3	26.7
			4. あまり大事でない	30.6	23.1	37.3	33.5	30.6	28.0	32.5	30.5	42.7	15.1
			5. まったく大事でない	28.9	29.0	28.7	26.3	29.2	31.0	29.9	26.8	26.0	17.0
	知図形の 性質を	1. とても大事	7.2	12.0	2.9	7.1	5.9	8.7	6.0	12.7	6.7	28.5	
		2. かなり大事	11.3	15.5	7.4	10.0	10.4	13.3	7.7	10.9	8.7	18.3	
		3. やや大事	30.3	30.6	30.2	33.5	29.8	27.8	34.2	27.3	34.2	29.5	
		4. あまり大事でない	27.5	19.8	34.3	27.7	28.4	26.5	32.5	25.5	32.9	10.9	
		5. まったく大事でない	23.7	22.0	25.2	21.8	25.5	23.7	19.7	23.6	17.4	12.8	

質問項目		一般校						特色校					
		全体	性別		学年別			学校					
			男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校		
10	勉強内容を身につけることは大事か	『源氏物語』のよ うな古文を読む	1. とても大事	5.2	6.4	4.1	6.9	4.7	4.2	9.5	10.0	13.2	16.7
			2. かなり大事	11.3	10.1	12.5	13.5	9.6	10.8	16.4	10.5	17.9	14.1
			3. やや大事	34.5	28.8	39.8	35.1	34.1	34.3	38.8	39.1	35.1	31.7
			4. あまり大事でない	28.0	27.2	28.7	26.4	30.2	27.3	18.1	25.9	21.2	18.6
			5. まったく大事でない	21.0	27.5	15.0	18.1	21.4	23.3	17.2	14.5	12.6	18.9
		漢文の 文法を 覚える	1. とても大事	4.2	5.4	3.1	6.0	3.5	3.2	3.4	7.8	3.3	15.1
			2. かなり大事	8.0	8.7	7.5	11.6	7.5	5.3	6.0	6.0	8.7	11.9
			3. やや大事	25.7	23.4	28.0	28.9	24.2	24.3	34.2	28.0	27.3	27.3
			4. あまり大事でない	34.3	29.8	38.4	31.8	34.8	36.1	34.2	29.8	40.0	20.9
			5. まったく大事でない	27.7	32.7	23.0	21.6	30.1	31.0	22.2	28.4	20.7	24.8
簡単な英 字を新 聞が読め る	1. とても大事	27.3	29.9	25.0	28.7	26.8	26.5	34.2	40.2	45.0	44.6		
	2. かなり大事	31.9	31.0	32.4	32.6	30.9	32.1	34.2	26.0	35.8	28.8		
	3. やや大事	29.0	25.4	32.4	27.9	31.5	27.6	23.1	22.4	16.6	15.7		
	4. あまり大事でない	5.9	6.1	5.7	5.0	5.7	6.8	6.0	6.8	1.3	5.8		
	5. まったく大事でない	6.0	7.6	4.4	5.8	5.1	7.0	2.6	4.6	1.3	5.1		
日本語の 国字映 画がわか る	1. とても大事	23.8	26.1	21.4	24.3	21.8	25.1	34.2	34.5	43.7	33.7		
	2. かなり大事	19.7	19.2	20.0	20.8	20.8	17.8	22.2	22.3	25.8	21.8		
	3. やや大事	30.0	28.4	31.8	29.3	30.4	30.2	29.9	23.6	21.2	22.4		
	4. あまり大事でない	16.8	14.2	19.3	16.2	18.2	16.1	9.4	12.7	6.6	13.1		
	5. まったく大事でない	9.7	12.0	7.5	9.4	8.8	10.8	4.3	6.8	2.6	9.0		
元素記号 を覚える	1. とても大事	4.0	6.6	1.6	4.4	4.5	3.2	3.4	8.2	6.0	16.7		
	2. かなり大事	6.4	9.3	3.8	6.9	6.1	6.2	4.3	11.4	4.6	12.2		
	3. やや大事	22.7	23.7	21.9	26.0	20.0	22.3	26.5	24.1	23.2	29.2		
	4. あまり大事でない	30.7	25.3	35.5	31.4	31.6	29.3	39.3	24.1	33.8	20.8		
	5. まったく大事でない	36.2	35.1	37.1	31.4	37.8	38.9	26.5	32.3	32.5	21.2		
物理の法 則を覚 える	1. とても大事	5.8	10.2	1.8	4.8	5.7	6.8	6.0	8.7	4.7	16.7		
	2. かなり大事	7.4	11.5	3.8	8.9	5.9	7.6	6.0	6.4	8.7	16.1		
	3. やや大事	21.4	25.4	17.7	25.4	22.4	17.0	30.8	25.1	21.3	27.3		
	4. あまり大事でない	30.1	22.8	36.8	32.2	30.4	28.0	33.3	21.9	34.7	16.7		
	5. まったく大事でない	35.2	30.0	39.9	28.7	35.7	40.6	23.9	37.9	30.7	23.2		
日本の歴 史に強 くなる	1. とても大事	11.1	14.2	8.1	12.9	9.8	10.6	19.7	19.2	23.8	22.8		
	2. かなり大事	18.6	18.5	18.5	21.8	16.5	17.6	27.4	19.2	28.5	17.0		
	3. やや大事	36.4	32.5	40.0	36.0	36.7	36.5	36.8	32.4	30.5	27.9		
	4. あまり大事でない	18.2	17.7	18.7	16.6	20.6	17.2	10.3	16.9	7.9	15.1		
	5. まったく大事でない	15.8	17.0	14.7	12.7	16.3	18.1	6.0	12.3	9.3	17.3		

質問項目			一般校						特色校				
			全体	性別		学年別			学校				
				男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校	
10	勉強内容を身につけることは大事か	基本的な人権をの理解する	1. とても大事	20.0	22.6	17.7	24.7	16.3	19.1	31.6	31.1	33.1	28.9
			2. かなり大事	22.1	21.9	22.4	23.9	20.7	22.0	27.4	21.9	31.1	23.2
			3. やや大事	36.8	33.5	39.9	32.6	40.2	37.5	32.5	30.1	24.5	27.3
			4. あまり大事でない	12.4	11.6	13.2	11.0	14.2	11.9	6.0	11.0	6.6	10.9
			5. まったく大事でない	8.6	10.4	6.9	7.7	8.7	9.5	2.6	5.9	4.6	9.6
		を身につける	1. とても大事	12.3	16.5	8.5	14.6	11.6	11.0	10.3	16.1	14.0	20.6
			2. かなり大事	11.6	15.1	8.3	11.5	11.0	12.3	12.0	9.7	13.3	12.2
			3. やや大事	30.9	33.4	28.7	33.8	28.9	30.3	35.9	28.1	31.3	26.4
			4. あまり大事でない	27.2	20.2	33.8	25.5	29.3	26.9	29.9	26.7	27.3	19.0
			5. まったく大事でない	17.9	14.7	20.7	14.6	19.3	19.5	12.0	19.4	14.0	21.9
		つやける	1. とても大事	27.5	20.7	33.9	30.6	24.2	28.0	29.1	41.1	35.8	21.2
			2. かなり大事	28.4	28.4	28.5	28.9	28.1	28.2	32.5	21.5	36.4	27.0
			3. やや大事	30.6	33.3	28.0	30.4	32.6	29.0	25.6	26.5	22.5	26.7
			4. あまり大事でない	7.3	8.4	6.4	4.6	7.9	9.3	8.5	5.0	4.0	11.3
			5. まったく大事でない	6.1	9.1	3.3	5.6	7.3	5.5	4.3	5.9	1.3	13.8
11	高校時代にしておく大切なこと	登遅校刻せず	1. とても大切	56.2	56.1	56.8	57.0	54.9	56.6	41.0	58.2	46.4	45.3
			2. やや大切	33.9	30.5	36.6	33.3	36.6	31.8	38.5	30.5	41.1	29.6
			3. あまり大切でない	7.7	10.1	5.5	8.3	6.7	8.1	17.1	9.5	9.3	16.4
			4. まったく大切でない	2.2	3.3	1.1	1.5	1.8	3.4	3.4	1.8	3.3	8.7
		さつをする	1. とても大切	41.6	40.1	43.4	47.2	37.1	40.8	41.9	60.0	42.4	43.7
			2. やや大切	42.9	42.7	42.8	39.9	44.8	43.8	41.0	31.8	39.1	37.6
			3. あまり大切でない	11.5	11.8	11.2	9.6	13.0	11.8	12.8	5.9	15.9	11.3
			4. まったく大切でない	4.0	5.4	2.7	3.3	5.1	3.6	4.3	2.3	2.6	7.4
		つづける	1. とても大切	74.8	68.3	80.8	77.3	73.1	74.2	66.7	82.7	74.7	73.3
			2. やや大切	20.7	25.6	16.4	19.3	22.0	20.6	17.9	15.5	22.7	18.0
			3. あまり大切でない	2.8	3.9	1.6	2.5	2.8	3.0	14.5	0.5	2.7	4.8
			4. まったく大切でない	1.7	2.2	1.1	0.8	2.2	2.1	0.9	1.4	0.0	3.9
		トに	1. とても大切	21.3	20.9	21.9	28.5	20.0	15.9	14.5	17.7	10.0	23.5
			2. やや大切	44.9	41.0	48.5	46.8	45.6	42.5	35.9	47.3	50.0	38.9
			3. あまり大切でない	27.5	29.5	25.4	20.0	27.3	34.5	40.2	28.6	33.3	27.0
			4. まったく大切でない	6.3	8.6	4.2	4.8	7.1	7.0	9.4	6.4	6.7	10.6
		トに	1. とても大切	18.3	16.1	20.4	18.1	18.9	17.8	12.8	22.2	12.1	21.9
			2. やや大切	47.4	44.8	49.6	55.0	42.4	45.3	40.2	50.7	52.3	44.4
			3. あまり大切でない	27.3	30.0	24.9	21.9	30.3	29.4	38.5	21.3	29.5	21.5
			4. まったく大切でない	7.1	9.2	5.1	5.0	8.4	7.6	8.5	5.9	6.0	12.2

質問項目		一般校						特色校					
		全体	性別		学年別			学校					
			男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校		
11	高校時代にしておく大切なこと	授業で習ったことをしっかり覚える	1. とても大切	33.8	34.1	33.8	42.8	32.5	26.9	22.2	37.1	27.5	42.1
			2. やや大切	46.8	44.2	49.2	45.7	48.4	46.2	53.0	49.3	57.7	41.2
			3. あまり大切でない	15.6	16.5	14.6	8.5	15.6	22.0	18.8	11.3	12.8	10.9
			4. まったく大切でない	3.8	5.3	2.4	2.9	3.5	4.9	6.0	2.3	2.0	5.8
		授業で習ったことを授業以外の場面で活かす	1. とても大切	33.2	35.9	30.8	34.5	30.8	34.5	39.3	57.8	57.3	45.5
			2. やや大切	49.6	46.7	52.2	51.6	51.4	46.0	53.0	33.9	36.7	39.0
			3. あまり大切でない	13.9	13.2	14.6	11.2	14.3	15.8	5.1	6.4	5.3	9.7
			4. まったく大切でない	3.3	4.2	2.4	2.7	3.6	3.6	2.6	1.8	0.7	5.8
		図書館・インターネットで調べものをする	1. とても大切	24.2	23.7	24.8	23.7	22.2	26.7	47.9	37.2	42.7	30.8
			2. やや大切	47.9	45.7	49.8	49.7	47.2	47.0	43.6	44.5	44.7	41.6
			3. あまり大切でない	21.4	22.6	20.5	20.7	22.6	20.8	6.0	16.1	12.0	18.8
			4. まったく大切でない	6.5	8.0	4.9	5.9	7.9	5.5	2.6	2.3	0.7	8.8
	自信を持つ	1. とても大切	28.5	31.9	25.4	31.1	26.2	28.2	31.6	37.3	30.7	37.5	
		2. やや大切	48.5	48.0	49.1	48.5	47.8	49.2	53.8	43.8	52.0	38.1	
		3. あまり大切でない	18.5	15.4	21.3	16.1	21.6	17.7	11.1	16.1	15.3	17.6	
		4. まったく大切でない	4.5	4.6	4.2	4.2	4.4	4.8	3.4	2.8	2.0	6.8	
	積極的に参加する	1. とても大切	45.4	36.4	53.8	47.6	41.1	47.6	9.4	71.9	56.7	40.6	
		2. やや大切	36.4	38.9	34.0	38.2	37.1	34.1	42.7	20.7	29.3	35.7	
		3. あまり大切でない	12.5	15.9	9.6	9.3	15.9	12.2	36.8	5.1	10.7	14.3	
		4. まったく大切でない	5.7	8.8	2.6	4.9	6.0	6.1	11.1	2.3	3.3	9.4	
	課外活動に参る	1. とても大切	11.6	11.7	11.7	13.6	10.0	11.5	3.4	11.0	9.5	20.8	
		2. やや大切	36.1	33.5	38.4	40.7	30.3	37.6	14.7	41.3	39.2	37.0	
		3. あまり大切でない	40.1	40.1	40.2	37.3	45.0	37.8	62.9	38.5	45.9	29.2	
		4. まったく大切でない	12.2	14.8	9.8	8.5	14.7	13.2	19.0	9.2	5.4	13.0	
	自分の進路を定める	1. とても大切	74.5	71.5	77.5	75.1	74.9	73.5	82.9	83.4	82.7	80.2	
		2. やや大切	22.4	24.1	20.5	23.5	22.0	21.7	11.1	16.1	16.0	16.9	
		3. あまり大切でない	2.1	2.8	1.4	1.3	2.0	2.9	4.3	0.0	1.3	1.0	
		4. まったく大切でない	1.1	1.5	0.6	0.2	1.2	1.9	1.7	0.5	0.0	1.9	
12	勉強について思うこと	1. とてもそう思う	5.3	6.2	4.6	7.0	4.8	4.4	0.9	5.0	4.0	7.5	
		2. まあそう思う	43.0	39.8	46.4	51.0	42.2	36.8	35.9	35.3	34.7	36.0	
		3. あまりそう思わない	40.8	38.8	42.5	33.0	43.4	45.3	43.6	49.5	50.0	36.7	
		4. まったくそう思わない	10.8	15.3	6.5	9.1	9.7	13.5	19.7	10.1	11.3	19.8	

質問項目			一般校						特色校				
			全体	性別		学年別			学校				
				男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校	
12	勉強について思うこと	く勉強は要領だよ やるもの大切	1. とてもそう思う	39.9	44.5	35.7	42.5	39.4	37.9	35.0	56.0	42.3	61.7
			2. まあそう思う	49.0	43.6	53.9	49.7	49.7	47.6	47.0	33.9	46.3	30.2
			3. あまりそう思わない	9.2	8.8	9.6	6.6	9.5	11.4	14.5	8.3	8.1	4.5
			4. まったくそう思わない	1.9	3.1	0.8	1.3	1.4	3.0	3.4	1.8	3.4	3.6
		こも解とが正解より大切	1. とてもそう思う	7.0	8.8	5.4	7.8	6.3	6.9	2.6	8.3	3.3	10.7
			2. まあそう思う	16.9	17.7	15.9	17.8	15.2	17.8	12.0	14.7	12.7	16.9
			3. あまりそう思わない	54.7	49.1	60.2	57.2	54.3	53.0	57.3	50.5	48.7	49.4
			4. まったくそう思わない	21.3	24.4	18.5	17.2	24.2	22.4	28.2	26.6	35.3	23.1
		と返問がしにくく大事	1. とてもそう思う	36.4	35.5	37.4	37.4	35.0	37.0	21.6	35.8	26.7	31.9
			2. まあそう思う	49.1	47.2	50.9	50.2	50.3	46.9	53.4	51.4	50.7	48.2
			3. あまりそう思わない	11.8	13.2	10.4	9.8	11.7	13.7	16.4	10.6	18.7	14.3
			4. まったくそう思わない	2.7	4.1	1.3	2.6	3.0	2.5	8.6	2.3	4.0	5.5
必に将来が強いとするため	1. とてもそう思う	25.4	26.5	24.4	25.6	22.8	27.7	23.1	31.3	24.2	36.2		
	2. まあそう思う	47.1	45.2	49.0	50.7	46.9	44.1	48.7	47.9	55.0	43.0		
	3. あまりそう思わない	21.7	20.9	22.4	18.4	23.6	22.9	21.4	17.1	18.8	13.7		
	4. まったくそう思わない	5.8	7.4	4.2	5.3	6.7	5.3	6.8	3.7	2.0	7.2		
しい進路は関係ない	1. とてもそう思う	16.9	20.3	13.6	11.7	18.6	20.0	10.3	15.6	7.4	21.5		
	2. まあそう思う	37.9	34.7	40.8	35.4	33.7	44.2	38.5	35.3	30.9	29.3		
	3. あまりそう思わない	37.7	35.0	40.5	45.3	41.0	27.6	43.6	41.3	53.0	38.1		
	4. まったくそう思わない	7.5	9.9	5.1	7.6	6.7	8.2	7.7	7.8	8.7	11.1		
将来役に立つ	1. とてもそう思う	37.0	36.2	37.9	40.7	35.2	35.5	38.8	33.3	28.2	30.9		
	2. まあそう思う	42.0	39.8	44.4	42.4	43.6	40.3	31.9	41.2	52.3	28.3		
	3. あまりそう思わない	15.0	15.7	14.1	11.9	15.6	17.2	23.3	19.0	15.4	27.0		
	4. まったくそう思わない	5.9	8.3	3.6	5.1	5.5	7.1	6.0	6.5	4.0	13.8		
13	行事・活動を学校で行う必要性	遠足	1. とても必要	43.3	40.5	45.8	43.6	42.6	43.7	10.3	47.7	40.7	32.2
			2. わりと必要	28.7	26.3	31.1	27.7	29.9	28.5	22.2	33.0	39.3	20.8
			3. 少し必要	14.7	16.0	13.4	16.1	13.5	14.6	31.6	11.9	11.3	19.9
			4. あまり必要がない	8.4	9.5	7.4	8.2	9.1	7.8	16.2	4.6	8.0	16.6
			5. ぜんぜん必要がない	4.9	7.7	2.3	4.4	5.0	5.3	19.7	2.8	0.7	10.4
	学校旅行(林間学校・スキーなどを含む)	1. とても必要	70.5	66.2	74.3	72.9	67.9	70.7	17.1	79.4	64.7	69.4	
		2. わりと必要	17.8	19.3	16.5	15.0	20.2	18.1	27.4	10.6	24.0	19.2	
		3. 少し必要	6.5	7.6	5.5	9.1	5.2	5.3	29.1	6.9	8.0	7.5	
		4. あまり必要がない	2.8	3.2	2.4	2.1	3.6	2.7	13.7	1.8	2.0	1.3	
		5. ぜんぜん必要がない	2.5	3.6	1.3	0.8	3.2	3.2	12.8	1.4	1.3	2.6	

質問項目		一般校						特色校					
		全体	性別		学年別			学校					
			男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校		
13	行事・活動を学校で行う必要性	社会見学(工場や資料館など)	1. とても必要	24.1	25.4	22.9	25.6	23.4	23.4	6.8	24.4	18.7	26.4
			2. わりと必要	28.0	24.6	31.2	30.9	26.9	26.4	16.2	25.8	41.3	25.1
			3. 少し必要	26.9	26.3	27.4	24.9	25.9	29.5	31.6	28.1	26.7	23.8
			4. あまり必要がない	13.4	12.7	13.9	13.7	14.9	11.8	30.8	14.7	12.0	11.7
			5. ぜんぜん必要がない	7.6	10.9	4.6	4.9	8.9	8.9	14.5	6.9	1.3	13.0
		運動会(体育祭)	1. とても必要	48.3	43.1	53.2	46.3	47.5	51.0	10.3	83.5	59.3	40.1
			2. わりと必要	22.9	21.7	24.0	25.2	24.8	19.2	18.8	8.3	22.7	21.8
			3. 少し必要	12.2	15.5	9.1	14.2	9.7	12.7	17.9	5.5	11.3	13.7
			4. あまり必要がない	8.0	8.7	7.4	7.8	8.9	7.4	29.9	0.9	5.3	10.7
			5. ぜんぜん必要がない	8.5	10.9	6.3	6.6	9.1	9.7	23.1	1.8	1.3	13.7
	水泳大会	1. とても必要	8.7	12.1	5.6	9.7	7.5	8.8	2.6	16.5	10.0	16.9	
		2. わりと必要	8.1	9.5	6.9	10.2	7.9	6.5	5.1	13.8	12.0	10.7	
		3. 少し必要	15.6	16.8	14.7	15.9	13.9	17.1	17.9	21.1	26.0	13.0	
		4. あまり必要がない	31.7	26.1	36.6	31.4	30.9	32.8	36.8	26.1	31.3	24.1	
		5. ぜんぜん必要がない	35.9	35.5	36.1	32.8	39.8	34.9	37.6	22.5	20.7	35.2	
	マラソン大会	1. とても必要	5.7	9.4	2.3	4.7	6.0	6.3	1.7	7.8	5.3	8.8	
		2. わりと必要	6.2	9.5	3.2	5.3	6.9	6.3	6.0	10.1	8.0	12.4	
		3. 少し必要	14.4	16.8	12.3	16.8	11.3	15.2	13.7	21.1	18.0	15.4	
		4. あまり必要がない	23.9	20.6	26.7	24.4	23.4	23.8	37.6	28.4	26.0	21.6	
		5. ぜんぜん必要がない	49.9	43.6	55.5	48.8	52.4	48.5	41.0	32.6	42.7	41.8	
	球技大会	1. とても必要	38.6	45.1	32.5	38.8	37.0	39.9	7.7	44.0	18.0	48.7	
		2. わりと必要	21.4	18.5	24.3	22.0	21.4	20.9	13.7	20.2	31.3	20.6	
		3. 少し必要	20.1	18.5	21.5	21.6	20.8	18.1	22.2	22.9	33.3	16.0	
		4. あまり必要がない	10.7	8.7	12.5	10.4	11.3	10.5	32.5	8.3	11.3	6.2	
		5. ぜんぜん必要がない	9.2	9.2	9.1	7.2	9.5	10.6	23.9	4.6	6.0	8.5	
	文化祭	1. とても必要	62.3	54.4	69.7	67.4	59.3	60.5	21.4	76.1	74.0	57.2	
		2. わりと必要	19.4	20.2	18.8	16.7	21.6	19.8	31.6	16.1	13.3	24.8	
		3. 少し必要	10.4	13.7	7.2	9.7	10.9	10.6	29.9	5.5	9.3	11.1	
		4. あまり必要がない	4.2	5.5	3.1	3.0	4.8	4.8	7.7	1.4	2.7	2.9	
		5. ぜんぜん必要がない	3.7	6.2	1.3	3.2	3.4	4.4	9.4	0.9	0.7	3.9	
徒合による音楽会	1. とても必要	22.4	18.8	25.8	26.2	23.2	18.3	5.1	41.5	26.0	14.1		
	2. わりと必要	18.6	15.0	22.0	22.2	15.7	18.3	19.7	18.4	33.3	10.8		
	3. 少し必要	24.6	23.4	25.6	24.9	22.8	25.9	25.6	18.9	20.7	15.4		
	4. あまり必要がない	17.5	18.8	16.2	14.0	18.3	20.0	27.4	15.2	12.7	25.5		
	5. ぜんぜん必要がない	16.9	24.0	10.4	12.7	20.0	17.7	22.2	6.0	7.3	34.3		

質問項目		一 般 校						特 色 校					
		全 体	性 別		学 年 別			学 校					
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	F 校	G 校	H 校	I 校		
13	行事・活動を学校で行う必要性	芸術鑑賞会	1. とても必要	21.5	20.9	22.1	21.8	19.2	23.4	12.1	26.1	24.0	15.7
			2. わりと必要	18.9	15.8	21.7	16.7	20.2	19.6	19.0	18.8	30.0	14.8
			3. 少し必要	24.4	24.7	23.9	25.2	24.2	24.0	37.9	32.1	27.3	19.7
			4. あまり必要がない	19.6	19.6	19.6	20.3	20.2	18.3	16.4	14.7	10.7	20.7
			5. ぜんぜん必要がない	15.6	18.9	12.7	16.1	16.1	14.8	14.7	8.3	8.0	29.2
		入学式	1. とても必要	58.8	51.2	66.0	59.6	55.8	61.0	29.9	69.7	65.3	44.1
			2. わりと必要	18.6	18.1	18.9	17.1	21.0	17.5	27.4	14.7	14.7	17.3
			3. 少し必要	11.6	14.7	8.7	11.2	13.1	10.6	22.2	9.2	13.3	18.0
			4. あまり必要がない	4.5	5.5	3.6	5.1	3.8	4.6	12.0	4.1	5.3	8.2
			5. ぜんぜん必要がない	6.5	10.5	2.8	7.0	6.3	6.3	8.5	2.3	1.3	12.4
		卒業式	1. とても必要	70.0	61.8	77.9	70.8	68.3	70.9	37.6	81.2	74.0	57.2
			2. わりと必要	14.7	15.7	13.6	14.4	17.0	12.7	29.9	11.5	16.7	15.7
			3. 少し必要	7.9	11.2	4.9	7.8	7.5	8.4	18.8	4.6	6.7	12.7
			4. あまり必要がない	2.5	3.1	2.0	2.7	2.0	2.9	6.8	2.3	2.7	4.2
			5. ぜんぜん必要がない	4.9	8.3	1.7	4.2	5.1	5.1	6.8	0.5	0.0	10.1
	授業参観	1. とても必要	4.3	5.6	3.1	3.8	3.8	5.1	0.0	6.0	10.0	5.2	
		2. わりと必要	5.9	6.6	5.4	6.2	4.6	7.0	6.8	6.9	12.0	9.2	
		3. 少し必要	18.1	16.7	19.3	22.1	15.4	17.0	16.2	22.0	22.0	19.0	
		4. あまり必要がない	30.7	27.2	34.1	32.3	29.1	30.9	30.8	28.9	32.0	21.2	
		5. ぜんぜん必要がない	41.0	43.8	38.2	35.7	47.1	40.0	46.2	36.2	24.0	45.4	
	家庭訪問	1. とても必要	2.2	3.8	0.8	2.1	2.2	2.3	0.9	2.8	2.7	3.3	
		2. わりと必要	3.5	4.6	2.6	4.7	3.0	3.1	9.4	6.4	7.3	4.9	
		3. 少し必要	13.3	15.2	11.5	17.2	11.1	12.0	8.5	11.5	14.0	12.4	
		4. あまり必要がない	27.9	23.8	31.8	27.8	25.2	30.5	29.1	30.3	34.0	21.9	
		5. ぜんぜん必要がない	53.0	52.6	53.3	48.2	58.5	52.1	52.1	49.1	42.0	57.5	
も別保護者会(P.T.A)会などを含む)	1. とても必要	8.0	11.0	5.4	7.0	7.2	9.8	4.3	14.7	11.4	13.7		
	2. わりと必要	15.0	14.0	16.0	15.3	12.3	17.2	17.2	25.3	31.5	22.5		
	3. 少し必要	31.5	31.2	31.7	32.8	31.8	30.0	25.9	32.3	37.6	23.9		
	4. あまり必要がない	19.4	16.6	22.0	18.5	20.1	19.5	22.4	15.2	10.1	13.1		
	5. ぜんぜん必要がない	26.1	27.2	24.9	26.4	28.6	23.5	30.2	12.4	9.4	26.8		
14	学校の魅力	通学の便がよい	1. とても魅力	41.9	42.8	40.9	40.3	40.3	44.8	30.8	38.5	20.7	36.6
			2. かなり魅力	29.6	26.0	32.9	27.6	30.0	31.1	35.0	37.2	34.7	31.0
			3. どちらでもよい	18.9	19.3	18.8	20.8	18.8	17.4	21.4	17.4	29.3	20.6
			4. あまり魅力がない	4.5	5.3	3.8	5.7	5.4	2.7	8.5	5.0	7.3	4.6
			5. ぜんぜん魅力がない	5.0	6.6	3.5	5.5	5.6	4.0	4.3	1.8	8.0	7.2

質問項目		一般校						特色校					
		全体	性別		学年別			学校					
			男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校		
14	校 の 魅 力	校舎や教室がハイテク化されている	1. とても魅力	33.5	34.8	32.2	36.2	32.5	31.9	37.6	34.4	24.7	39.3
			2. かなり魅力	29.7	25.2	33.9	26.7	30.9	31.2	39.3	35.3	43.3	38.0
			3. どちらでもよい	20.6	20.9	20.3	18.4	20.8	22.2	20.5	21.6	22.7	15.7
			4. あまり魅力がない	7.1	7.7	6.5	9.5	5.5	6.5	1.7	4.6	5.3	2.3
			5. ぜんぜん魅力がない	9.2	11.4	7.0	9.1	10.3	8.2	0.9	4.1	4.0	4.6
	校 の 魅 力	が多い	1. とても魅力	24.6	26.3	22.8	26.4	20.8	26.6	23.9	31.3	26.0	36.5
			2. かなり魅力	30.9	28.6	33.3	29.0	30.3	33.3	37.6	34.6	41.3	29.9
			3. どちらでもよい	33.1	32.3	33.8	32.2	37.0	30.0	23.9	27.6	26.7	21.1
			4. あまり魅力がない	5.6	5.2	6.0	6.6	5.5	4.8	10.3	5.1	2.0	6.6
			5. ぜんぜん魅力がない	5.8	7.6	4.1	5.8	6.3	5.3	4.3	1.4	4.0	5.9
校 の 魅 力	校内に食堂やカフェテリアがある	1. とても魅力	35.1	32.6	37.4	39.3	32.3	34.0	29.9	33.2	29.3	36.2	
		2. かなり魅力	30.0	26.0	33.7	27.4	32.3	30.2	39.3	30.9	34.7	33.2	
		3. どちらでもよい	21.5	24.9	18.6	20.4	22.8	21.3	25.6	24.0	27.3	18.8	
		4. あまり魅力がない	4.5	5.2	3.8	4.0	5.0	4.4	2.6	4.6	4.7	5.3	
		5. ぜんぜん魅力がない	8.9	11.4	6.5	8.9	7.5	10.1	2.6	7.4	4.0	6.6	
校 の 魅 力	伝統校で有名なも出ている	1. とても魅力	13.4	15.6	11.3	16.0	13.1	11.4	5.1	9.6	8.0	12.1	
		2. かなり魅力	12.9	11.3	14.3	14.3	10.7	13.7	7.7	15.1	8.7	8.2	
		3. どちらでもよい	40.0	34.7	45.0	38.5	43.6	37.8	35.9	45.9	42.0	32.5	
		4. あまり魅力がない	13.5	11.5	15.2	13.0	13.3	14.1	23.1	11.0	19.3	13.4	
		5. ぜんぜん魅力がない	20.3	26.9	14.2	18.3	19.4	23.0	28.2	18.3	22.0	33.8	
校 の 魅 力	値が高い校入試の偏差	1. とても魅力	9.5	12.1	7.2	8.9	8.7	10.7	4.3	15.7	12.0	21.3	
		2. かなり魅力	20.8	19.2	22.2	19.3	20.4	22.5	9.5	40.7	32.7	33.1	
		3. どちらでもよい	43.2	40.0	46.4	45.3	45.5	39.0	41.4	31.9	36.7	27.9	
		4. あまり魅力がない	12.5	11.2	13.7	14.0	10.1	13.5	19.0	5.6	8.7	7.9	
		5. ぜんぜん魅力がない	14.0	17.5	10.6	12.5	15.2	14.3	25.9	6.0	10.0	9.8	
校 の 魅 力	つ校風が自分合	1. とても魅力	46.3	38.1	53.8	45.6	44.2	49.0	58.1	60.8	75.3	41.8	
		2. かなり魅力	29.0	28.3	29.7	30.3	30.7	26.2	27.4	25.8	18.0	28.3	
		3. どちらでもよい	18.2	24.7	12.1	18.4	18.4	17.7	8.5	11.1	5.3	17.1	
		4. あまり魅力がない	2.5	2.9	2.2	2.5	2.0	3.0	3.4	0.9	0.0	4.6	
		5. ぜんぜん魅力がない	4.0	5.9	2.2	3.2	4.8	4.0	2.6	1.4	1.3	8.2	
校 の 魅 力	高い先生が評判の	1. とても魅力	24.8	20.8	28.5	23.7	24.2	26.4	26.5	29.4	36.0	29.2	
		2. かなり魅力	25.5	22.6	28.3	24.4	24.0	28.1	31.6	27.1	29.3	29.2	
		3. どちらでもよい	32.0	34.1	30.2	33.1	32.5	30.6	29.9	29.4	28.0	23.6	
		4. あまり魅力がない	8.2	8.7	7.8	9.3	8.5	6.8	6.8	7.8	2.7	6.6	
		5. ぜんぜん魅力がない	9.4	13.9	5.2	9.5	10.9	8.0	5.1	6.4	4.0	11.5	

質問項目			一般校						特色校				
			全体	性別		学年別			学校				
				男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校	
14	学校の魅力	個性的な生徒が多い	1. とても魅力	23.1	20.3	25.6	25.1	21.8	22.5	26.5	31.7	46.7	19.4
			2. かなり魅力	22.9	20.8	24.9	22.3	22.2	24.2	29.9	25.7	26.0	19.7
			3. どちらでもよい	38.2	39.4	37.2	38.0	39.2	37.5	31.6	33.5	24.0	35.9
			4. あまり魅力がない	8.3	8.7	8.1	8.1	9.3	7.6	6.0	5.0	1.3	11.5
			5. ぜんぜん魅力がない	7.5	10.8	4.2	6.6	7.5	8.2	6.0	4.1	2.0	13.5
	力の	霧制服のない自由な	1. とても魅力	13.8	13.9	13.7	14.4	14.9	12.2	43.6	7.9	10.7	18.0
			2. かなり魅力	13.6	11.2	15.7	12.1	15.6	13.0	21.4	7.9	12.8	17.4
			3. どちらでもよい	41.8	44.1	39.8	40.7	39.8	44.7	26.5	38.4	52.3	32.5
			4. あまり魅力がない	14.7	12.6	16.5	17.4	13.9	13.0	3.4	20.4	12.1	13.1
			5. ぜんぜん魅力がない	16.2	18.1	14.2	15.5	15.8	17.2	5.1	25.5	12.1	19.0
	力の	実績一流大学への進学	1. とても魅力	10.3	13.1	7.9	10.0	8.3	12.5	7.7	21.6	12.1	34.5
			2. かなり魅力	19.8	22.3	17.4	20.2	19.8	19.4	10.3	33.0	29.5	36.2
			3. どちらでもよい	41.3	35.5	46.5	42.5	45.6	36.1	42.7	30.7	40.9	18.4
			4. あまり魅力がない	13.2	11.7	14.7	14.2	10.3	15.0	15.4	6.4	7.4	2.3
			5. ぜんぜん魅力がない	15.4	17.4	13.4	13.2	15.9	16.9	23.9	8.3	10.1	8.6
15	学校へ行くか	発売日である商品の	1. ぜったい学校へ行く	56.5	55.8	57.4	57.6	56.1	55.9	31.9	71.4	70.7	67.2
			2. どちらかといえば学校へ行く	31.6	29.8	33.3	34.4	30.7	29.9	47.4	24.1	25.3	22.7
			3. どちらかといえば学校を休む	7.0	7.8	6.3	5.2	7.5	8.2	16.4	2.7	2.7	4.2
			4. ぜったい学校を休む	4.8	6.6	3.1	2.7	5.7	5.9	4.3	1.8	1.3	5.8
	学校へ行くか	ある先生の授業が	1. ぜったい学校へ行く	56.2	60.0	52.6	56.3	57.1	55.2	34.5	74.2	60.0	65.6
			2. どちらかといえば学校へ行く	37.9	34.1	41.6	40.4	35.8	37.6	49.1	24.9	34.0	26.6
			3. どちらかといえば学校を休む	4.4	3.9	4.8	2.9	5.7	4.6	11.2	0.9	4.7	5.5
			4. ぜったい学校を休む	1.5	1.9	1.0	0.4	1.4	2.7	5.2	0.0	1.3	2.3
	学校へ行くか	化祭の日は	1. ぜったい学校へ行く	55.2	50.2	60.1	58.2	54.7	53.0	12.9	86.4	71.1	51.6
			2. どちらかといえば学校へ行く	27.9	28.5	27.1	30.9	27.0	26.2	22.4	10.5	18.1	28.6
			3. どちらかといえば学校を休む	9.8	11.0	8.8	7.3	10.4	11.5	33.6	2.3	6.7	9.1
			4. ぜったい学校を休む	7.0	10.3	3.9	3.5	7.9	9.4	31.0	0.9	4.0	10.7
	学校へ行くか	式・終業式の日	1. ぜったい学校へ行く	56.5	56.8	56.4	58.7	53.8	57.1	9.5	70.1	53.0	55.2
			2. どちらかといえば学校へ行く	35.4	33.4	37.0	37.0	37.9	31.4	30.2	23.5	34.9	34.1
			3. どちらかといえば学校を休む	5.4	5.7	5.0	2.7	5.5	7.7	34.5	4.5	10.7	6.8
			4. ぜったい学校を休む	2.8	4.1	1.5	1.7	2.8	3.8	25.9	1.8	1.3	3.9
学校へ行くか	ンがある	1. ぜったい学校へ行く	53.0	56.1	50.2	54.1	52.3	52.7	29.3	70.1	62.0	66.1	
		2. どちらかといえば学校へ行く	35.0	32.1	37.6	35.7	34.3	34.9	37.9	25.3	30.0	23.5	
		3. どちらかといえば学校を休む	8.2	7.8	8.7	7.7	7.7	9.2	25.9	3.2	6.0	5.9	
		4. ぜったい学校を休む	3.8	4.0	3.6	2.5	5.7	3.2	6.9	1.4	2.0	4.6	

質問項目			一 般 校						特 色 校				
			全 体	性 別		学 年 別			学 校				
				男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	F 校	G 校	H 校	I 校	
15	学校へ行くか・休むか	十一時であるので寝坊してすでに	1. ぜったい学校へ行く	27.4	31.5	24.0	28.0	29.1	25.2	12.9	35.9	35.6	27.4
			2. どちらかといえば学校へ行く	34.7	31.9	37.0	35.4	34.4	34.2	42.2	34.1	36.9	26.7
			3. どちらかといえば学校を休む	25.0	21.8	28.1	24.7	26.0	24.5	31.9	18.6	19.5	22.5
			4. ぜったい学校を休む	12.9	14.8	11.0	11.9	10.4	16.1	12.9	11.4	8.1	23.5
		重くかかるといって起きてから頭が	1. ぜったい学校へ行く	17.7	22.8	13.2	16.3	19.5	17.4	2.6	22.7	16.7	22.8
			2. どちらかといえば学校へ行く	37.2	36.0	38.3	40.8	33.9	37.0	31.0	36.4	35.3	33.2
			3. どちらかといえば学校を休む	30.3	24.8	35.2	28.2	31.5	30.9	46.6	30.5	36.0	25.7
			4. ぜったい学校を休む	14.8	16.4	13.3	14.6	15.2	14.7	19.8	10.5	12.0	18.2
		看護が病気になるまでを頼まれた	1. ぜったい学校へ行く	7.7	11.9	4.0	6.3	9.3	7.5	3.5	9.5	4.0	11.8
			2. どちらかといえば学校へ行く	16.4	16.7	16.2	19.5	14.6	15.3	12.2	18.6	13.4	15.0
			3. どちらかといえば学校を休む	36.7	34.2	39.2	35.5	38.5	36.1	38.3	42.1	39.6	28.4
			4. ぜったい学校を休む	39.1	37.2	40.7	38.7	37.5	41.1	46.1	29.9	43.0	44.8
		誘われて親友から学校を遊ぼうと	1. ぜったい学校へ行く	34.0	35.8	32.6	37.0	34.4	30.8	12.9	48.2	47.7	46.3
			2. どちらかといえば学校へ行く	35.9	32.6	39.0	35.7	35.0	36.9	34.5	33.6	34.2	28.7
			3. どちらかといえば学校を休む	20.2	18.8	21.1	19.2	19.3	22.0	34.5	13.2	14.1	13.4
			4. ぜったい学校を休む	9.9	12.7	7.3	8.1	11.2	10.3	18.1	5.0	4.0	11.7
16	新しいタイプの学校・学科があったら行ってみたいか	主科的に作られた授業時間割を自覚	1. とてもそう思う	34.5	37.7	31.6	31.3	35.8	36.3	58.0	31.2	34.7	46.8
			2. まあそう思う	36.0	34.8	37.3	35.7	35.0	37.2	33.9	33.5	45.3	28.6
			3. どちらともいえない	20.8	17.5	23.8	23.6	20.3	18.7	5.4	22.6	11.3	14.3
			4. あまりそう思わない	5.2	5.2	5.1	6.5	5.1	4.2	2.7	9.0	6.7	5.5
			5. ぜんぜんそう思わない	3.4	4.7	2.2	2.9	3.7	3.6	0.0	3.6	2.0	4.9
		リワードタイムは午前中は授業は午後	1. とてもそう思う	46.2	45.3	47.0	49.3	47.1	42.4	44.0	40.3	32.0	41.8
			2. まあそう思う	28.1	25.5	30.3	28.2	26.4	29.8	28.4	21.7	32.0	19.9
			3. どちらともいえない	16.4	17.3	15.8	14.4	17.6	17.2	22.4	22.2	20.0	17.6
			4. あまりそう思わない	6.0	6.8	5.4	5.8	6.7	5.5	4.3	10.0	12.0	10.5
			5. ぜんぜんそう思わない	3.2	5.0	1.5	2.3	2.2	5.2	0.9	5.9	4.0	10.1
		体験学習や職業科目	1. とてもそう思う	35.8	31.5	39.7	35.6	34.8	36.8	29.3	37.6	41.6	42.2
			2. まあそう思う	32.7	29.3	35.8	32.3	33.2	32.6	35.3	32.6	34.2	30.2
			3. どちらともいえない	22.5	25.6	19.6	23.5	23.3	20.8	24.1	19.9	14.1	16.6
			4. あまりそう思わない	4.7	6.9	2.8	4.4	4.5	5.2	6.9	6.8	8.7	3.6
			5. ぜんぜんそう思わない	4.3	6.7	2.0	4.2	4.2	4.6	4.3	3.2	1.3	7.5

質問項目		一般校						特色校					
		全体	性別		学年別			学校					
			男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校		
16	新しいタイプの学校・学科があったら行ってみたいか	学区内他校の授業も受けられる	1. とてもそう思う	23.7	22.6	24.6	22.5	25.6	22.8	21.6	31.7	40.9	28.0
			2. まあそう思う	25.1	23.4	26.7	25.7	25.6	24.1	37.9	17.6	28.2	27.0
			3. どちらともいえない	34.5	32.5	36.4	35.1	32.9	35.6	21.6	29.0	20.8	20.5
			4. あまりそう思わない	9.9	11.0	8.9	9.0	8.7	11.9	13.8	14.0	5.4	11.4
			5. ぜんぜんそう思わない	6.8	10.6	3.3	7.7	7.1	5.7	5.2	7.7	4.7	13.0
		外国のインターネットの授業を受けられる	1. とてもそう思う	23.9	22.7	25.1	24.6	23.2	23.9	26.7	34.8	50.7	30.8
			2. まあそう思う	24.6	20.5	28.4	23.4	24.0	26.3	32.8	21.7	33.3	22.7
			3. どちらともいえない	31.2	32.0	30.3	31.3	32.5	30.0	22.4	24.9	10.0	24.7
			4. あまりそう思わない	11.1	11.3	11.1	10.4	11.8	11.1	11.2	11.3	5.3	10.4
			5. ぜんぜんそう思わない	9.1	13.5	5.1	10.2	8.5	8.8	6.9	7.2	0.7	11.4
		パソコンによる在宅授業がある	1. とてもそう思う	30.7	34.8	27.1	31.1	29.3	31.7	40.5	33.0	32.0	39.0
			2. まあそう思う	25.6	26.3	24.8	25.9	25.0	26.0	28.4	26.2	22.7	23.4
			3. どちらともいえない	26.7	23.5	29.6	26.3	27.0	26.9	12.1	24.4	23.3	15.6
			4. あまりそう思わない	10.0	7.4	12.5	9.0	11.6	9.4	10.3	9.0	14.7	10.1
			5. ぜんぜんそう思わない	6.9	7.9	6.0	7.7	7.1	6.1	8.6	7.2	7.3	12.0
	動が単位の授業活動	1. とてもそう思う	14.6	14.8	14.5	13.4	13.2	17.0	21.6	12.7	22.0	20.2	
		2. まあそう思う	26.6	22.6	30.5	23.8	26.6	29.1	23.3	19.9	32.7	22.8	
		3. どちらともいえない	36.4	35.2	36.9	39.7	34.4	35.2	30.2	42.1	30.7	25.4	
		4. あまりそう思わない	11.4	12.3	10.7	12.3	12.6	9.3	15.5	15.8	9.3	11.4	
		5. ぜんぜんそう思わない	11.1	15.2	7.4	10.9	13.2	9.3	9.5	9.5	5.3	20.2	
	外国語は自分で言える	1. とてもそう思う	27.5	26.8	28.0	29.9	24.8	27.8	37.1	38.5	58.7	28.3	
		2. まあそう思う	33.1	31.5	34.6	31.8	34.6	32.8	37.9	33.5	30.0	26.4	
		3. どちらともいえない	26.6	26.2	27.0	26.2	26.8	26.9	15.5	20.4	10.7	24.8	
		4. あまりそう思わない	6.9	6.8	7.1	6.5	7.7	6.7	5.2	5.0	0.7	10.7	
		5. ぜんぜんそう思わない	5.9	8.6	3.3	5.6	6.1	5.9	4.3	2.7	0.0	9.8	
作家・マンガ家などのプロを育てる	1. とてもそう思う	23.6	24.4	22.6	24.9	26.2	19.8	23.3	19.9	22.0	23.8		
	2. まあそう思う	24.6	23.6	25.8	23.4	22.4	27.8	30.2	23.1	24.0	20.8		
	3. どちらともいえない	34.4	32.5	36.0	36.8	34.3	32.4	28.4	33.0	40.7	25.1		
	4. あまりそう思わない	9.9	8.8	11.1	8.2	9.8	11.6	14.7	14.5	6.7	12.4		
	5. ぜんぜんそう思わない	7.5	10.7	4.5	6.7	7.3	8.4	3.4	9.5	6.7	17.9		
17	どんな人生を送れそうか	一流大学へ入学する	1. とても無理だろう	36.0	32.3	39.1	32.4	34.5	40.6	33.0	24.5	13.2	13.0
			2. かなり無理だろう	27.4	24.4	30.2	27.8	30.6	23.9	21.7	24.5	16.7	7.2
			3. やや無理だろう	27.2	29.3	25.2	30.8	26.8	24.2	24.3	33.6	36.1	30.3
			4. たぶん可能だろう	5.8	7.5	4.3	6.1	4.9	6.5	13.0	11.8	30.6	30.3
			5. きっと可能だろう	3.6	6.4	1.1	2.9	3.2	4.8	7.8	5.5	3.5	19.2

質問項目		一般校						特色校					
		全体	性別		学年別			学校					
			男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校		
17	どんな人生を送れそうか	大企業に就職する	1. とても無理だろう	30.7	27.2	34.1	28.1	30.9	33.0	33.3	21.9	14.1	15.1
			2. かなり無理だろう	28.4	25.1	31.4	29.1	30.7	25.4	25.4	26.9	18.3	10.2
			3. やや無理だろう	30.5	33.1	27.9	32.9	29.5	29.2	28.1	34.7	39.4	33.2
			4. たぶん可能だろう	6.4	8.1	4.8	6.9	5.3	6.9	7.9	11.0	25.4	26.0
			5. きっと可能だろう	4.0	6.6	1.8	2.9	3.5	5.5	5.3	5.5	2.8	15.5
		婚よい相手と結ぶ	1. とても無理だろう	9.5	12.2	7.0	9.6	8.3	10.5	10.4	10.9	6.1	14.1
			2. かなり無理だろう	8.5	9.8	7.4	9.9	8.5	7.3	10.4	8.6	8.8	8.2
			3. やや無理だろう	26.9	28.9	24.6	29.1	27.6	24.0	18.3	22.7	15.0	17.0
			4. たぶん可能だろう	33.2	26.8	39.3	32.7	35.1	31.7	38.3	33.6	49.0	32.0
			5. きっと可能だろう	22.0	22.3	21.7	18.7	20.5	26.5	22.6	24.1	21.1	28.8
		仕事の面で成功する	1. とても無理だろう	5.4	7.3	3.6	5.9	4.7	5.5	6.1	4.1	2.7	8.8
			2. かなり無理だろう	8.1	8.1	8.2	7.6	8.9	7.8	1.7	5.0	4.1	3.9
			3. やや無理だろう	30.0	29.0	30.6	29.6	29.5	30.7	24.3	29.7	19.7	21.9
			4. たぶん可能だろう	42.4	38.2	46.4	45.4	42.9	39.1	41.7	39.7	63.3	38.6
			5. きっと可能だろう	14.2	17.4	11.2	11.6	14.0	16.8	26.1	21.5	10.2	26.8
	作幸せな家庭を	1. とても無理だろう	6.4	9.3	3.6	7.6	4.5	7.1	7.0	6.8	8.8	13.8	
		2. かなり無理だろう	4.2	6.0	2.7	4.0	4.1	4.6	6.1	5.9	1.4	5.9	
		3. やや無理だろう	17.2	22.0	12.7	18.7	17.6	15.5	13.0	15.5	12.8	13.4	
		4. たぶん可能だろう	42.4	36.4	48.0	44.1	44.2	39.0	39.1	37.7	50.0	34.1	
		5. きっと可能だろう	29.8	26.2	33.1	25.6	29.6	33.8	34.8	34.1	27.0	32.8	
	よい親になる	1. とても無理だろう	7.6	10.6	4.7	7.6	7.3	7.8	9.6	8.2	11.0	14.8	
		2. かなり無理だろう	4.6	4.9	4.3	4.0	4.4	5.4	7.0	6.4	2.8	6.3	
		3. やや無理だろう	18.9	22.1	15.9	19.5	20.2	17.2	17.5	16.8	15.2	15.5	
		4. たぶん可能だろう	41.8	35.5	47.8	45.0	42.6	38.2	39.5	37.3	48.3	34.2	
		5. きっと可能だろう	27.1	26.9	27.2	23.9	25.5	31.4	26.3	31.4	22.8	29.3	
	も経済的に豊かになる	1. とても無理だろう	6.6	9.2	4.2	6.5	6.3	7.1	7.0	6.4	3.4	9.6	
		2. かなり無理だろう	7.2	8.1	6.4	6.9	6.7	7.8	5.3	9.5	4.8	6.6	
		3. やや無理だろう	43.7	39.9	46.9	42.2	46.2	42.4	38.6	37.3	42.1	30.8	
		4. たぶん可能だろう	33.9	31.6	36.1	37.2	33.0	31.7	36.8	37.7	39.3	33.4	
		5. きっと可能だろう	8.6	11.2	6.4	7.1	7.7	10.9	12.3	9.1	10.3	19.5	
社会的に認められる	1. とても無理だろう	7.4	10.1	4.9	8.2	6.7	7.3	7.8	8.3	6.3	11.2		
	2. かなり無理だろう	9.5	9.0	10.1	9.3	11.5	7.8	5.2	7.8	4.2	8.6		
	3. やや無理だろう	38.5	36.1	40.6	36.7	41.7	37.1	35.7	35.5	25.7	22.7		
	4. たぶん可能だろう	34.4	31.2	37.4	36.3	33.2	33.8	40.0	40.1	54.9	34.2		
	5. きっと可能だろう	10.2	13.7	7.0	9.5	6.9	14.0	11.3	8.3	9.0	23.4		

質問項目		一 般 校						特 色 校				
		全 体	性 別		学 年 別			学 校				
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	F 校	G 校	H 校	I 校	
⑱ 次のような仕事につけるか	新聞記者	1. とても無理	26.4	28.6	24.4	25.7	22.8	30.5	23.5	29.1	17.4	25.5
		2. かなり無理	28.5	23.4	33.0	28.6	30.7	26.1	24.3	23.6	24.2	17.6
		3. もしかしたらなれる	30.4	29.3	31.6	30.9	31.3	29.2	31.3	27.7	32.9	27.8
		4. たぶんなれる	8.8	10.3	7.5	8.4	9.8	8.2	11.3	10.5	18.8	16.3
		5. きっとなれる	5.9	8.4	3.6	6.5	5.3	5.9	9.6	9.1	6.7	12.7
	大学教授	1. とても無理	59.5	53.9	64.5	57.2	61.0	60.2	41.7	56.8	40.9	34.6
		2. かなり無理	24.2	23.1	25.3	26.9	23.0	22.9	27.8	22.7	28.9	22.5
		3. もしかしたらなれる	10.0	13.4	7.0	9.8	10.2	9.9	17.4	13.2	19.5	23.9
		4. たぶんなれる	2.7	3.8	1.7	2.7	1.6	3.8	4.3	2.7	9.4	8.2
		5. きっとなれる	3.6	5.8	1.5	3.3	4.1	3.2	8.7	4.5	1.3	10.8
	国会議員	1. とても無理	67.8	60.3	74.4	66.0	68.7	68.6	59.1	68.2	45.3	51.8
		2. かなり無理	17.7	18.2	17.2	18.8	17.1	17.1	14.8	14.1	31.1	23.3
		3. もしかしたらなれる	8.4	11.4	5.7	8.6	8.7	8.0	16.5	10.0	15.5	12.1
		4. たぶんなれる	2.4	3.9	1.1	3.3	1.0	3.0	2.6	3.2	6.1	5.2
		5. きっとなれる	3.7	6.1	1.5	3.3	4.5	3.2	7.0	4.5	2.0	7.5
	大会社の社長	1. とても無理	62.7	55.7	69.2	62.6	62.8	62.8	44.3	62.3	43.6	44.1
		2. かなり無理	20.5	20.4	20.5	22.0	21.5	18.1	21.7	16.8	26.8	24.5
		3. もしかしたらなれる	9.2	12.0	6.6	7.7	9.6	10.1	20.0	12.3	18.8	15.4
		4. たぶんなれる	2.6	3.8	1.5	2.3	2.0	3.4	5.2	4.1	6.7	7.8
		5. きっとなれる	5.0	8.1	2.2	5.4	4.1	5.5	8.7	4.5	4.0	8.2
	医師	1. とても無理	60.1	56.8	62.8	55.1	60.2	64.6	48.7	56.0	45.0	49.7
		2. かなり無理	21.6	20.2	22.9	22.5	24.0	18.3	23.5	19.3	27.5	18.6
		3. もしかしたらなれる	11.4	12.8	10.3	15.0	8.3	11.2	12.2	11.9	16.1	14.4
		4. たぶんなれる	2.7	3.5	2.0	2.9	2.6	2.7	7.8	6.9	7.4	9.2
		5. きっとなれる	4.2	6.7	1.9	4.4	4.9	3.2	7.8	6.0	4.0	8.2
技師 コンピュータ	1. とても無理	39.8	30.4	48.3	37.2	39.5	42.5	27.0	47.9	33.1	30.4	
	2. かなり無理	21.9	18.2	25.4	22.3	22.9	20.6	28.7	21.5	27.0	17.6	
	3. もしかしたらなれる	23.2	29.2	17.6	25.9	22.7	21.1	20.0	16.0	26.4	19.9	
	4. たぶんなれる	8.6	11.3	6.1	8.1	8.7	9.0	14.8	7.8	10.8	18.0	
	5. きっとなれる	6.5	10.9	2.6	6.5	6.1	6.9	9.6	6.8	2.7	14.1	
弁護士	1. とても無理	56.2	51.7	60.1	50.9	56.3	61.0	33.0	48.6	38.3	37.3	
	2. かなり無理	24.1	23.0	25.3	25.7	24.2	22.7	28.7	23.2	24.8	22.9	
	3. もしかしたらなれる	12.8	15.2	10.7	15.4	12.4	10.7	20.0	14.5	18.1	19.6	
	4. たぶんなれる	2.6	3.6	1.8	3.1	2.4	2.5	10.4	5.9	18.1	9.2	
	5. きっとなれる	4.2	6.5	2.2	4.8	4.7	3.2	7.8	7.7	0.7	11.1	

質問項目			一般校						特色校				
			全体	性別		学年別			学校				
				男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校	
18	次に つける か仕	役所の 部長	1. とても無理	43.9	37.9	49.2	42.6	44.7	44.4	33.3	42.7	30.4	25.8
			2. かなり無理	24.7	22.0	27.1	25.5	25.2	23.4	23.7	21.8	25.0	16.0
			3. もしかしたらなれる	21.2	24.8	18.1	22.1	21.1	20.4	23.7	17.7	27.7	29.1
			4. たぶんなれる	5.0	7.0	3.3	4.2	4.1	6.7	10.5	9.5	12.2	16.7
			5. きつとなれる	5.2	8.4	2.3	5.6	4.9	5.1	8.8	8.2	4.7	12.4
19	次に 思う か	生出ど がたの 決か大 まで学 する人	1. とてもそう思う	9.9	14.2	6.0	11.7	9.1	9.1	3.4	17.4	6.7	24.6
			2. まあそう思う	30.8	32.7	29.4	31.2	30.4	30.9	20.5	27.5	26.0	36.9
			3. あまりそう思わない	33.4	27.5	38.6	32.3	35.1	32.6	33.3	32.1	42.7	22.0
			4. ぜんぜんそう思わない	25.9	25.6	26.0	24.7	25.4	27.3	42.7	22.9	24.7	16.5
		映を学 しか歴 てなは いり実 る反力	1. とてもそう思う	9.9	13.2	6.9	13.4	7.3	9.1	3.4	11.0	6.8	14.8
			2. まあそう思う	33.6	31.9	35.2	34.2	33.7	32.9	27.4	31.1	24.3	32.9
			3. あまりそう思わない	35.1	31.7	38.4	31.3	37.7	35.9	42.7	37.9	46.6	35.8
			4. ぜんぜんそう思わない	21.5	23.2	19.6	21.0	21.3	22.1	26.5	20.1	22.3	16.5
	をけ有 得ば名 られ高 れい大 収い学 入収行	1. とてもそう思う	13.7	20.1	7.8	15.9	11.1	14.3	12.0	12.8	9.3	23.2	
		2. まあそう思う	30.7	31.6	29.8	27.9	31.0	32.9	29.1	32.9	32.7	38.1	
		3. あまりそう思わない	33.7	28.2	39.1	35.0	33.2	33.1	29.1	32.9	39.3	23.9	
		4. ぜんぜんそう思わない	21.9	20.1	23.3	21.2	24.7	19.8	29.9	21.5	18.7	14.8	
	業け有 につば名 つけ希望 るの学 職行	1. とてもそう思う	20.3	27.4	13.6	23.7	18.3	19.0	19.7	27.9	16.3	43.5	
		2. まあそう思う	41.3	40.8	41.9	41.3	40.2	42.2	35.0	39.3	42.9	39.7	
		3. あまりそう思わない	23.1	17.5	28.5	23.3	23.9	22.2	28.2	18.7	29.9	8.1	
		4. ぜんぜんそう思わない	15.4	14.4	16.0	11.7	17.6	16.5	17.1	14.2	10.9	8.7	
20	どの 程度 あて はまる か	性を自 分の 知つ て能 力・適	1. とてもあてはまる	7.8	10.5	5.5	8.0	7.9	7.6	14.5	6.4	8.7	15.5
			2. ややあてはまる	36.4	36.5	36.4	34.9	33.5	40.5	43.6	44.0	36.9	38.2
			3. どちらともいえない	37.5	34.4	40.3	40.5	37.4	34.8	30.8	33.0	34.9	27.2
			4. あまりあてはまらない	12.5	10.6	14.0	9.9	15.0	12.4	6.0	10.6	12.8	10.4
			5. ぜんぜんあてはまらない	5.9	8.1	3.8	6.7	6.3	4.8	5.1	6.0	6.7	8.7
	い自 職分 業には あるつ きた	1. とてもあてはまる	34.3	33.6	35.1	29.8	33.9	38.8	44.4	33.0	34.0	44.0	
		2. ややあてはまる	28.6	25.8	31.2	28.5	27.4	29.8	22.2	32.6	29.3	26.5	
		3. どちらともいえない	19.9	22.2	17.7	23.3	20.5	16.2	19.7	17.0	18.7	12.6	
		4. あまりあてはまらない	10.1	9.9	10.3	11.5	8.9	9.9	9.4	10.1	10.7	8.4	
		5. ぜんぜんあてはまらない	7.2	8.5	5.7	6.9	9.4	5.3	4.3	7.3	7.3	8.4	

質問項目			一般校						特色校				
			全体	性別		学年別			学校				
				男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校	
20	どの程度あてはまるか	し将来にはつきり目標がある	1. とてもあてはまる	26.8	26.4	27.4	24.1	25.4	30.6	29.9	27.9	26.2	33.0
			2. ややあてはまる	25.3	22.5	28.1	25.6	22.2	28.1	29.1	31.1	28.9	29.4
			3. どちらともいえない	24.9	25.9	23.8	26.6	26.6	21.7	19.7	21.0	23.5	17.5
			4. あまりあてはまらない	13.9	13.8	14.1	14.3	15.4	12.2	12.8	12.3	10.7	9.4
			5. ぜんぜんあてはまらない	9.1	11.4	6.6	9.4	10.4	7.4	8.5	7.8	10.7	10.7
	きりしている	進路を選ぶ上で重視	1. とてもあてはまる	21.6	21.9	21.4	20.5	20.3	23.8	33.3	30.1	30.0	28.9
			2. ややあてはまる	32.3	29.6	34.9	29.6	30.6	36.6	33.3	34.7	32.0	29.5
			3. どちらともいえない	29.6	30.6	28.8	34.2	30.4	24.8	22.2	22.4	21.3	23.1
			4. あまりあてはまらない	10.5	11.0	9.9	11.3	10.7	9.5	6.0	8.2	12.7	11.0
			5. ぜんぜんあてはまらない	6.0	6.8	5.0	4.4	8.1	5.3	5.1	4.6	4.0	7.5
	識を持つている	希望する職業の知識	1. とてもあてはまる	5.2	6.9	3.7	5.3	3.7	6.5	6.0	5.5	2.7	11.7
			2. ややあてはまる	19.0	17.9	19.9	15.8	18.1	22.7	33.0	15.1	21.5	25.1
			3. どちらともいえない	41.5	38.5	44.5	42.9	41.6	40.2	28.2	42.5	32.2	26.1
			4. あまりあてはまらない	22.3	22.9	21.9	24.2	22.3	20.8	23.1	24.2	30.9	22.5
			5. ぜんぜんあてはまらない	12.0	13.8	10.1	12.0	14.2	9.9	9.4	12.8	12.8	14.7
業に近づいていて知・識	最近の産業界・職業	1. とてもあてはまる	2.6	4.5	1.0	2.7	2.6	2.7	7.7	3.7	0.7	6.5	
		2. ややあてはまる	10.0	12.6	7.6	10.9	9.8	9.3	15.4	7.8	8.0	21.5	
		3. どちらともいえない	41.4	41.1	41.8	41.1	39.8	43.2	36.8	30.6	34.7	26.4	
		4. あまりあてはまらない	29.6	25.9	33.0	29.1	29.9	29.7	26.5	38.4	38.7	29.6	
		5. ぜんぜんあてはまらない	16.4	15.9	16.6	16.1	17.9	15.0	13.7	19.6	18.0	16.0	
がわかっている	進路選択の調べ方	1. とてもあてはまる	4.2	5.3	3.2	2.9	4.1	5.3	7.0	5.5	2.7	7.8	
		2. ややあてはまる	11.9	13.0	10.8	9.6	9.7	16.0	23.5	8.2	10.7	17.6	
		3. どちらともいえない	39.3	38.4	40.1	38.4	39.6	39.8	30.4	28.3	32.0	30.9	
		4. あまりあてはまらない	28.7	27.9	29.7	29.8	29.2	27.2	25.2	37.0	33.3	27.4	
		5. ぜんぜんあてはまらない	16.0	15.4	16.2	19.3	17.4	11.6	13.9	21.0	21.3	16.3	
21	高校卒業後の進路	1. 入るのが難しい4年制大学	18.7	26.3	11.8	15.9	16.6	23.4	25.0	41.5	56.2	74.3	
		2. ぶつう程度の4年制大学	39.6	42.2	37.2	45.8	40.1	33.6	21.6	46.1	25.3	16.4	
		3. 入るのがやさしい4年制大学	3.7	4.5	2.9	3.0	4.0	4.0	2.6	1.8	1.4	2.0	
		4. 短大	6.8	0.6	12.4	4.7	7.1	8.4	5.2	0.9	1.4	0.0	
		5. 専修学校・専門学校	19.3	14.8	23.6	18.2	19.2	20.3	19.8	6.5	2.7	0.3	
		6. 就職	2.7	3.1	2.3	1.9	2.2	3.8	6.9	0.0	1.4	1.6	
		7. 家業の手伝いなど	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.3	
		8. フリーター	1.8	1.3	2.3	0.6	2.0	2.7	2.6	0.0	0.0	1.0	
		9. きちんと考えたことがない	4.9	4.4	5.4	7.2	6.1	1.5	9.5	0.9	3.4	1.0	
		10. その他	2.5	2.8	2.1	2.8	2.8	1.9	6.9	2.3	8.2	3.0	

質問項目		一般校						特色校					
		全体	性別		学年別			学校					
			男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校		
22	い平 勉日家 強す るか どの くら	1. ほとんどしない	54.6	53.4	55.4	56.1	65.1	43.0	64.7	30.4	36.3	22.2	
		2. 30分くらい	13.2	14.2	12.4	14.5	13.0	12.2	8.6	12.4	17.8	7.8	
		3. 1時間くらい	13.5	13.8	13.3	14.9	11.8	13.9	7.8	22.1	19.9	12.7	
		4. 1時間半くらい	7.3	6.4	8.2	7.1	4.9	9.7	7.8	14.3	11.0	14.1	
		5. 2時間くらい	6.6	6.4	6.8	4.6	3.9	10.9	5.2	9.7	9.6	11.4	
		6. 2時間半くらい	1.9	1.8	1.9	1.9	0.8	2.9	2.6	5.5	4.1	12.4	
		7. 3時間以上	3.0	3.9	2.2	0.8	0.4	7.4	3.4	5.5	1.4	19.3	
23	成 績	中 学 3 年 生 の 頃	1. 上	10.6	12.9	8.7	10.3	12.3	9.3	22.4	53.5	64.6	20.7
			2. 中の上	43.2	39.9	46.5	47.4	41.1	41.6	25.0	41.5	27.1	22.3
			3. 中	31.4	32.6	30.2	27.4	31.8	34.7	28.4	3.2	5.6	21.3
			4. 中の下	11.7	11.0	12.4	12.2	11.7	11.4	12.1	1.4	0.0	15.7
			5. 下	3.0	3.6	2.3	2.7	3.2	3.0	12.1	0.5	2.8	20.0
	現 在	1. 上	8.6	8.6	8.7	6.1	11.3	8.2	12.0	10.2	3.4	15.0	
		2. 中の上	22.1	19.6	24.5	18.8	23.4	23.8	20.4	23.1	12.4	24.5	
		3. 中	27.0	27.2	26.4	28.5	24.6	28.0	30.6	29.2	33.8	22.2	
		4. 中の下	21.6	20.6	22.6	24.1	20.2	20.8	21.3	17.6	29.7	20.3	
		5. 下	20.7	24.0	17.8	22.6	20.6	19.2	15.7	19.9	20.7	18.0	
24	勉 強 の 理 解 度	英 語	1. 全部わかる	5.3	6.9	3.9	3.6	7.3	4.9	13.8	5.9	12.0	19.3
			2. 7割くらいわかる	28.9	26.0	31.6	35.0	29.6	22.6	25.9	27.9	46.0	38.2
			3. 半分くらいわかる	35.9	35.0	36.7	34.4	38.1	35.2	24.1	41.1	24.0	25.2
			4. 3割くらいわかる	20.9	22.1	19.9	18.7	17.4	26.4	12.9	17.4	13.3	14.1
			5. まったくわからない	8.4	9.2	7.5	7.3	7.5	10.3	8.6	7.3	4.7	2.9
			6. その教科は習っていない	0.6	0.8	0.3	1.0	0.2	0.6	14.7	0.5	0.0	0.3
		数 学	1. 全部わかる	5.6	8.9	2.7	4.8	7.5	4.6	9.6	5.0	4.0	13.7
			2. 7割くらいわかる	21.5	25.0	18.4	22.6	22.3	19.6	15.7	19.2	14.0	35.6
			3. 半分くらいわかる	27.1	26.8	27.1	27.7	32.5	21.3	17.4	28.8	31.3	25.8
	4. 3割くらいわかる		23.2	20.5	25.8	29.6	23.9	16.9	17.4	20.5	22.0	12.7	
	5. まったくわからない		12.7	9.8	15.4	14.0	13.6	10.6	15.7	5.9	10.7	6.2	
	6. その教科は習っていない		9.9	8.9	10.6	1.3	0.2	27.0	24.3	20.5	18.0	5.9	
	国 語	1. 全部わかる	4.6	5.6	3.7	5.2	4.9	3.8	12.1	7.3	11.4	15.6	
		2. 7割くらいわかる	31.0	28.2	33.7	30.8	28.2	33.8	31.9	30.6	49.7	30.0	
		3. 半分くらいわかる	39.8	39.1	40.5	41.9	38.1	39.7	25.0	36.1	30.9	29.0	
		4. 3割くらいわかる	17.0	18.3	15.8	17.4	19.3	14.4	9.5	18.7	6.7	17.3	
		5. まったくわからない	6.9	8.0	6.1	3.8	9.3	7.6	0.9	6.8	1.3	6.5	
		6. その教科は習っていない	0.6	0.8	0.3	0.8	0.2	0.8	20.7	0.5	0.0	1.6	

質問項目		一 般 校						特 色 校					
		全 体	性 別		学 年 別			学 校					
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	F 校	G 校	H 校	I 校		
25	友 だ ち 関 係	がで友だちが楽しい学校へ行くの	1. とてもそう	39.3	33.8	44.7	40.9	31.5	45.4	20.7	49.3	50.7	39.1
			2. かなりそう	27.9	28.0	27.9	29.6	27.4	27.0	19.0	23.3	21.6	20.5
			3. ややそう	23.8	26.5	21.0	21.0	32.3	18.1	28.4	19.6	17.6	25.7
			4. あまりそうでない	5.6	7.3	4.2	4.4	5.5	6.8	18.1	5.5	6.8	8.1
			5. まったくそうでない	3.4	4.5	2.3	4.2	3.3	2.7	13.8	2.3	3.4	6.5
		せ学校には何でも話せる友だちがいる	1. とてもそう	31.1	23.9	38.0	29.1	27.6	36.4	14.7	36.2	33.6	30.9
			2. かなりそう	25.0	24.4	25.7	24.1	27.8	23.2	16.4	24.8	30.9	26.1
			3. ややそう	28.3	32.7	24.2	30.6	27.6	26.9	18.1	21.6	17.4	21.2
			4. あまりそうでない	10.7	12.7	8.9	10.3	12.0	9.9	27.6	14.2	12.8	12.1
			5. まったくそうでない	4.8	6.3	3.2	5.9	4.9	3.6	23.3	3.2	5.4	9.8
		さ友だちから信頼されている	1. とてもそう	9.9	8.7	11.0	10.6	8.0	11.2	7.1	12.6	10.4	11.6
			2. かなりそう	18.8	15.4	22.2	17.6	17.1	21.6	20.4	19.5	18.8	15.9
			3. ややそう	49.0	47.2	50.7	50.5	50.2	46.4	32.7	42.8	50.7	44.9
			4. あまりそうでない	16.7	20.7	12.8	15.9	17.9	16.2	28.3	20.9	13.9	18.3
			5. まったくそうでない	5.6	7.9	3.4	5.3	6.8	4.6	11.5	4.2	6.3	9.3
	助つ困ったこと友だちがあげてくれる	1. とてもそう	22.3	14.8	29.2	23.3	17.3	26.1	11.3	28.1	25.0	21.8	
		2. かなりそう	30.2	24.7	35.2	31.1	32.5	27.0	26.1	34.6	38.5	22.1	
		3. ややそう	34.2	40.1	28.7	34.0	33.7	34.9	33.0	24.0	26.4	31.3	
		4. あまりそうでない	9.1	13.7	5.0	8.2	11.2	7.8	20.9	9.7	8.1	15.0	
		5. まったくそうでない	4.3	6.7	2.0	3.4	5.3	4.2	8.7	3.7	2.0	9.8	
るな友だちの理をたすつもらない	1. とてもそう	19.0	15.5	22.1	19.7	17.1	20.1	14.8	26.9	25.2	22.8		
	2. かなりそう	27.9	25.1	30.4	26.7	27.2	29.6	23.5	29.2	28.6	19.2		
	3. ややそう	34.3	35.1	33.8	34.7	35.6	32.7	33.9	30.1	28.6	31.3		
	4. あまりそうでない	12.8	16.3	9.7	12.8	13.2	12.4	20.0	10.2	13.6	14.7		
	5. まったくそうでない	6.0	8.0	4.1	6.1	6.9	5.2	7.8	3.7	4.1	12.1		
26	設問図のような友だちは何人いるか	1. 1人	3.1	2.9	3.1	3.7	3.3	2.3	11.9	1.1	1.9	6.0	
		2. 2人	8.2	7.8	8.6	7.7	9.5	7.5	17.8	10.9	9.3	9.3	
		3. 3人	11.3	8.3	14.0	10.9	11.7	11.3	12.9	13.1	7.4	12.3	
		4. 4人	6.7	5.3	8.0	6.5	6.7	7.0	6.9	8.0	9.3	6.3	
		5. 5人	16.8	16.2	17.3	15.4	15.7	19.0	11.9	14.9	19.4	16.0	
		6. 6人	6.5	5.5	7.5	7.0	6.9	5.7	5.0	6.3	8.3	4.5	
		7. 7人	3.7	2.9	4.5	2.7	4.3	4.1	2.0	4.6	4.6	4.1	
		8. 8人	3.3	2.6	4.0	3.2	3.8	2.9	3.0	4.0	1.9	1.9	
		9. 9人	1.0	0.2	1.6	0.7	1.4	0.7	0.0	0.6	0.9	0.7	
		10. 10人	16.9	18.1	15.9	18.4	15.2	17.2	12.9	12.6	18.5	11.2	

質問項目			一般校						特色校					
			全体	性別		学年別			学校					
				男子	女子	1年	2年	3年	F校	G校	H校	I校		
26	設問図のような友だちは何人いるか	11. 11～15人	4.4	4.8	3.9	4.5	3.6	5.0	1.0	5.7	4.6	3.0		
		12. 16～20人	4.0	4.8	3.3	4.7	4.3	2.9	5.0	7.4	5.6	2.6		
		13. 21～25人	0.8	1.4	0.3	1.5	0.5	0.5	0.0	0.6	0.0	2.2		
		14. 26～30人	1.7	2.0	1.2	2.5	2.1	0.5	0.0	0.6	0.9	1.9		
		15. 31～35人	0.1	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		16. 36～40人	0.4	0.9	0.0	0.2	0.0	0.9	1.0	0.0	1.9	0.0		
		17. 41～45人	0.1	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		18. 46～50人	1.5	2.4	0.7	1.7	1.0	1.8	0.0	1.7	0.0	1.1		
		19. 51人以上	6.3	9.0	4.0	5.5	6.0	7.5	0.0	4.0	2.8	8.2		
		20. いない	3.2	5.1	1.6	2.5	4.0	3.2	8.9	4.0	2.8	8.6		
27	つ予備校や塾に通	1. 週に3日以上通っている	6.5	7.9	5.3	1.1	2.0	15.8	5.3	11.2	3.5	15.5		
		2. 週に2日通っている	7.0	8.5	5.7	5.0	5.3	10.5	4.4	11.2	9.2	14.5		
		3. 週に1日通っている	3.6	3.3	3.8	3.0	4.3	3.4	2.7	7.0	5.6	9.4		
		4. 長期休暇のときだけ講習など通っている	2.3	2.5	2.2	1.3	1.0	4.5	0.9	4.7	3.5	7.7		
		5. 模擬試験などだけ受けている	1.6	1.7	1.3	0.0	0.6	4.0	2.7	0.5	0.0	7.4		
		6. 今は行っていない	79.0	76.0	81.7	89.6	86.8	61.9	84.1	65.6	78.2	45.4		
28	を現在アルバイト	1. ふだんからいつもやっている	22.9	15.9	29.3	10.9	31.1	25.8	35.7	8.4	11.9	2.7		
		2. 土・日や休日だけやっている	4.6	4.2	5.0	2.0	6.5	5.1	7.1	3.7	4.9	1.4		
		3. 長期休暇のときだけやっている	3.2	3.3	3.2	0.9	5.1	3.6	3.6	0.9	5.6	0.7		
		4. 今はやっていない	22.7	22.3	22.8	8.5	20.7	37.5	31.3	23.3	21.0	12.5		
		5. 今までしたことがない	46.6	54.3	39.7	77.8	36.6	28.0	22.3	63.7	56.6	82.7		
29	次のように感じるか	とす家へ帰るとほ	1. とてもそう	37.3	39.1	35.6	38.0	37.0	36.9	36.3	41.9	42.0	38.9	
			2. かなりそう	24.3	22.8	25.7	24.1	24.6	24.1	26.5	18.6	21.7	22.0	
			3. ややそう	26.6	27.6	25.6	27.0	27.2	25.6	21.2	22.3	23.1	23.6	
			4. あまりそうでない	8.6	6.6	10.5	7.4	7.9	10.5	8.8	13.0	11.2	10.1	
			5. まったくそうでない	3.2	3.9	2.6	3.5	3.3	3.0	7.1	4.2	2.1	5.4	
		自分の部屋に	るときが幸せ	1. とてもそう	31.3	33.5	29.4	33.0	30.7	30.4	26.5	26.3	27.7	38.4
				2. かなりそう	24.3	22.1	26.5	21.3	27.0	24.5	23.0	23.9	28.4	19.9
				3. ややそう	29.2	29.8	28.7	29.1	29.9	28.7	33.6	24.9	28.4	25.9
				4. あまりそうでない	11.7	10.5	12.6	12.0	10.2	13.0	13.3	18.3	13.5	12.1
				5. まったくそうでない	3.4	4.0	2.8	4.6	2.2	3.4	3.5	6.6	2.1	3.7

質問項目			一 般 校						特 色 校				
			全 体	性 別		学 年 別			学 校				
				男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	F 校	G 校	H 校	I 校	
29	次 の よ う に 感 じ る か	の一人が 好きで いる	1. とてもそう	21.5	25.5	17.9	20.4	22.8	21.3	18.6	20.0	16.8	30.0
			2. かなりそう	18.1	20.1	16.2	15.0	18.3	20.8	27.4	21.4	25.9	17.2
			3. ややそう	30.0	28.7	31.0	31.3	30.5	28.3	33.6	29.3	35.0	30.0
			4. あまりそうでない	24.2	20.3	27.8	26.5	22.4	23.9	14.2	20.0	18.9	16.5
			5. まったくそうでない	6.2	5.3	7.0	6.7	6.1	5.7	6.2	9.3	3.5	6.4
	て朝 起 き と 疲 れ	1. とてもそう	27.8	31.2	24.5	29.0	27.6	26.8	26.5	31.6	23.1	39.7	
		2. かなりそう	22.8	21.8	23.7	24.8	23.0	20.7	17.7	20.0	24.5	18.2	
		3. ややそう	27.9	25.6	29.9	27.9	29.1	26.8	27.4	28.4	27.3	20.9	
		4. あまりそうでない	17.2	17.2	17.4	13.9	16.9	20.5	23.0	14.4	22.4	14.8	
		5. まったくそうでない	4.3	4.2	4.5	4.4	3.5	5.1	5.3	5.6	2.8	6.4	
	力何と するなく ムカム	1. とてもそう	12.6	15.0	10.3	14.3	12.8	10.7	8.8	12.1	11.3	19.9	
		2. かなりそう	14.2	12.4	15.7	13.5	15.2	13.8	15.0	16.3	10.6	12.5	
		3. ややそう	29.6	28.0	31.0	29.1	31.5	28.1	25.7	27.0	22.7	19.9	
		4. あまりそうでない	31.3	30.6	32.1	30.7	29.3	34.0	30.1	25.6	41.8	29.0	
		5. まったくそうでない	12.3	14.0	10.9	12.4	11.2	13.4	20.4	19.1	13.5	18.9	
	ない何と なく 食欲が	1. とてもそう	7.2	8.9	5.7	8.0	5.9	7.7	4.4	3.7	2.8	8.1	
		2. かなりそう	7.8	8.9	6.6	7.6	8.1	7.7	8.0	4.7	9.1	6.8	
		3. ややそう	23.5	23.4	23.6	23.5	23.0	24.1	19.5	15.8	21.0	13.9	
		4. あまりそうでない	32.4	30.7	34.0	30.0	33.3	33.7	36.3	30.2	35.7	27.4	
		5. まったくそうでない	29.1	28.0	30.2	30.9	29.7	26.8	31.9	45.6	31.5	43.9	